

「第二期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画」策定のための
ニーズ調査

《報告書》

藤井寺市

平成31年3月

目次

I 調査概要（就学前児童） 1

- 1 調査目的..... 1
- 2 調査対象・方法..... 1
 - (1) 調査対象..... 1
 - (2) 配布数・有効回収数・回収率..... 1
 - (3) 調査方法..... 1
 - (4) 調査時期..... 1
 - (5) 数値等の基本的な取り扱いについて..... 1

II 調査結果（就学前児童） 2

- 1. 家族構成や保護者の就労状況について..... 2
- 2. 平日に、定期的に利用している施設やサービスについて..... 10
- 3. 子どもの病気の際の対応について..... 15
- 4. 平日に、定期的に利用したい施設やサービスについて..... 19
- 5. 幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望について..... 20
- 6. 仕事と子育ての両立について..... 22
- 7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について..... 25
- 8. 幼稚園や保育所などの不定期な利用や、宿泊を伴う一時預かり等の利用について..... 29
- 9. 地域の子育て支援サービスの利用状況について..... 33
- 10. 藤井寺市の子育て支援サービスについて..... 36
- 11. 子育てに対する意識について..... 39
- 12. 地域での子育てについて..... 42

III 調査概要（就学児童（小学生）） 47

- 1 調査目的..... 47
- 2 調査対象・方法..... 47
 - (1) 調査対象..... 47
 - (2) 配布数・有効回収数・回収率..... 47
 - (3) 調査方法..... 47
 - (4) 調査時期..... 47
 - (5) 数値等の基本的な取り扱いについて..... 47

IV 調査結果（就学児童（小学生）） 48

1. 家族構成や保護者の就労状況について..... 48
2. 放課後児童会の利用について..... 56
3. 子どもの病気の際の対応や不規則な一時預かりについて..... 64
4. 子どもの普段の過ごし方について..... 68
5. 子育てに対する意識について..... 73
6. 藤井寺市の子育て支援サービスについて..... 77
7. 地域での子育てについて..... 80

「就学前児童」のニーズ調査について

I 調査概要（就学前児童）

1 調査目的

「第二期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画」（2020～2024 年度）を策定するに当たり、住民の皆様の子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用意向等を把握するため、本調査を実施しました。

2 調査対象・方法

（1）調査対象

- 調査対象：就学前児童が属する世帯

※平成 31 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳をもとに、ご協力をお願いしました。

（2）配布数・有効回収数・回収率

- 配布数：1,400 世帯
- 有効回収数：667 世帯
- 回収率：47.6%

（3）調査方法

- 郵送による配布及び回収

（4）調査時期

平成 31 年 1 月 17 日～1 月 31 日

（5）数値等の基本的な取り扱いについて

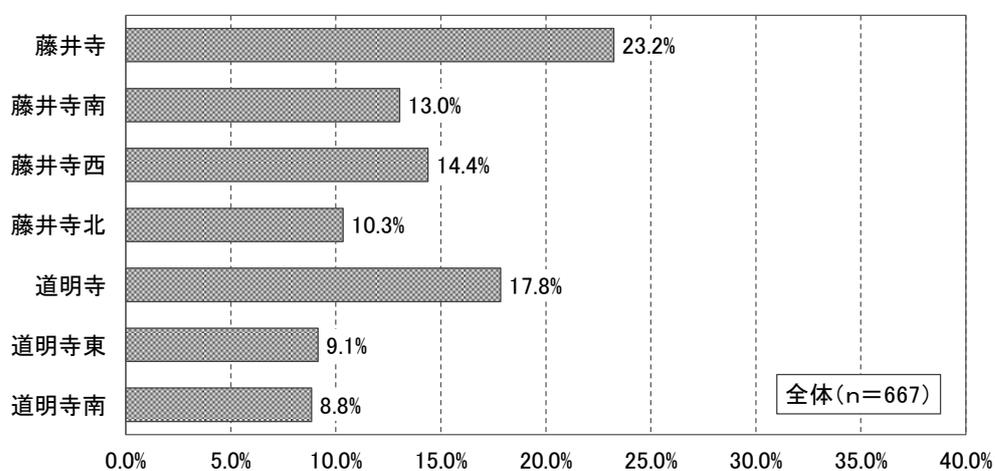
- 比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が 100%を上下する場合があります。
- 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを 100%として算出しています。（回答者総数または該当者数）
- 質問の終わりに【MA（Multiple Answer）】とある問は、1 人の回答者が 2 つ以上の回答を出してもよい問であるため、各回答の合計比率は 100%を超える場合があります。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。また、割合が 0%であった箇所の数値は基本的に省略しています。
- 質問の選択肢は、基本的に「 」で表していますが、選択肢を 2 つ合わせて示す場合は“ ”で表してあります。
- 時間などの数量データは、「～以上～未満」で集計してグラフを作成しています。

Ⅱ 調査結果（就学前児童）

1. 家族構成や保護者の就労状況について

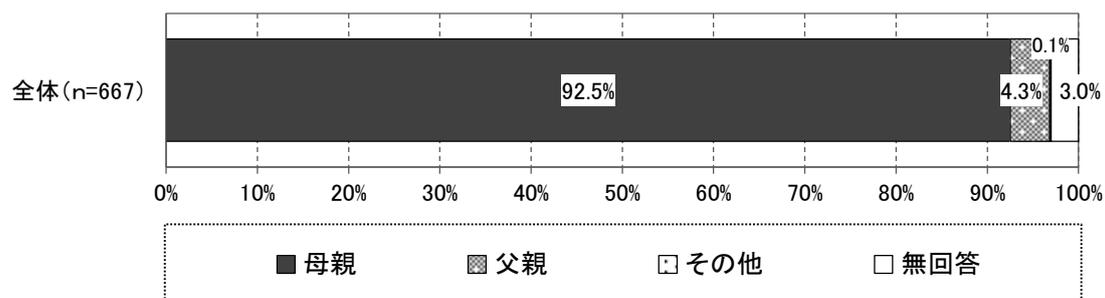
問1 居住地の小学校区名

回答者世帯の地域について、「藤井寺小学校区」が23.2%と最も高く、次いで、「道明寺小学校区」（17.8%）、「藤井寺西小学校区」（14.4%）の順となっています。



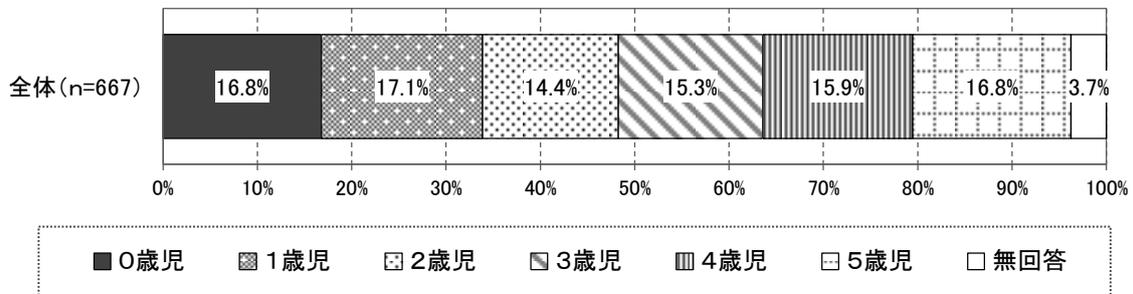
問2 子どもからみた回答者の続柄

回答者の続柄について、「母親」が92.5%と最も高く、次いで、「父親」（4.3%）、「その他」（0.1%）の順となっています。



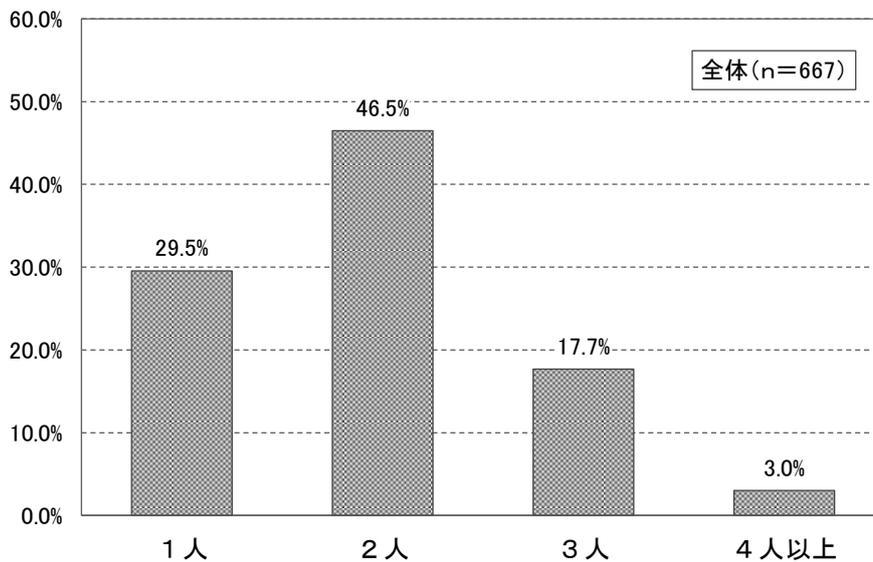
問3 子どもの年齢区分

調査対象の子どもの年齢について、「1歳児」が17.1%と最も高く、次いで、「0歳児」・「5歳児」（16.8%で同率）の順となっています。



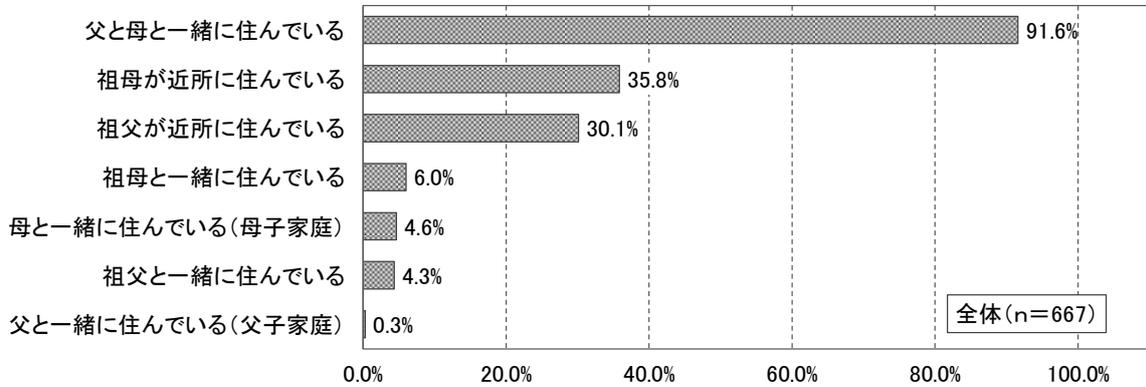
問4 世帯の子どもの人数

回答者世帯の子どもの人数について、「2人」が46.5%と最も高く、次いで、「1人」（29.5%）、「3人」（17.7%）の順となっています。



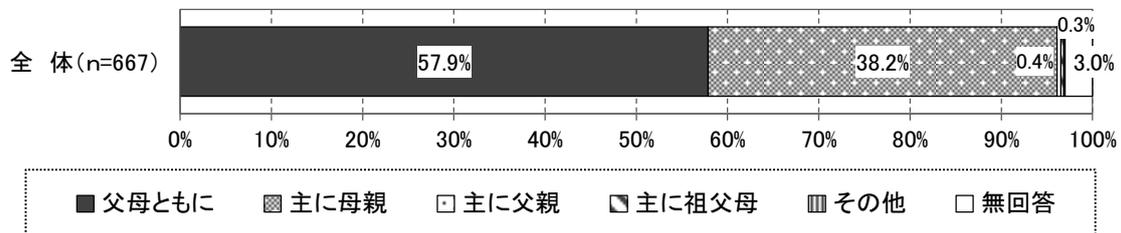
問5 子どもと一緒に住んでいる人、近所に祖父母が住んでいるか【MA】

「父と母と一緒に住んでいる」が91.6%と最も高く、次いで、「祖母が近所に住んでいる」(35.8%)、「祖父が近所に住んでいる」(30.1%)の順となっています。



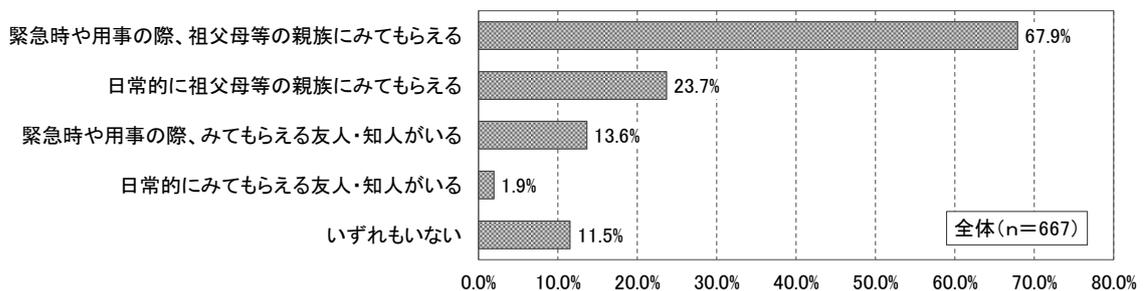
問6 子どもの子育てや教育を主に行っている方

「父母ともに」が57.9%と最も高く、次いで、「主に母親」(38.2%)、「主に父親」(0.4%)の順となっています。



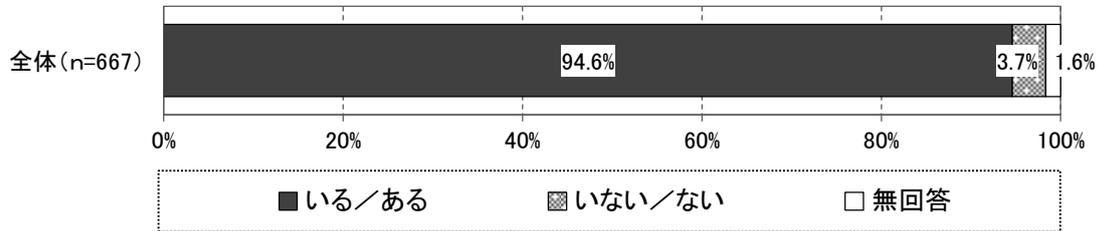
問7 日頃、子どもの面倒をみてもらえる人【MA】

「緊急時や用事の際、祖父母等の親族にみてもらえる」が67.9%と最も高く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(23.7%)、「緊急時や用事の際、みてもらえる友人・知人がいる」(13.6%)の順となっています。



問8 子育てや教育について、気軽に相談できる人や相談できる場所はあるか

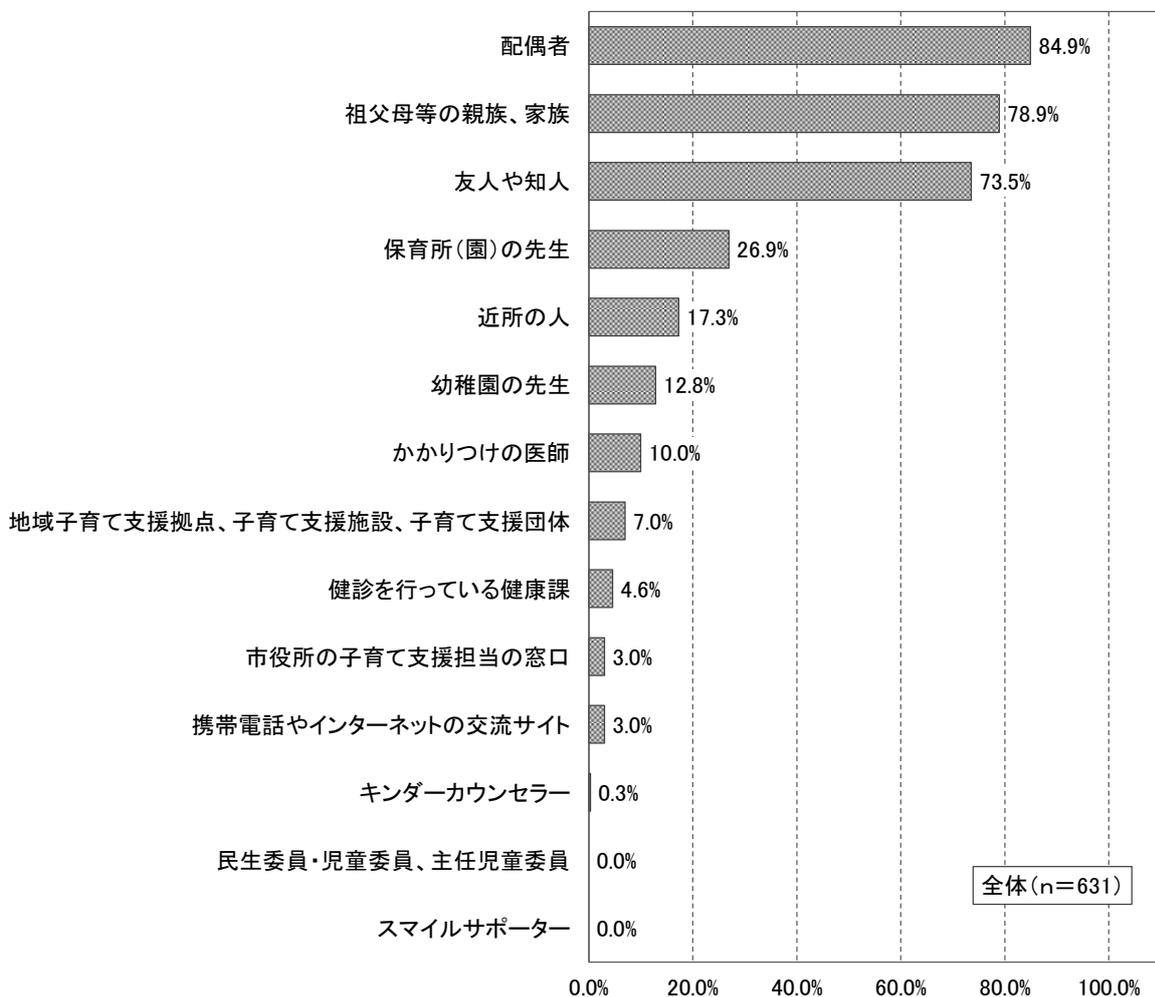
「いる／ある」が94.6%、「いない／ない」が3.7%となっています。



◆ 問8で「1. いる／ある」と回答した方

問8-1 気軽に相談できる先は、誰（どこ）か【MA】

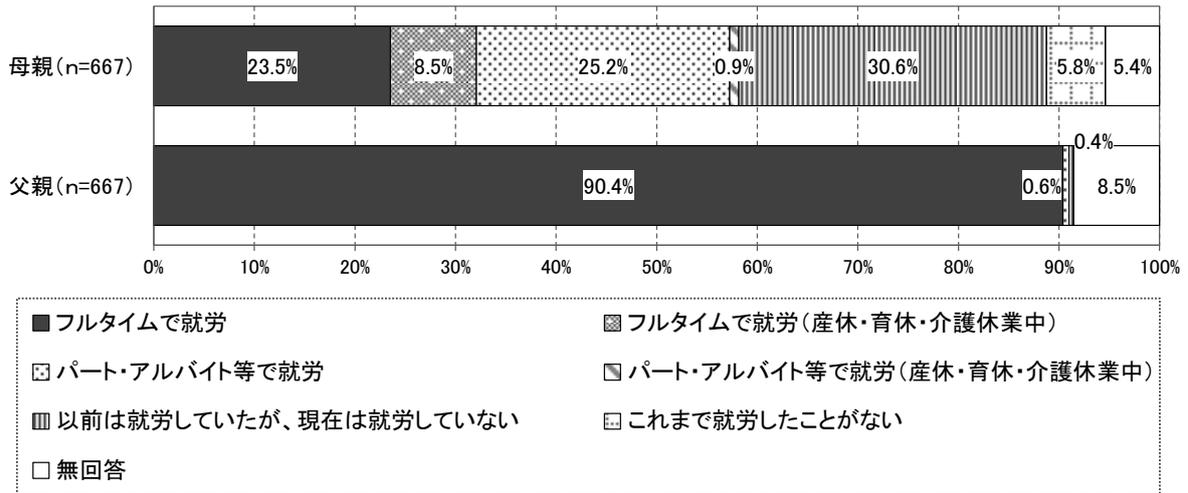
「配偶者」が84.9%と最も高く、次いで、「祖父母等の親族、家族」（78.9%）、「友人や知人」（73.5%）の順となっています。



問 9 及び問 10 お子さんの母親・父親の現在の就労状況

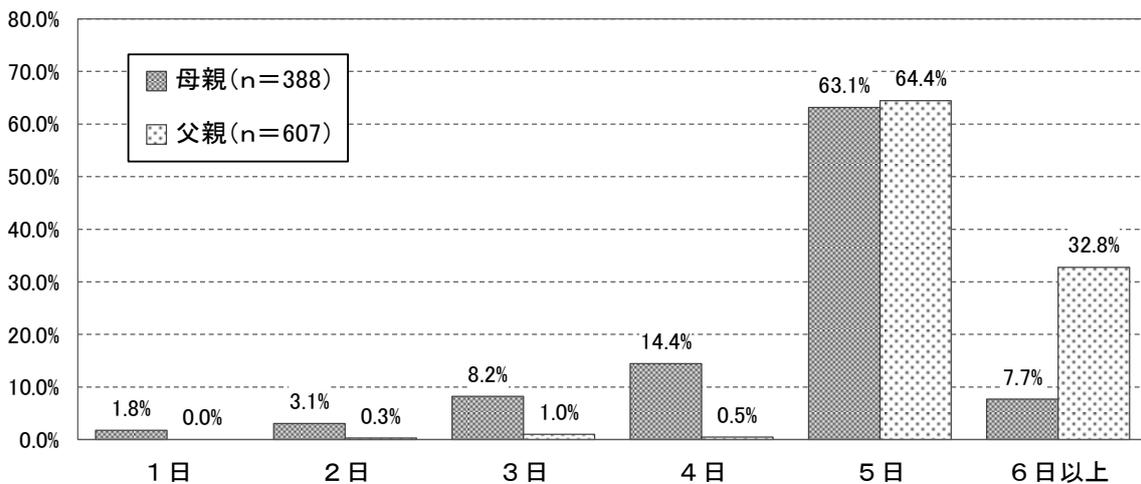
母親でみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が30.6%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト等で就労」(25.2%)、「フルタイムで就労」(23.5%)の順となっています。

父親でみると、「フルタイムで就労」が90.4%と最も高く、次いで、「パート・アルバイト等で就労」(0.6%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(0.4%)の順となっています。



問 9-1 及び問 10-1 就労している方の1週当たりの就労日数

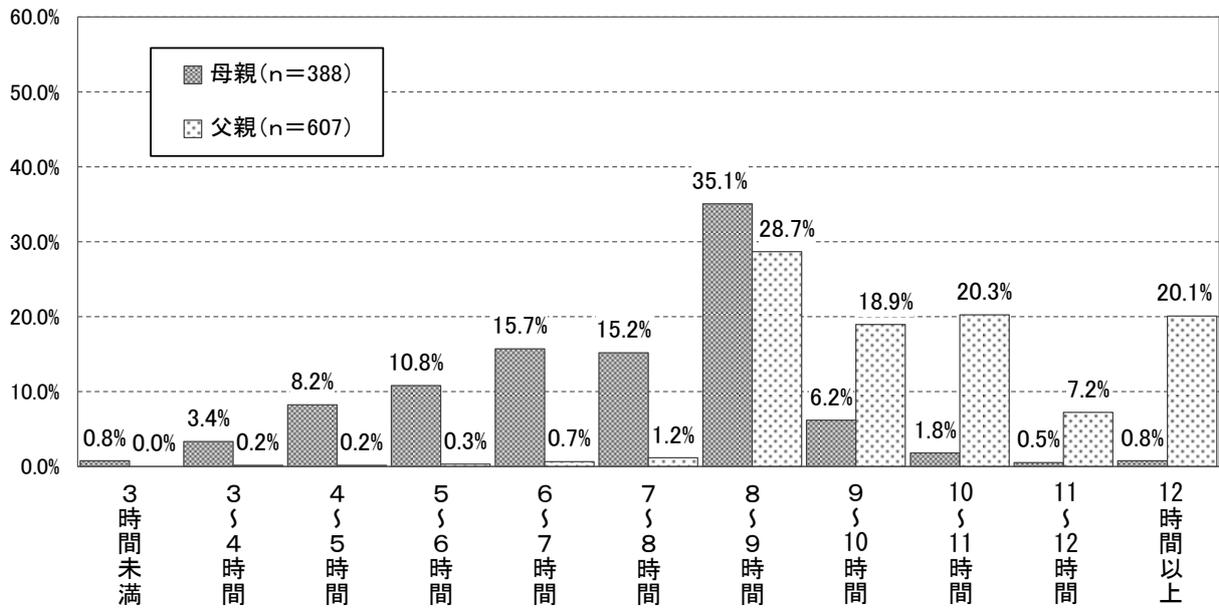
母親・父親ともに「5日」の割合が最も高くなっています。



問 9-1 及び問 10-1 就労している方の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）

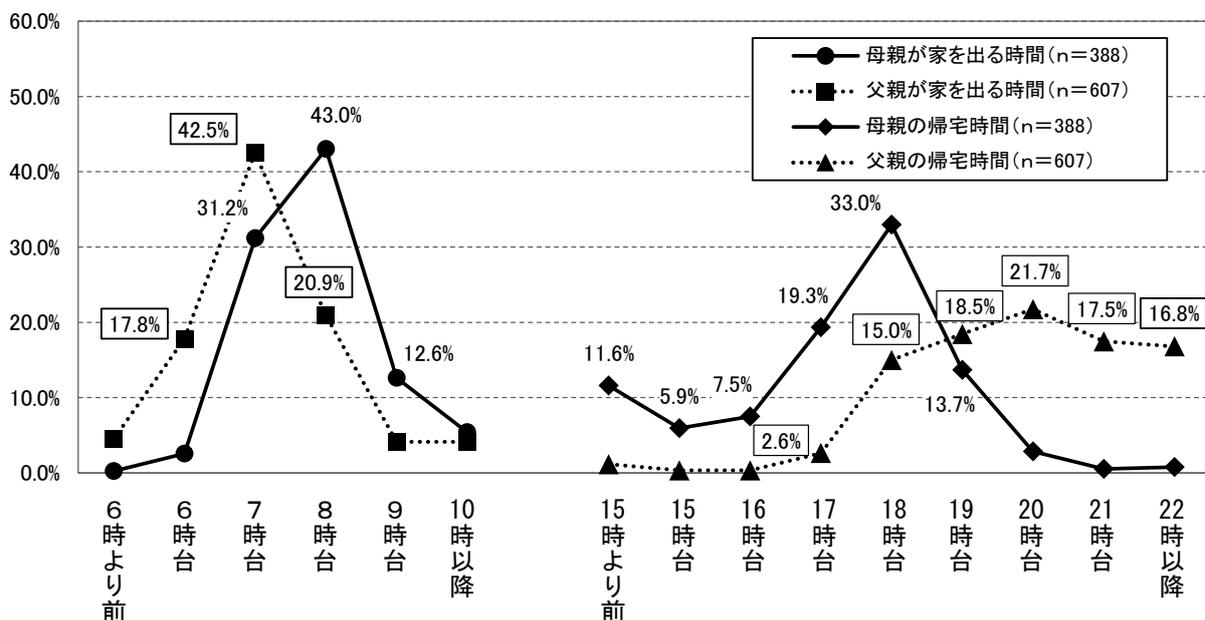
母親でみると、「8～9時間」が35.1%と最も高く、次いで、「6～7時間」（15.7%）、「7～8時間」（15.2%）の順となっています。

父親でみると、「8～9時間」が28.7%と最も高く、次いで、「10～11時間」（20.3%）、「12時間以上」（20.1%）の順となっています。



問 9-2 及び問 10-2 就労している方の家を出る時刻と帰宅時刻

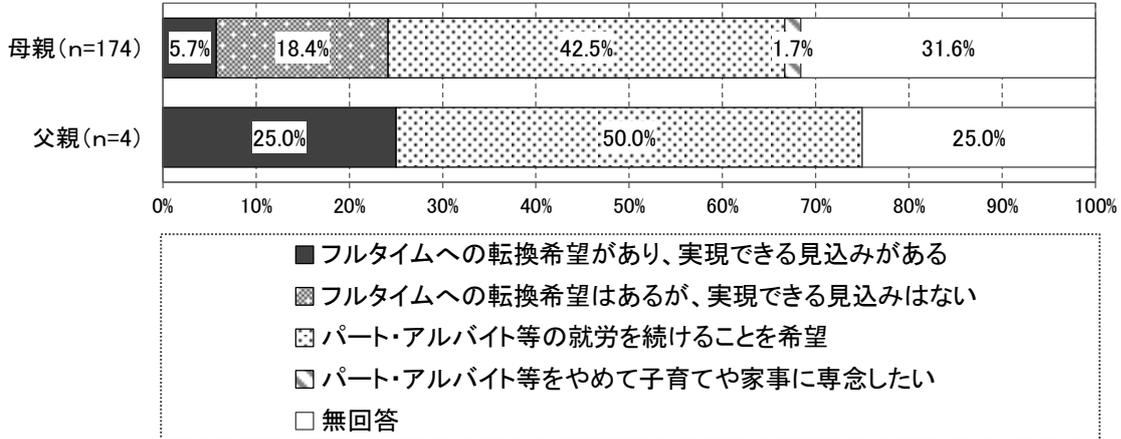
母親でみると、家を出る時刻は「8時台」、帰宅時刻は「18時台」が最も高く、父親では、家を出る時刻は「7時台」、帰宅時刻は「20時台」が最も高くなっています。



問 11 パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望

母親で見ると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が42.5%と最も高く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(18.4%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(5.7%)の順となっています。

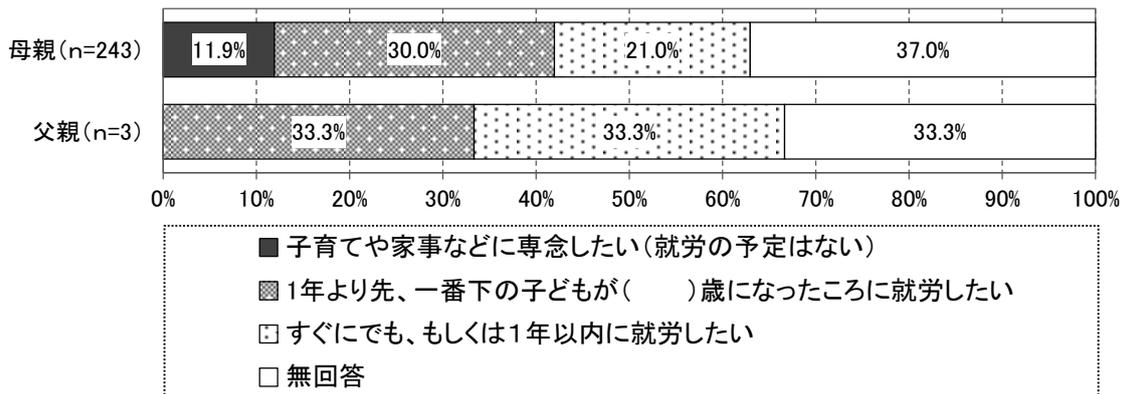
父親は該当者が少ないため、参考としておきます。



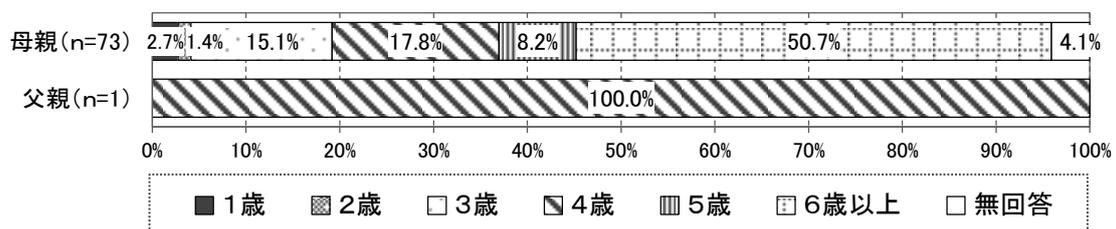
問 12 就労していない、または、就労したことがない方の就労希望

母親で見ると、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が30.0%と最も高く、次いで、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(21.0%)、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(11.9%)となっています。

父親は該当者が少ないため、参考としておきます。

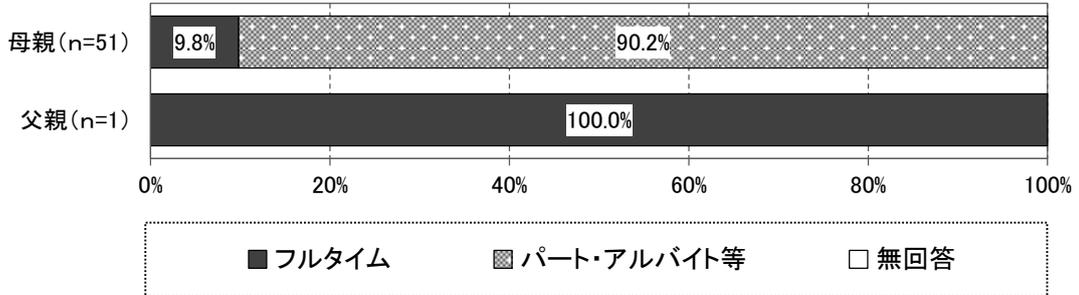


《一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか》

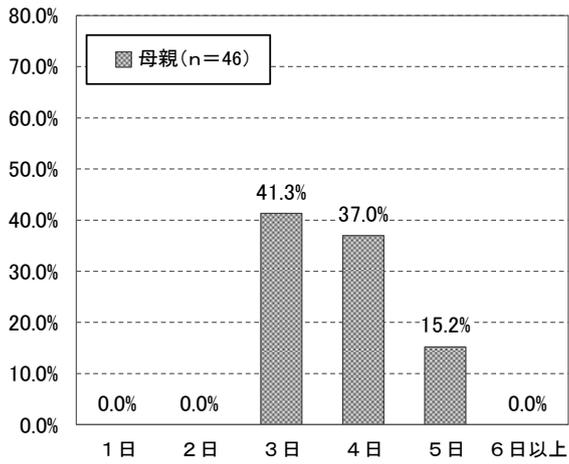


問12 「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態

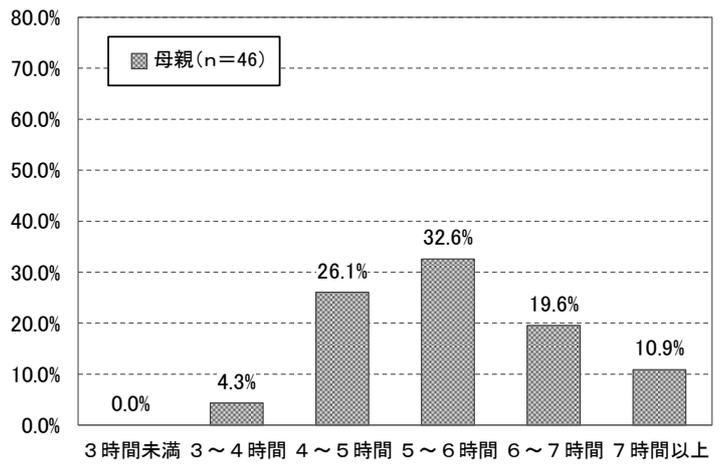
母親でみると、「フルタイム」が9.8%、「パート・アルバイト等」が90.2%となっています。父親は該当者が少ないため、参考としておきます。



《希望する就労形態(週当たり日数)》



《希望する就労形態(1日当たりの時間)》

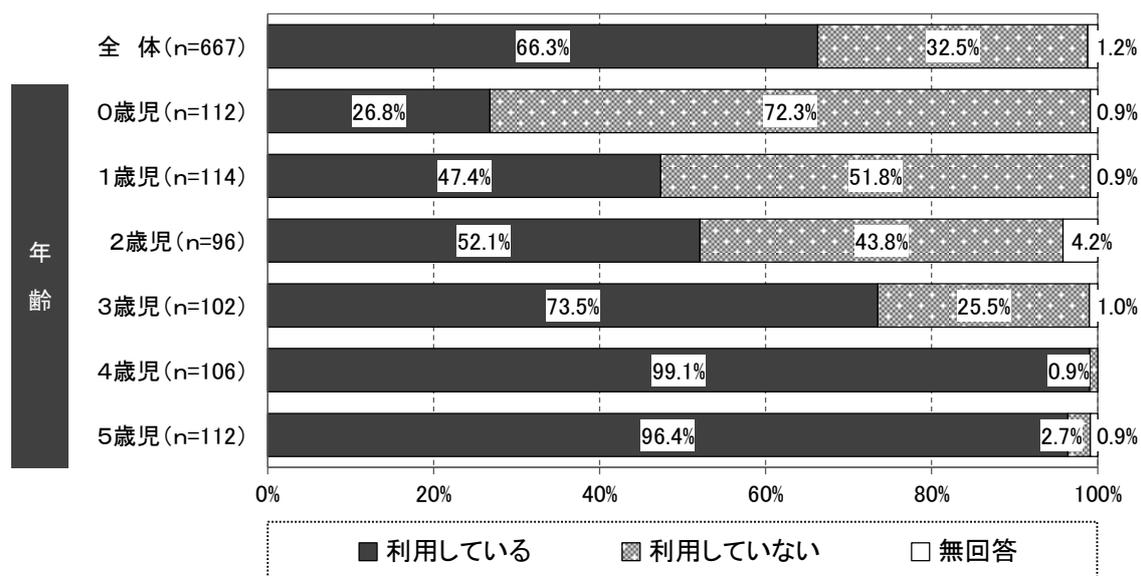


2. 平日に、定期的にご利用している施設やサービスについて

問 13 平日に、子どもを預かる施設やサービスを定期的にご利用しているか

全体では、「利用している」が66.3%、「利用していない」が32.5%となっています。

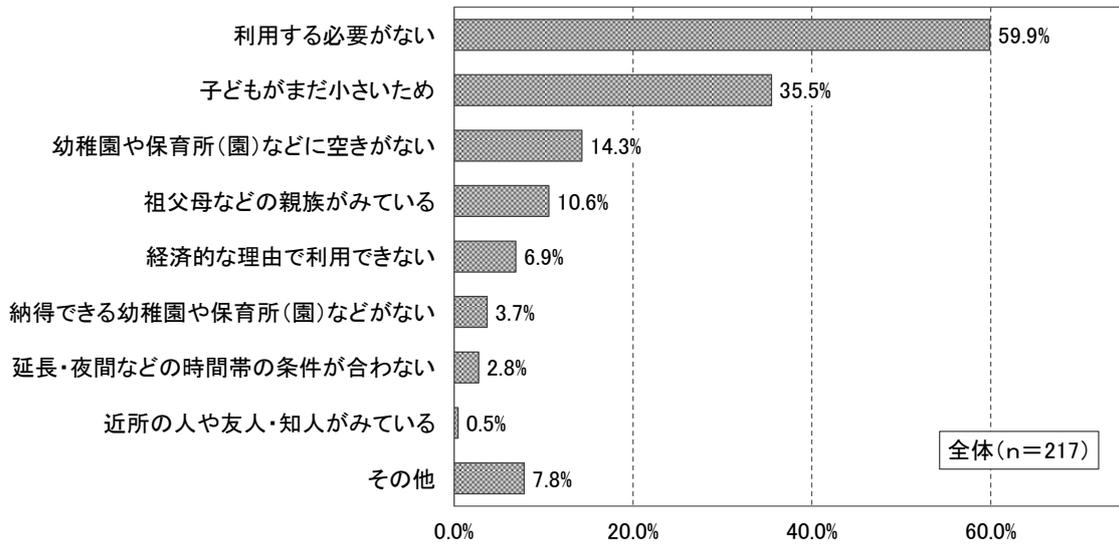
年齢区分でみると、年齢が上がるごとに「利用している」が高くなっており、「4歳児」以上では、ほとんどの方が利用しています。



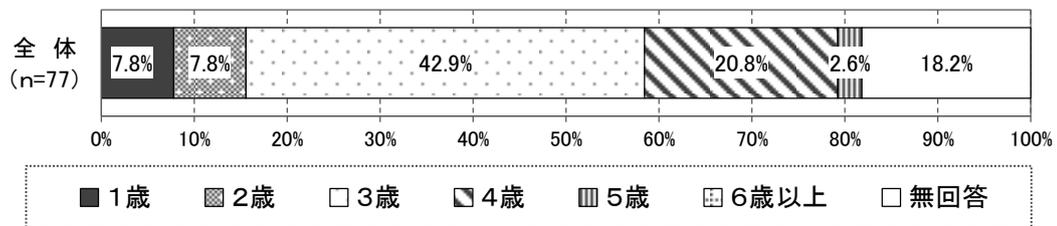
◆問 13 で「2. 利用していない」と回答した方

問 13-2 施設やサービスを定期的に利用していない理由【MA】

「利用する必要がない」が 59.9%と最も高く、次いで、「子どもが小さいため」(35.5%)、「幼稚園や保育所(園)などに空きがない」(14.3%)の順となっています。



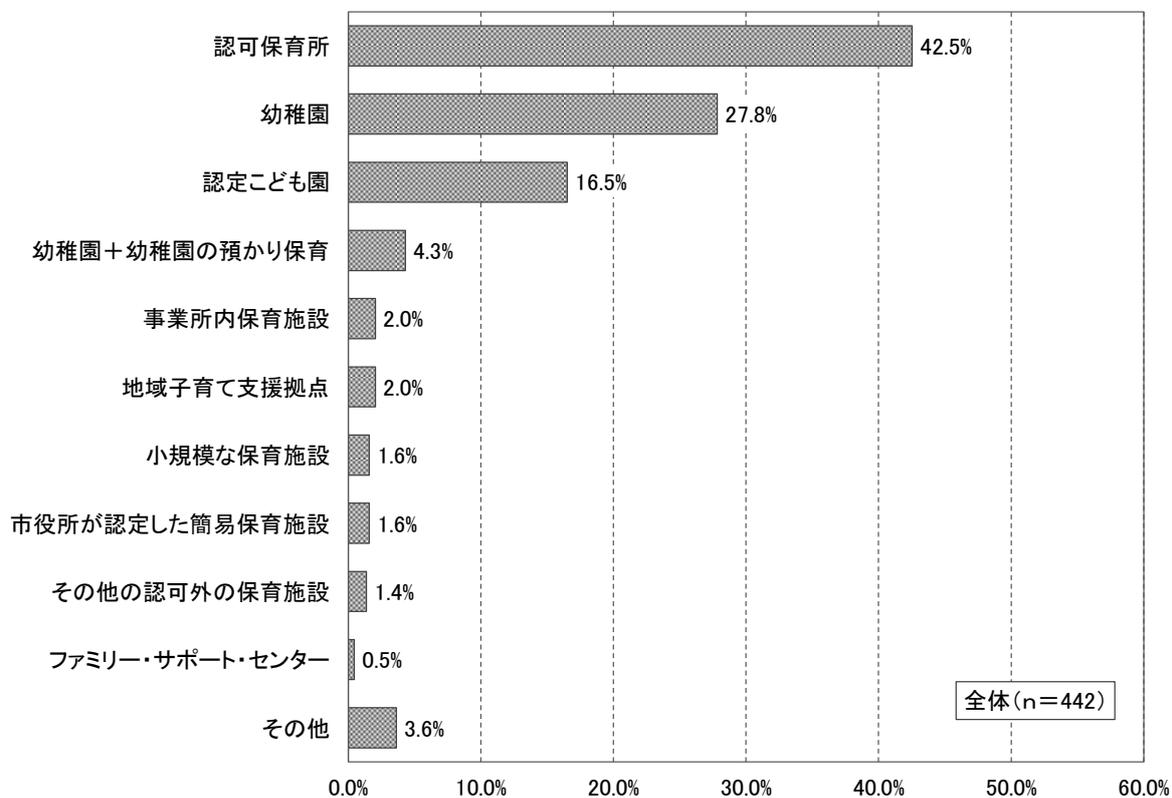
《何歳になったら利用したいか》



◆問 13 で「1. 利用している」と回答した方

問 13-2 平日に、どのような施設やサービスを定期的にご利用しているか【MA】

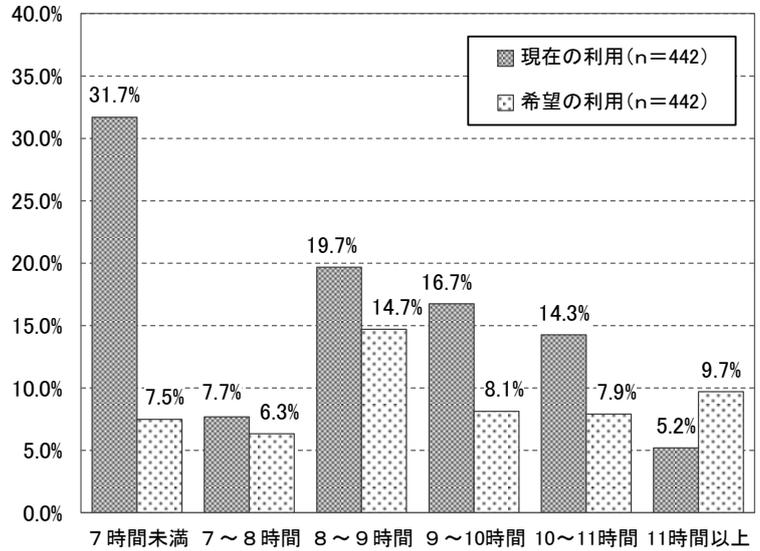
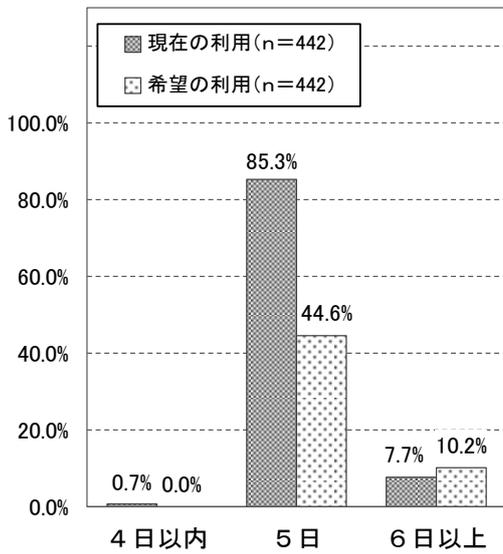
「認可保育所」が 42.5%と最も高く、次いで、「幼稚園」(27.8%)、「認定こども園」(16.5%)の順となっています。



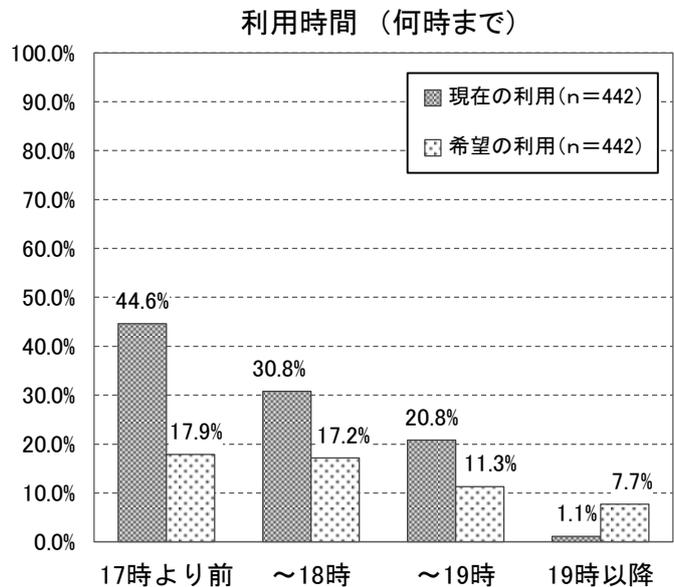
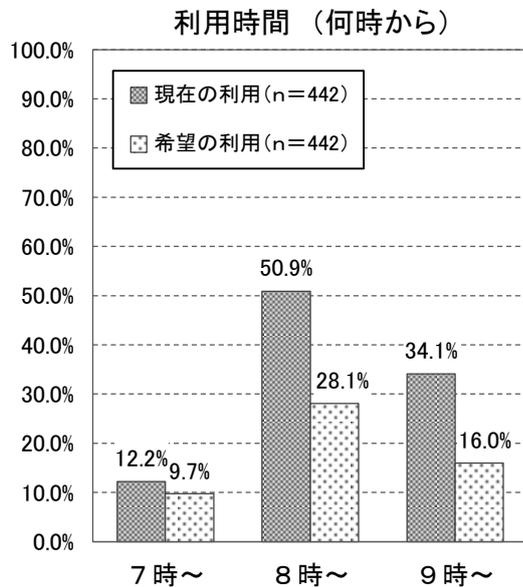
◆問 13 で「1. 利用している」と回答した方

問 13-3 平日、定期的に利用している施設やサービスの利用日数と時間

《1 週当たりの利用日数・1 日当たりの利用時間》



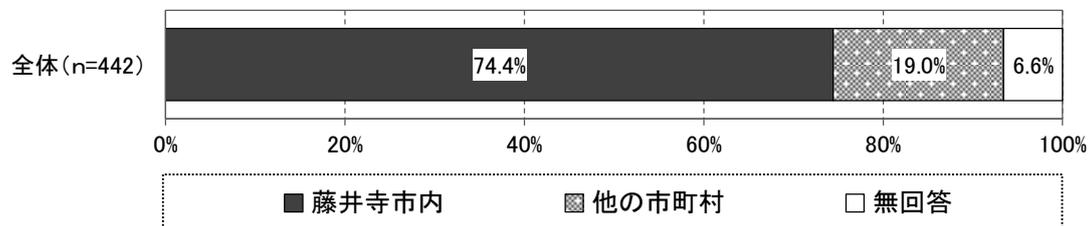
《利用開始時刻と終了時刻》



◆問 13 で「1. 利用している」と回答した方

問 13-4 現在、定期的に利用している施設やサービスの主な場所

「藤井寺市内」が 74.4%、「他の市町村」が 19.0%となっています。



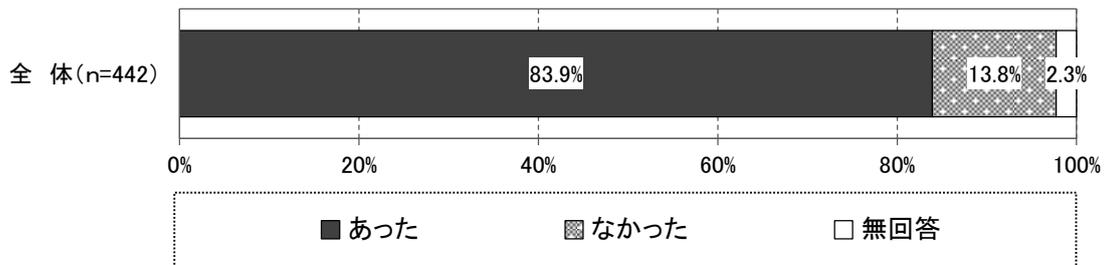
《「他の市町村」の内訳》

他の市町村（自治体名）	件数
羽曳野市	27
松原市	23
柏原市	16
八尾市	3
堺市	1
大阪市	1
東大阪市	1
富田林市	1

3. 子どもの病気の際の対応について

問 14 この1年間に、お子さんが病気やけがで幼稚園や保育所（園）の利用ができなかったことがあるか

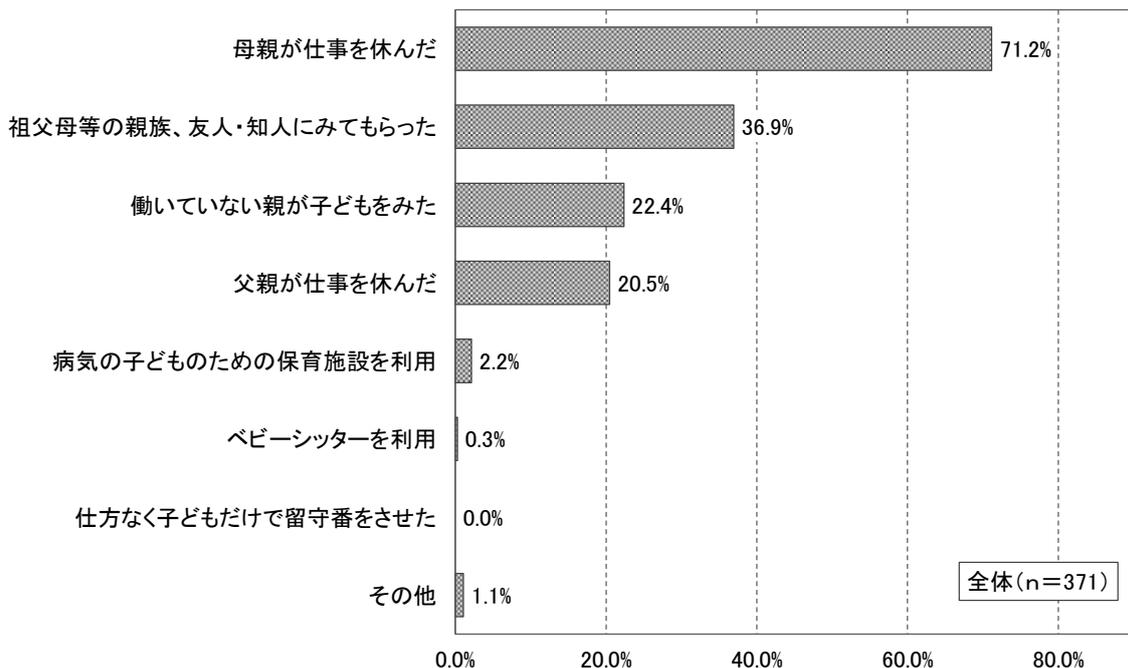
「あった」が83.9%、「なかった」が13.8%となっています。



◆問 14 で「1. あった」と回答した方

問 14-1 お子さんが病気やけがで幼稚園や保育所（園）が利用できなかった場合、この1年間に行った対処方法【MA】

「母親が仕事を休んだ」が71.2%と最も高く、次いで、「祖父母等の親族、友人・知人にみてもらった」(36.9%)、「働いていない親が子どもをみた」(22.4%)の順となっています。



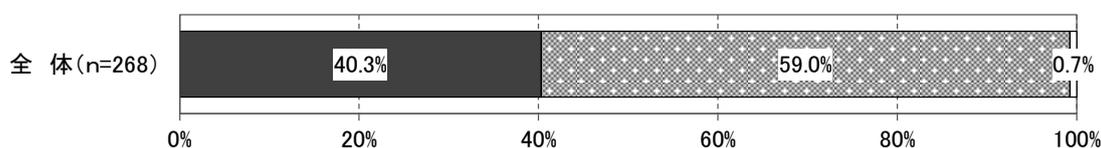
問 14-1 お子さんが病気やけがで幼稚園や保育所（園）が利用できなかった場合、この1年間に対処した日数

	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
母親が仕事を休んだ	264	35 13.3%	27 10.2%	33 12.5%	7 2.7%	44 16.7%	20 7.6%	64 24.2%	34 12.9%
祖父母等の親族、友人・知人にみてもらった	137	19 13.9%	27 19.7%	21 15.3%	6 4.4%	19 13.9%	8 5.8%	16 11.7%	21 15.3%
働いていない親が子どもをみた	83	9 10.8%	14 16.9%	8 9.6%	3 3.6%	14 16.9%	9 10.8%	15 18.1%	11 13.3%
父親が仕事を休んだ	76	24 31.6%	18 23.7%	9 11.8%	2 2.6%	11 14.5%	2 2.6%	3 3.9%	7 9.2%
病気の子どものための保育施設を利用	8	3 37.5%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ベビーシッターを利用	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	4	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%

◆ 問 14-1 で「1.」または「2.」（父親または母親が仕事を休んだ）に○をつけた方

問 14-2 その際、「できれば病気の子どもをみてくれる保育施設などを利用したい」と思ったか

「できれば病気の子どものための保育施設を利用したい」が40.3%、「利用したいとは思わない」が59.0%となっています。



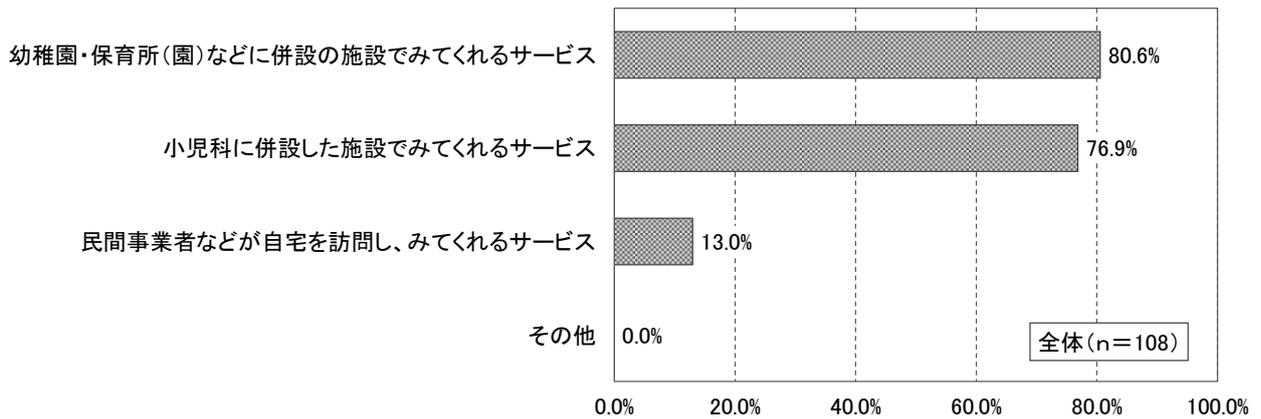
■ 病気の子どもための保育施設を利用したい ▨ 利用したいとは思わない □ 無回答

	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
病気の子どものための保育施設を利用したい	108	8 7.4%	8 7.4%	12 11.1%	3 2.8%	17 15.7%	9 8.3%	14 13.0%	37 34.3%

◆ 問 14-2 で「1.」（利用したい）に○をつけた方

問 14-3 利用する場合、いずれのサービスが望ましいと思うか【MA】

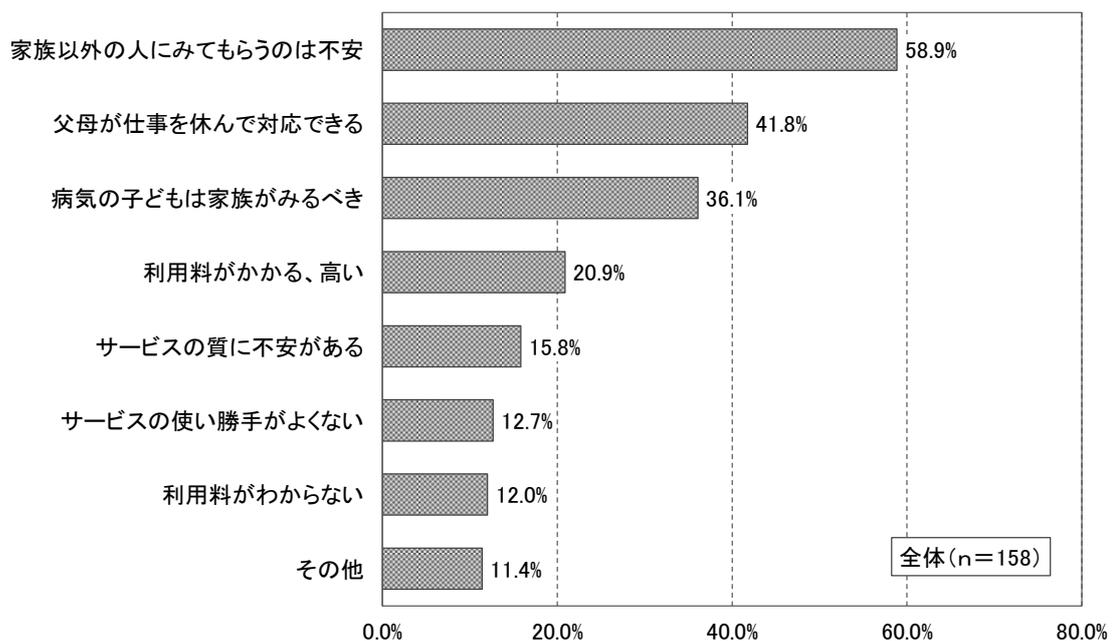
「幼稚園・保育所（園）などに併設の施設でみてくれるサービス」が80.6%と最も高く、次いで、「小児科に併設した施設でみてくれるサービス」(76.9%)、「民間事業者などが自宅を訪問し、みてくれるサービス」(13.0%)の順となっています。



◆ 問 14-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方

問 14-4 利用したいとは思わない理由【MA】

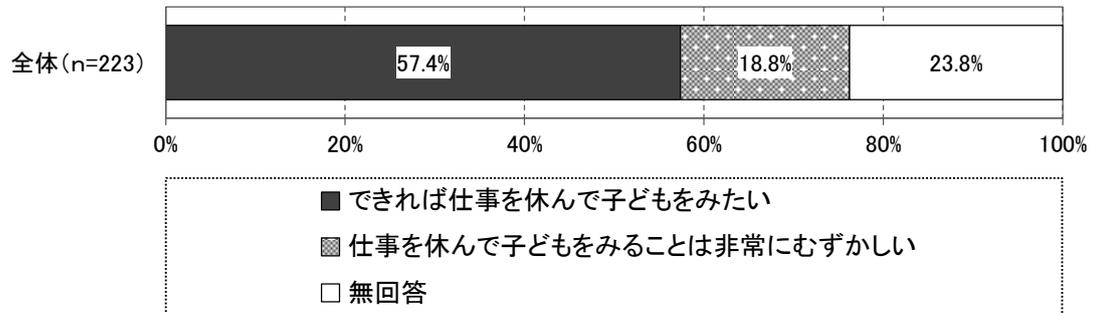
「家族以外の人にみてもらうのは不安」が58.9%と最も高く、次いで、「父母が仕事を休んで対応できる」(41.8%)、「病気の子どもは家族がみるべき」(36.1%)の順となっています。



◆ 問 14-1 で「3. 」～「8. 」に○をつけた方

問 14-5 できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもをみたいと思ったか

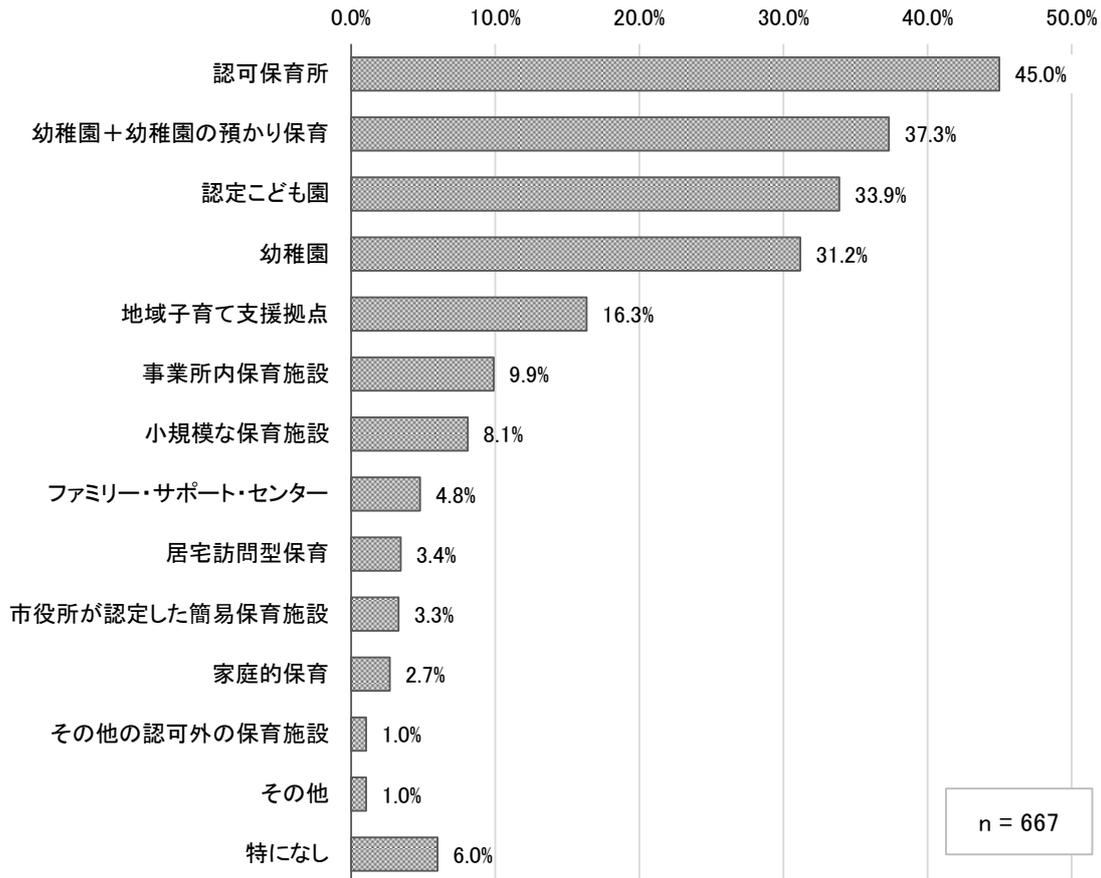
「できれば仕事を休んで子どもをみたい」が57.4%、「仕事を休んで子どもをみることは非常に難しい」が18.8%となっています。



4. 平日に、定期的に利用したい施設やサービスについて

問 15 今後、定期的に利用したい施設やサービス【MA】

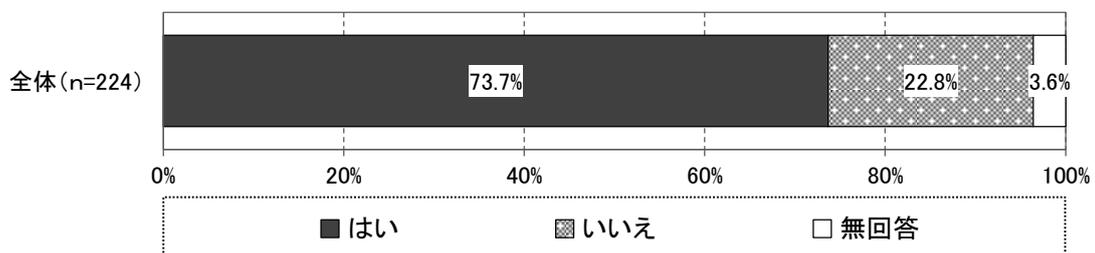
「認可保育所」が45.0%と最も高く、次いで、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」（37.3%）、「認定こども園」（33.9%）の順となっています。



◆問 15 で「1. 」または「2. 」に○をつけ、かつ「3. ～12. 」にも○をつけた方

問 15-1 特に幼稚園の利用を強く希望するか

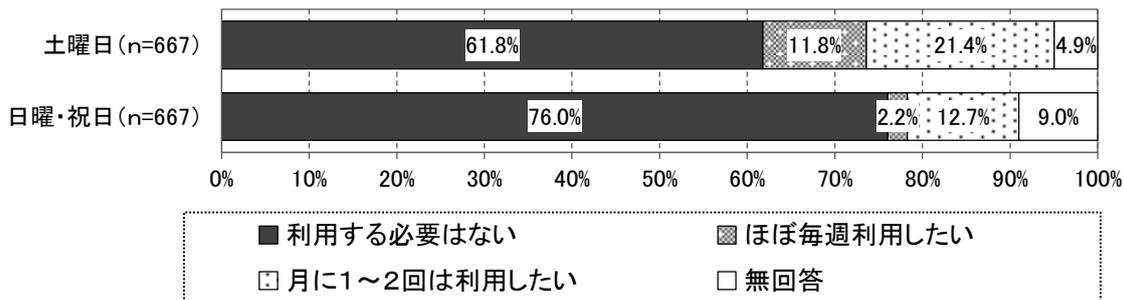
「はい」が73.7%、「いいえ」が22.8%となっています。



5. 幼稚園や保育所などの土曜日、日曜日・祝日、長期休暇中の定期的な利用希望について

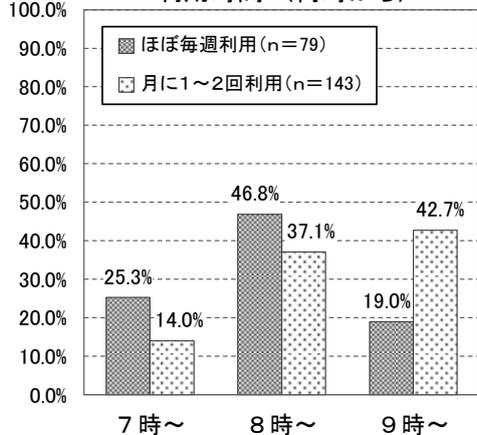
問 16 土曜日、日曜日・祝日の幼稚園や保育所（園）などの利用希望

「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた“利用したい”は、土曜日では33.2%、日曜・祝日では14.9%となっています。

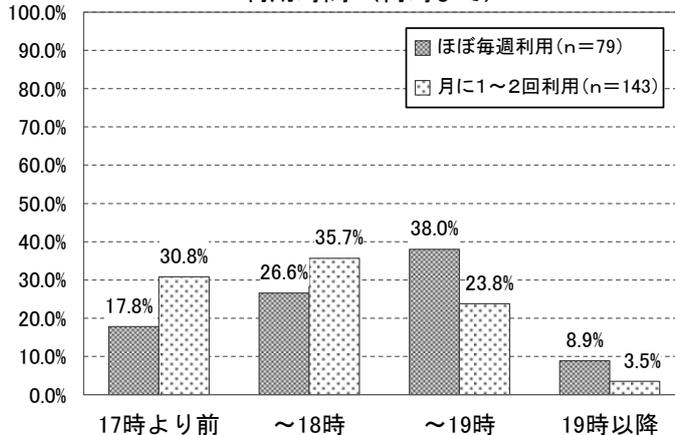


《利用したい開始時間と終了時間（土曜日）》

利用時間（何時から）

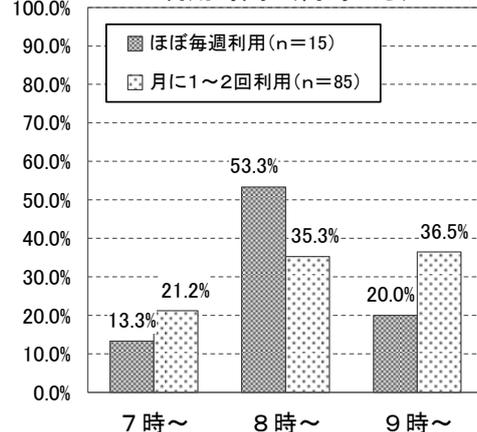


利用時間（何時まで）

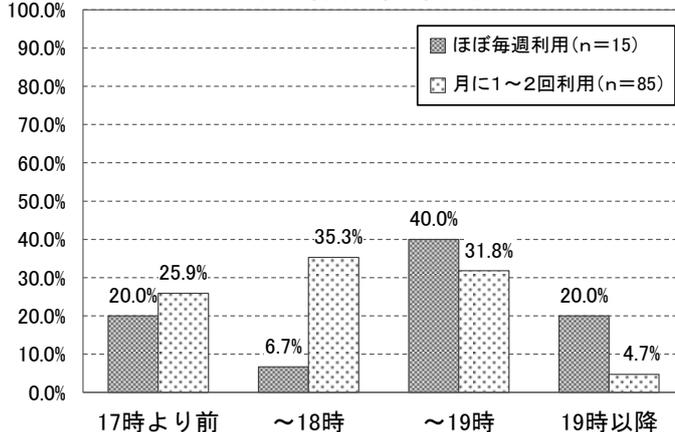


《利用したい開始時間と終了時間（日曜日・祝日）》

利用時間（何時から）



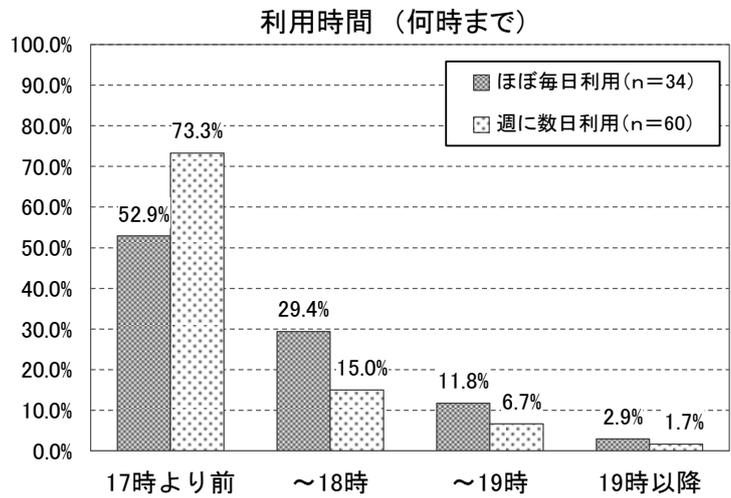
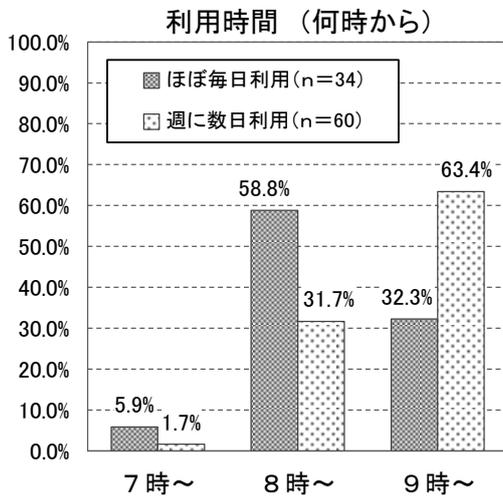
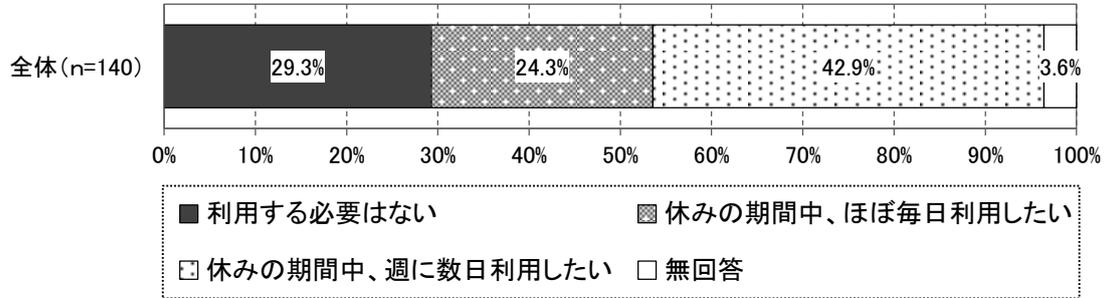
利用時間（何時まで）



◆「幼稚園」を利用している方

問 17 長期休暇中における幼稚園の利用希望

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」を合わせた“利用したい”は67.2%ととなっています。

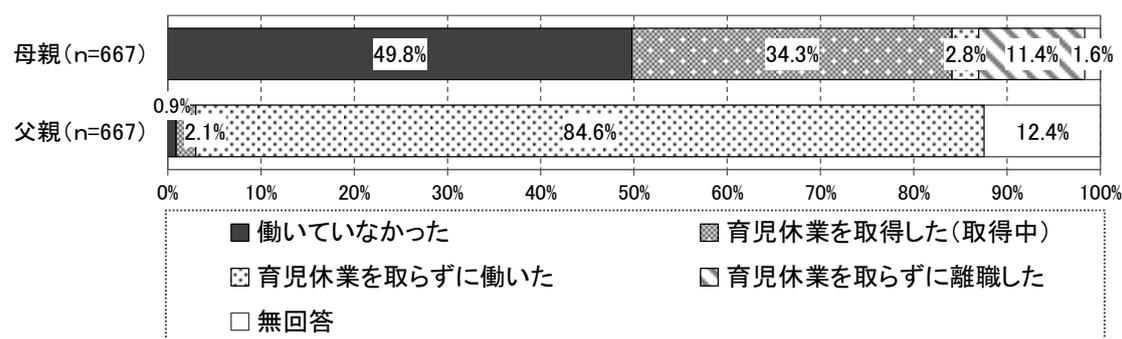


6. 仕事と子育ての両立について

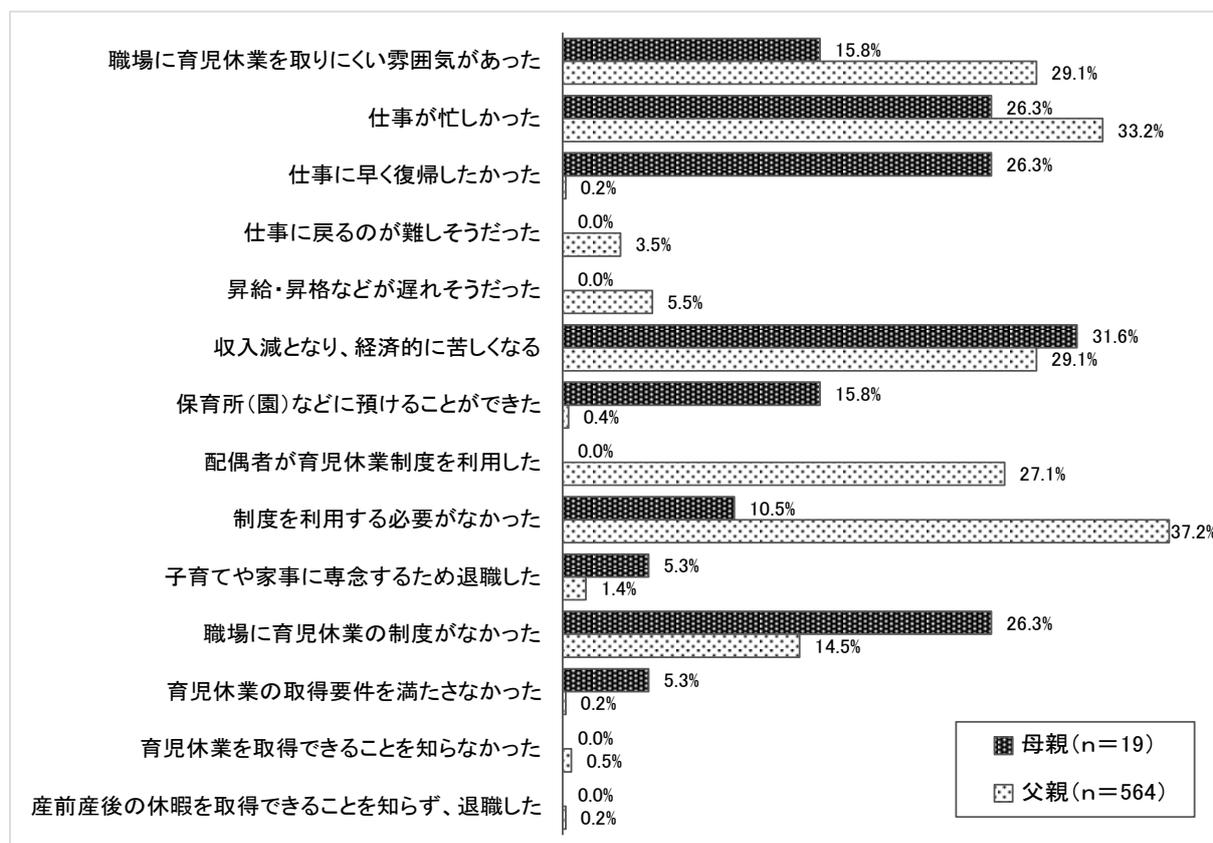
問 18 育児休業を取得したか

母親でみると、「働いていなかった」が49.8%と最も高く、次いで、「育児休業を取得した（取得中）」（34.3%）、「育児休業を取らずに退職した」（11.4%）の順となっています。

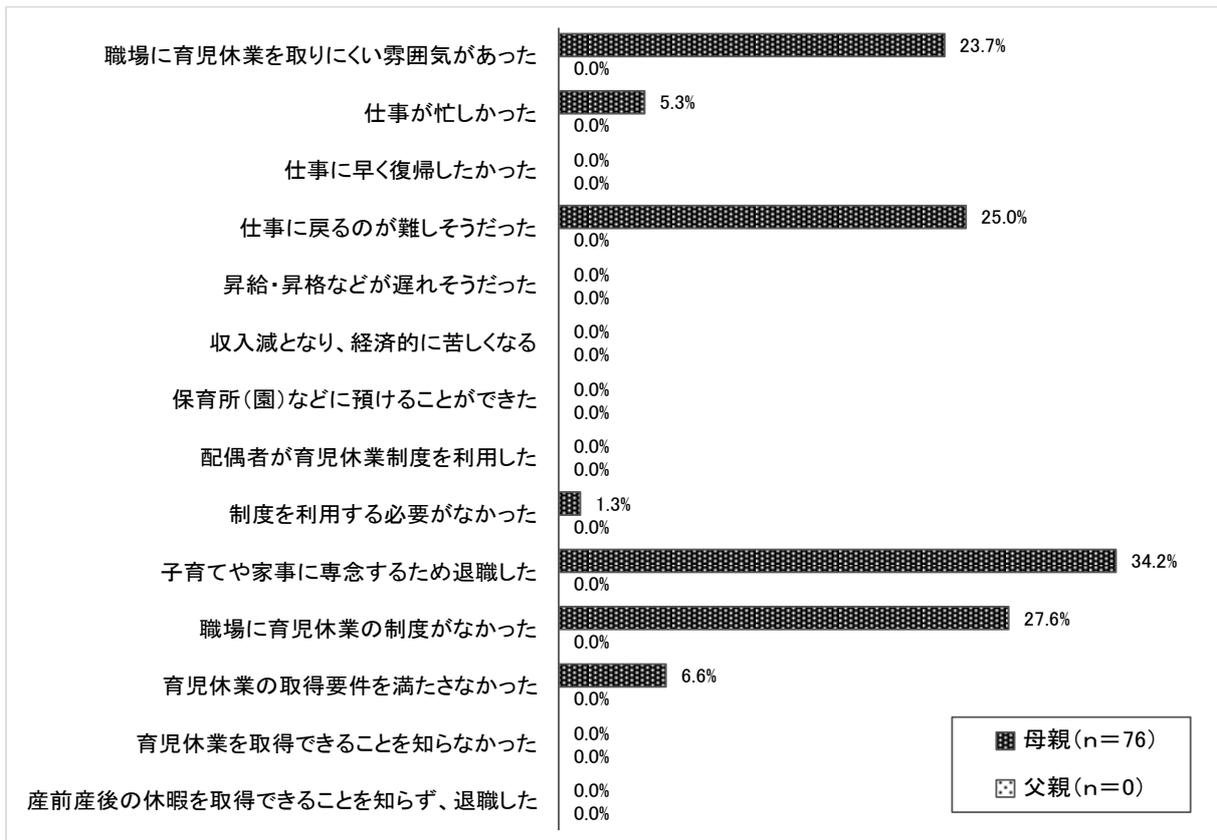
父親でみると、「育児休業を取らずに働いた」がほとんどであり、「取得した」はわずか2.1%となっています。



《育児休業を取らずに働いた理由》



《育児休業を取らずに離職した理由》

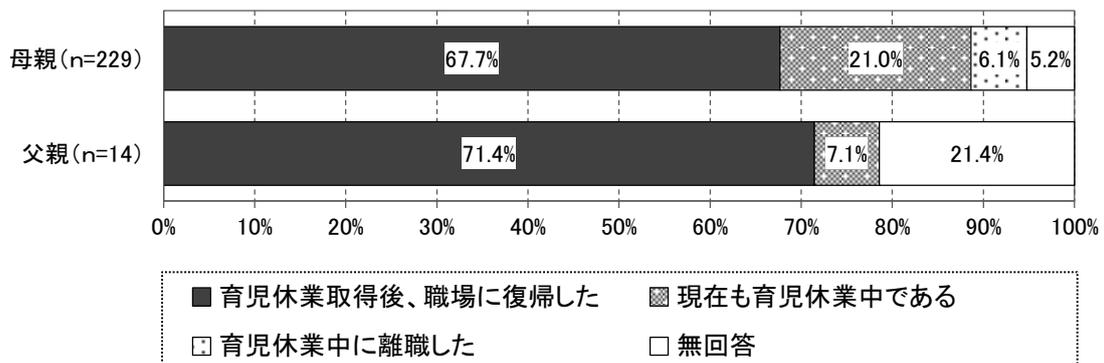


◆問 18 で「2.」（育児休業を取った、あるいは、今取っている）と回答した方

問 18-1 育児休業取得後、職場に復帰したか

母親でみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が67.7%と最も高く、次いで、「現在も育児休業中である」(21.0%)、「育児休業中に離職した」(6.1%)となっています。

父親でみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が71.4%と最も高く、次いで、「現在も育児休業中である」(7.1%)となっており、「育児休業中に離職した」はありませんでした。

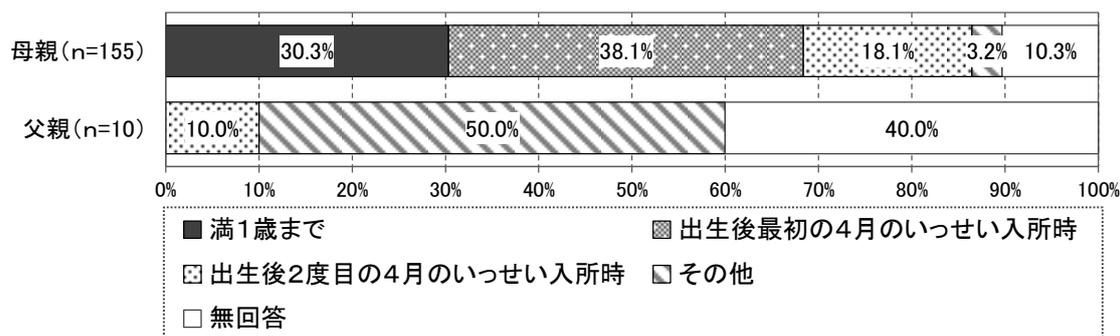


◆問 18-1 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方

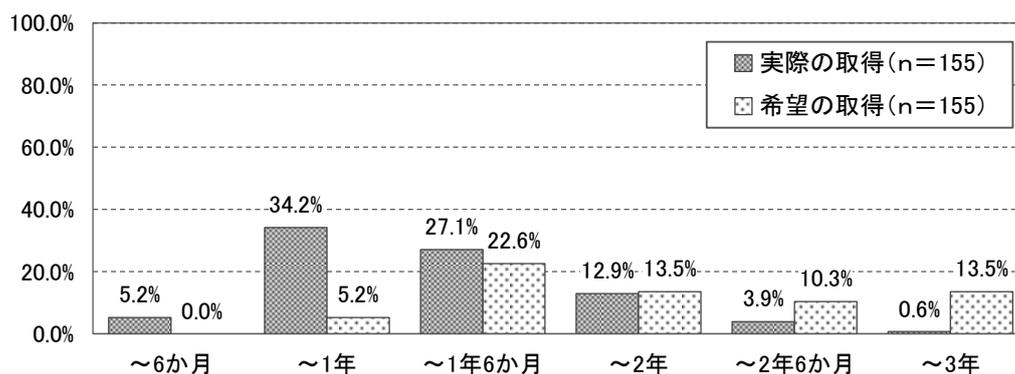
問 18-2 育児休業からの職場復帰は、子どもが何歳何ヶ月の時か

母親でみると、「出生後最初の4月のいっせい入所時」が38.1%と最も高く、次いで、「満1歳まで」(30.3%)、「出生後2度目の4月のいっせい入所時」(18.1%)の順となっています。

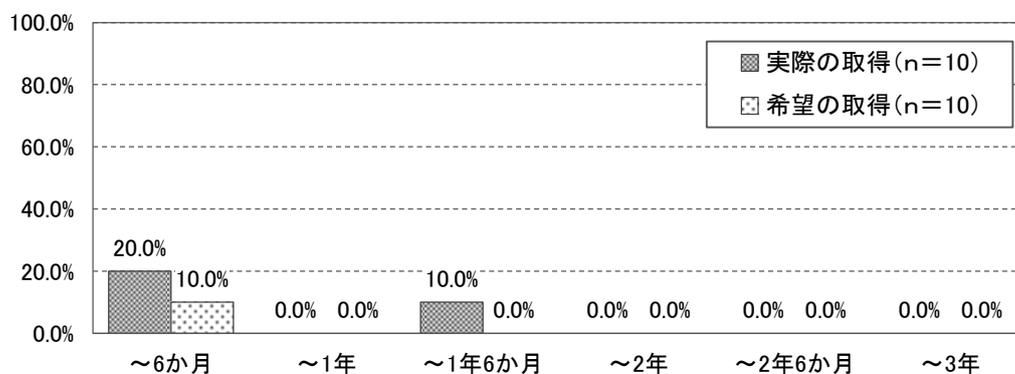
父親でみると、「その他」が50.0%と最も高く、次いで、「出生後2度目の4月のいっせい入所時」(10.0%)となっており、そのほかの回答はありませんでした。



《職場復帰までの取得期間（母親）》



《職場復帰までの取得期間（父親）》

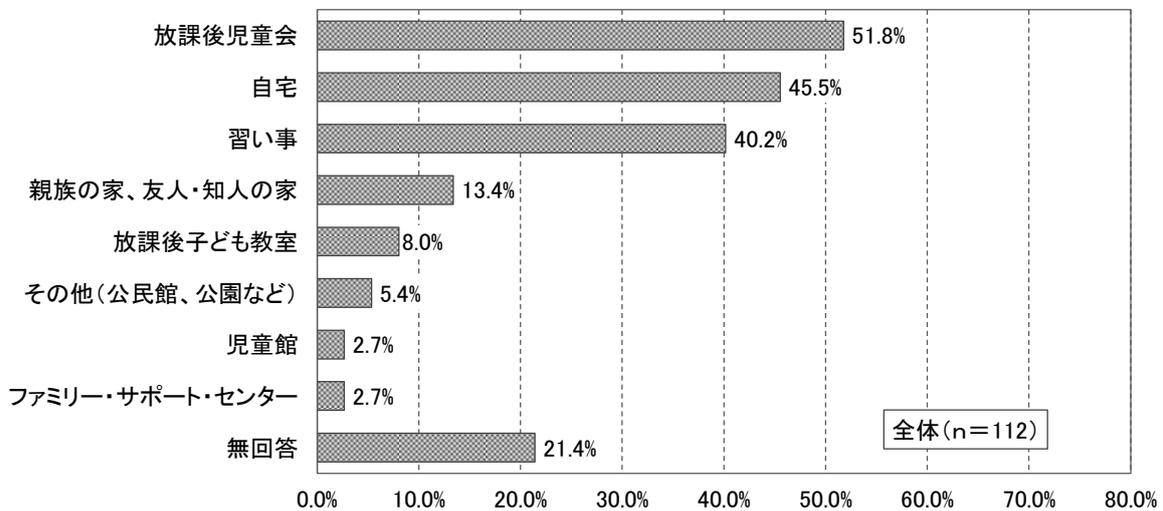


7. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

★「小学校就学後の放課後の過ごし方」については、国の指針により、近い将来を分析する必要から、5歳以上（平成30年4月1日時点）を対象におうかがいしました。

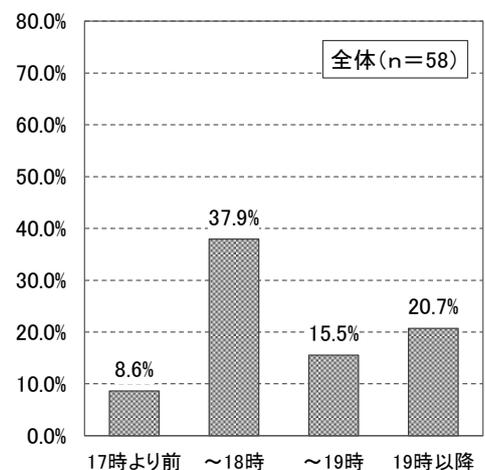
問 19 小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいか【MA】

「放課後児童会」が51.8%と最も高く、次いで、「自宅」（45.5%）、「習い事」（40.2%）の順となっています。



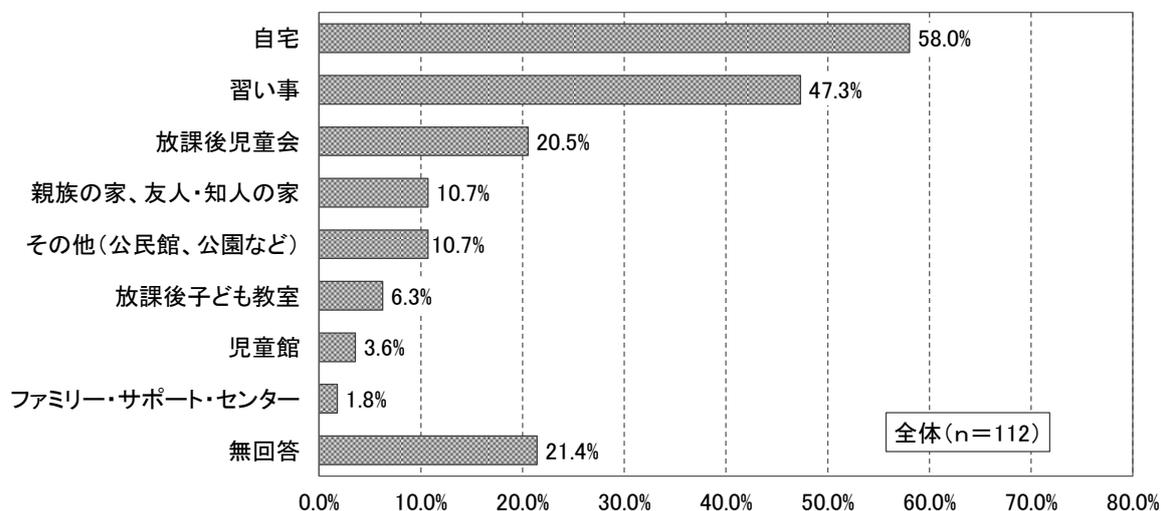
	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
放課後児童会	58	0 0.0%	1 1.7%	6 10.3%	2 3.4%	22 37.9%	27 46.6%
自宅	51	8 15.7%	9 17.6%	7 13.7%	6 11.8%	14 27.5%	7 13.7%
習い事	45	12 26.7%	14 31.1%	11 24.4%	3 6.7%	1 2.2%	4 8.9%
親族の家、友人・知人の家	15	7 46.7%	2 13.3%	2 13.3%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%
放課後子ども教室	9	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	5 55.6%	0 0.0%
その他(公民館・公園など)	6	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
児童館	3	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ファミリー・サポート・センター	3	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%

何時まで利用したいか（放課後児童会）



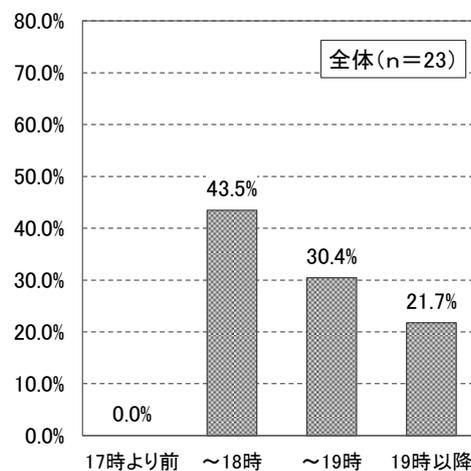
問 20 小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいか【MA】

「自宅」が58.0%と最も高く、次いで、「習い事」（47.3%）、「放課後児童会」（20.5%）、の順となっています。



	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
自宅	65	6 9.2%	14 21.5%	12 18.5%	5 7.7%	18 27.7%	10 15.4%
習い事	53	7 13.2%	20 37.7%	16 30.2%	4 7.5%	3 5.7%	3 5.7%
放課後児童会	23	0 0.0%	1 4.3%	4 17.4%	0 0.0%	6 26.1%	12 52.2%
親族の家、友人・ 知人の家	12	5 41.7%	4 33.3%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%
その他(公民館・公 園など)	12	3 25.0%	3 25.0%	1 8.3%	2 16.7%	2 16.7%	1 8.3%
放課後子ども教室	7	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	5 71.4%	0 0.0%
児童館	4	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
ファミリー・サポー ト・センター	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

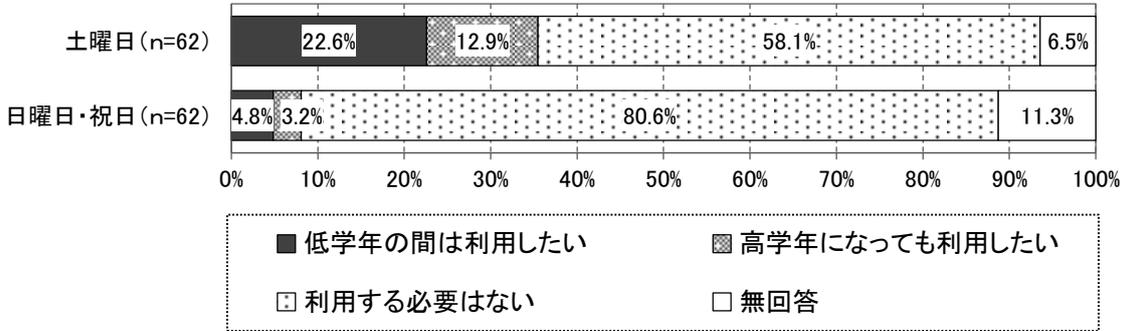
何時まで利用したいか（放課後児童会）



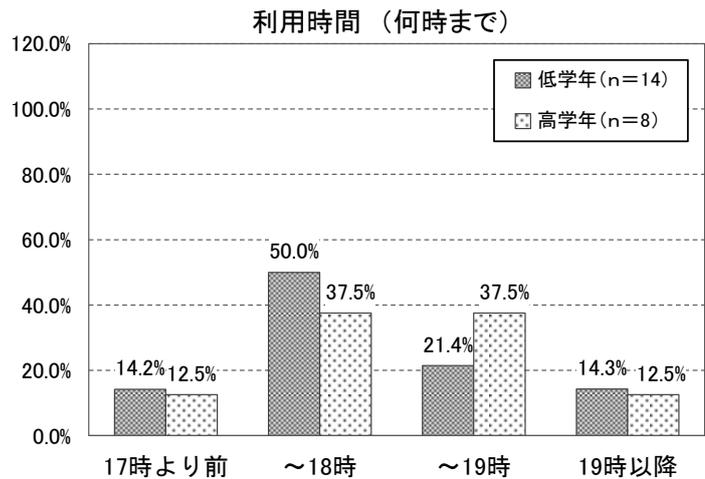
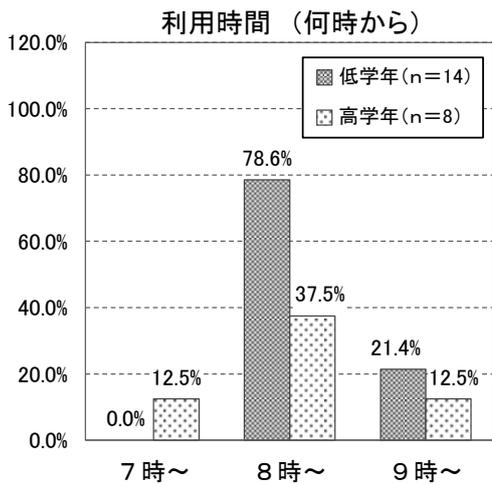
◆問 19 または問 20 で、「放課後児童会」に○をつけた方

問 21 土曜日、日曜日・祝日における「放課後児童会」の利用希望

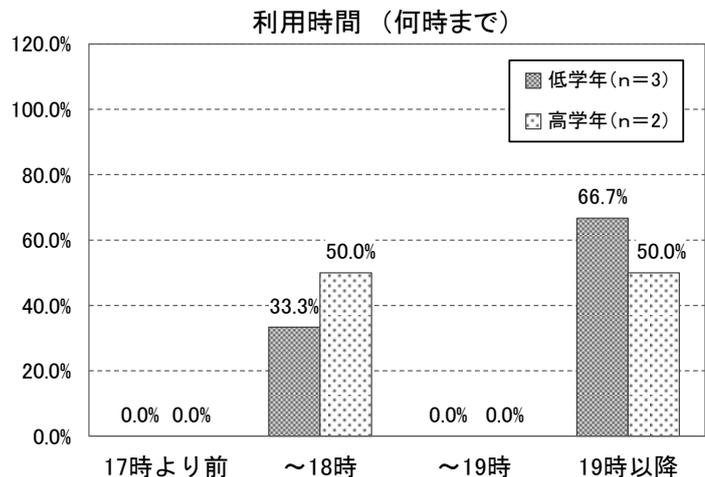
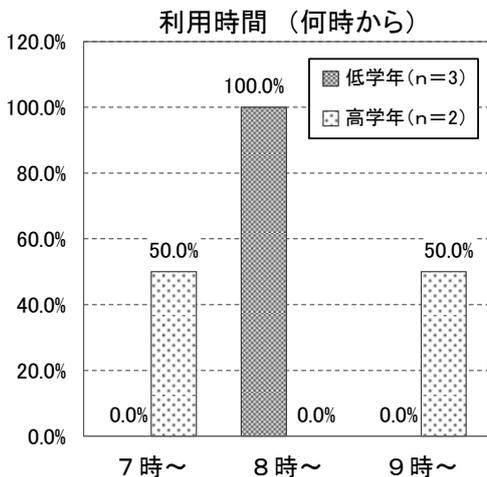
「低学年の間は利用したい」と「高学年になっても利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、土曜日で35.5%、日曜日・祝日で8.0%となっています。



《利用希望時間（土曜日）》

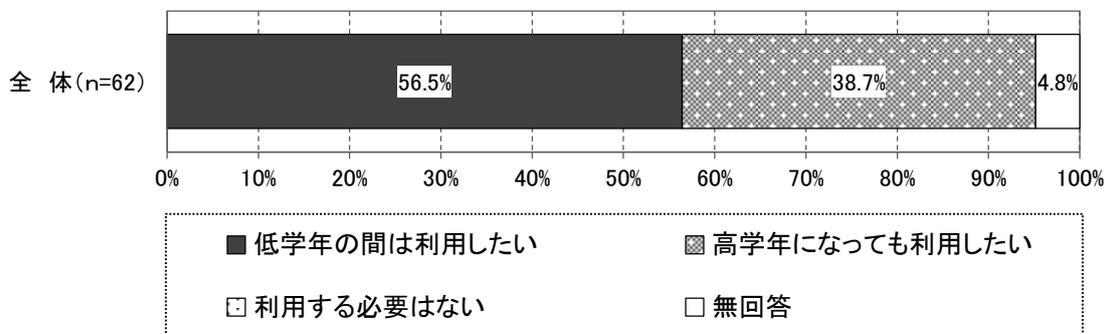


《利用希望時間（日曜日・祝日）》

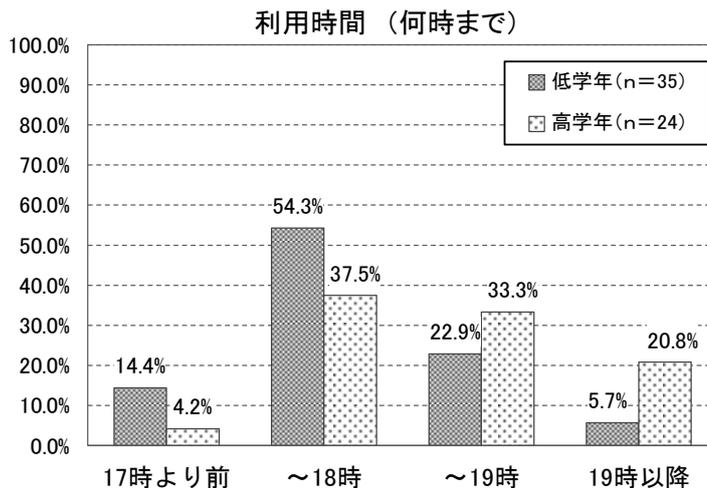
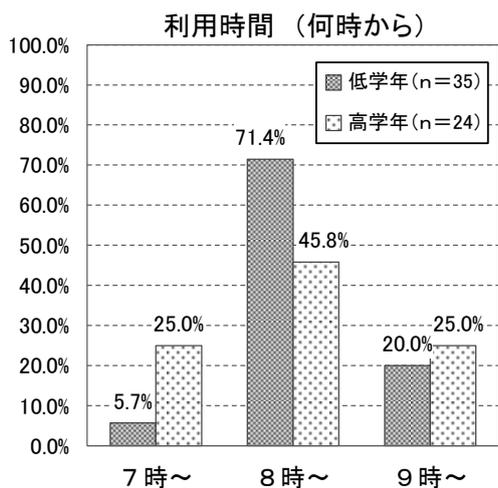


問 22 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の「放課後児童会」の利用希望

「低学年の間は利用したい」が 56.5%と最も高く、次いで、「高学年になっても利用したい」(38.7%) となっており、「利用する必要はない」の回答はありませんでした。



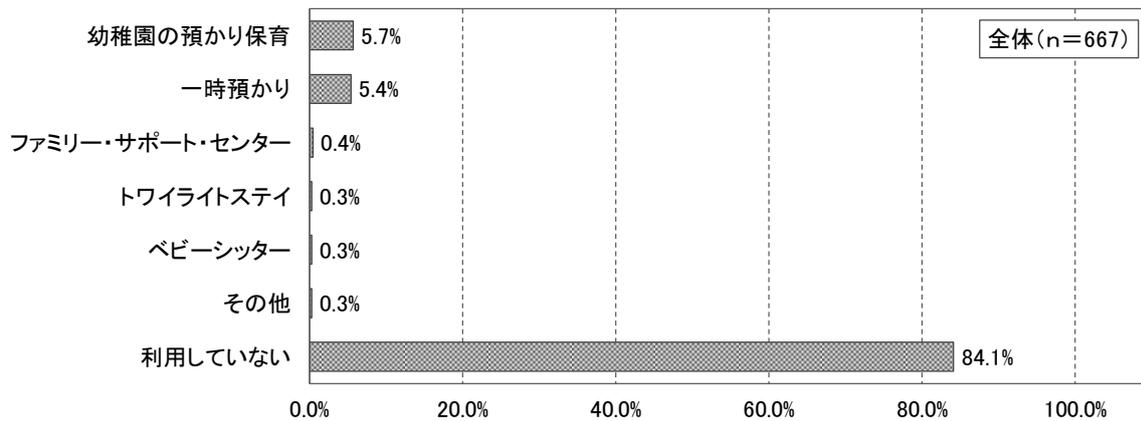
《利用希望時間（長期休暇中）》



8. 幼稚園や保育所などの不定期な利用や、宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 私用、親の通院、不定期の就労等の理由として、子どもを預かるサービスを不定期に利用したか【MA】

「幼稚園の預かり保育」が 5.7%、「一時預かり」が 5.4%で、その他の利用はほとんどなく、「利用していない」が多数を占めています。

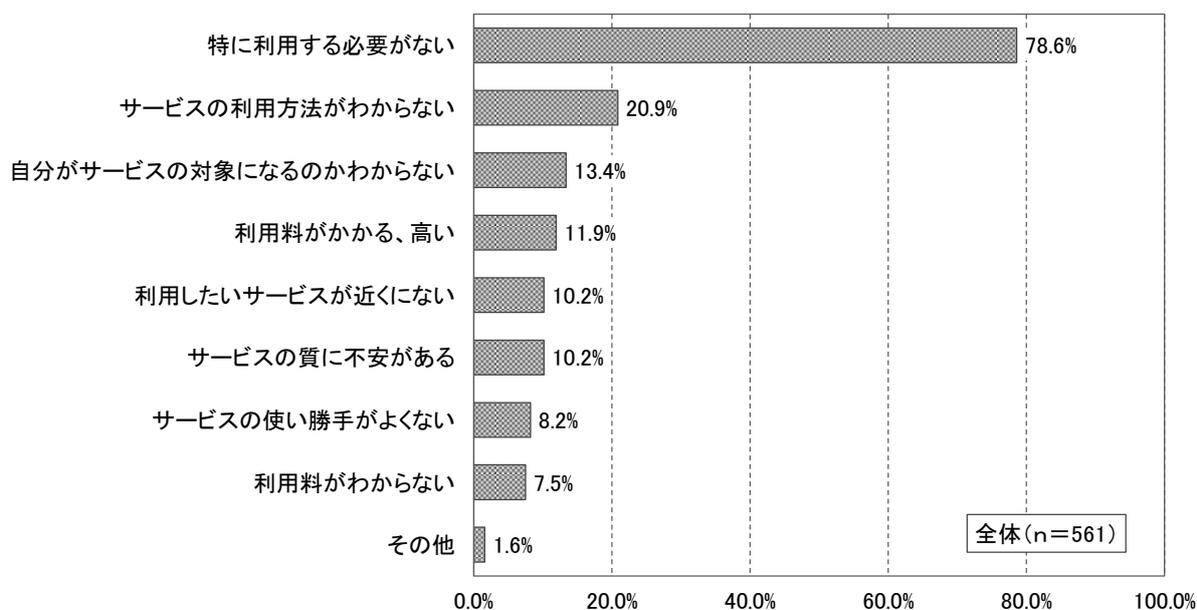


	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
幼稚園の預かり保育	38	1 2.6%	2 5.3%	2 5.3%	0 0.0%	8 21.1%	2 5.3%	19 50.0%	4 10.5%
一時預かり	36	6 16.7%	3 8.3%	5 13.9%	1 2.8%	3 8.3%	2 5.6%	13 36.1%	3 8.3%
ファミリー・サポート・センター	3	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%
ベビーシッター	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%
トワイライトステイ	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
その他	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%

◆ 問 23 で、「7. 利用していない」に○をつけた方

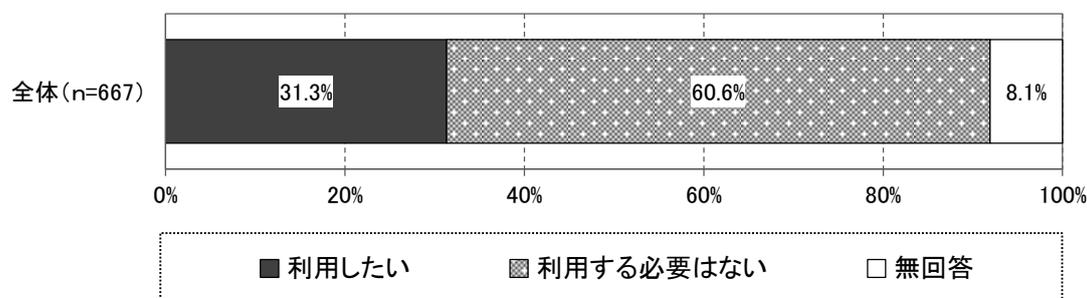
問 23-1 現在利用していない理由【MA】

「特に利用する必要がない」が78.6%と最も高く、次いで、「サービスの内容や利用方法がわからない」(20.9%)、「自分がサービスの対象になるのかわからない」(13.4%)の順となっています。



問 24 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、保育所(園)などで実施している「一時預かり」を利用したいか

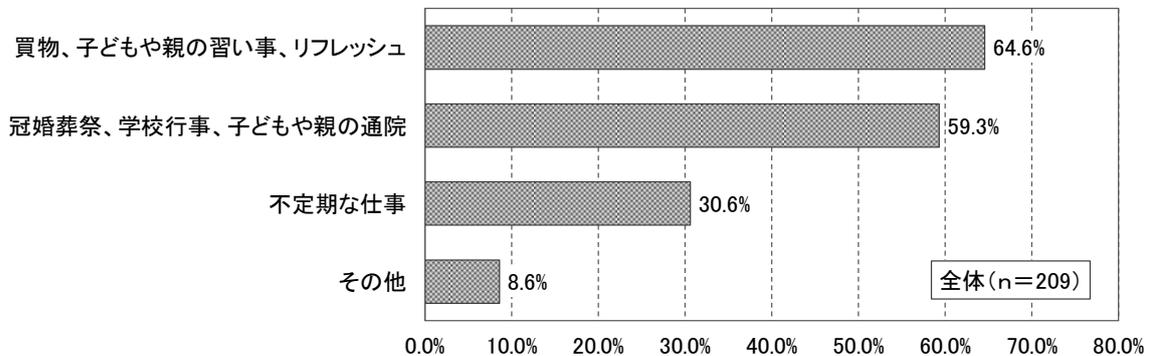
「利用したい」が31.3%、「利用する必要はない」が60.6%となっています。



◆ 問 24 で、「1.利用したい」に○をつけた方

問 24 利用したい理由とその日数（内訳）【MA】

「買物、子どもや親の習い事、リフレッシュ」が64.6%と最も高く、次いで、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院」（59.3%）、「不定期な仕事」（30.6%）の順となっています。

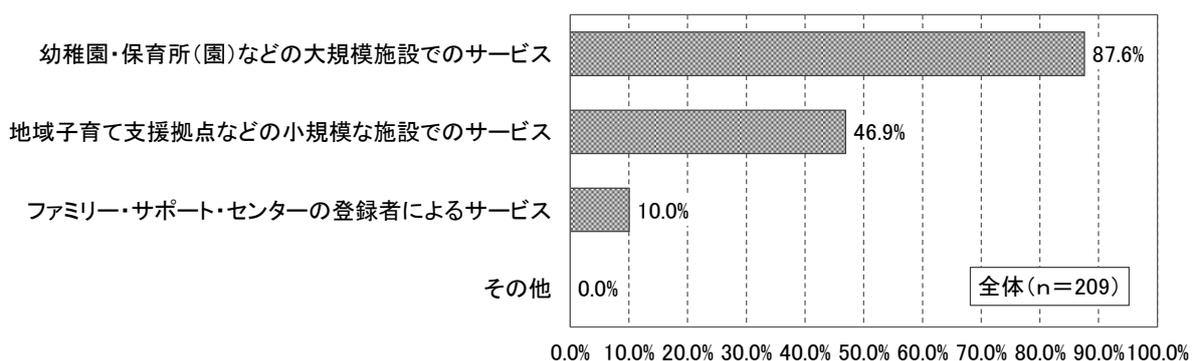


	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
買物、子どもや親の習い事、リフレッシュ	135	4 3.0%	7 5.2%	12 8.9%	2 1.5%	16 11.9%	12 8.9%	71 52.6%	11 8.1%
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院	124	5 4.0%	16 12.9%	11 8.9%	7 5.6%	16 12.9%	14 11.3%	39 31.5%	16 12.9%
不定期な仕事	64	3 4.7%	2 3.1%	5 7.8%	1 1.6%	6 9.4%	2 3.1%	32 50.0%	13 20.3%
その他	18	1 5.6%	4 22.2%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%	1 5.6%	3 16.7%	7 38.9%

◆ 問 24 で、「1.利用したい」に○をつけた方

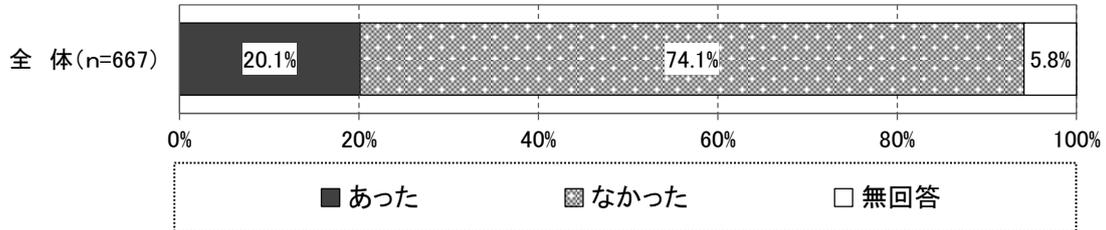
問 24-1 問 24 の目的で預ける場合、どのようなサービスが望ましいか【MA】

「幼稚園・保育所（園）などの大規模施設でのサービス」が87.6%と最も高く、次いで、「地域子育て支援拠点などの小規模な施設でのサービス」（46.9%）、「ファミリー・サポート・センターの登録者によるサービス」（10.0%）の順となっています。



問 25 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気など保護者の用事により、子どもを泊まりがけでみてもらったことがあるか

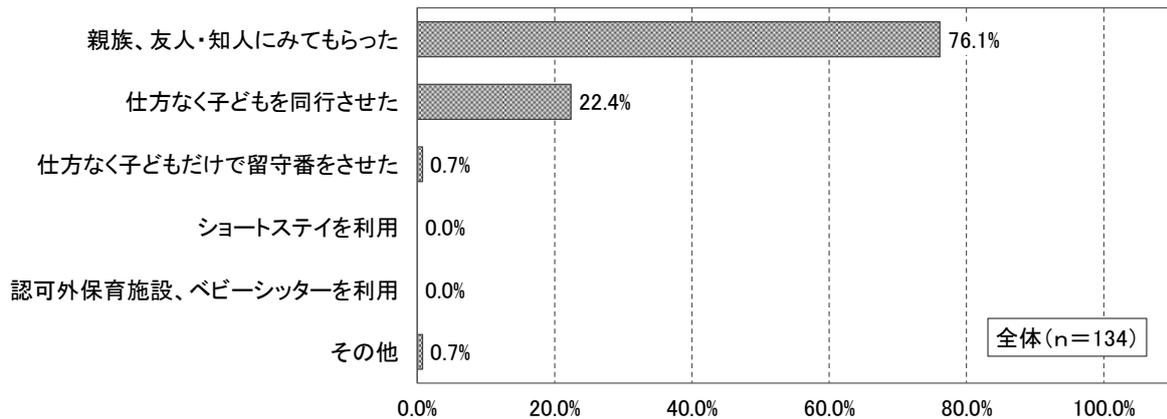
「あった」が20.1%、「なかった」が74.1%となっています。



◆ 問 25 で、「1. あった」に○をつけた方

問 25 この1年間の対処方法とその泊数（内訳）

「親族、友人・知人にみてもらった」が76.1%と最も高く、次いで、「仕方なく子どもを同行させた」（22.4%）、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」（0.7%）の順となっています。



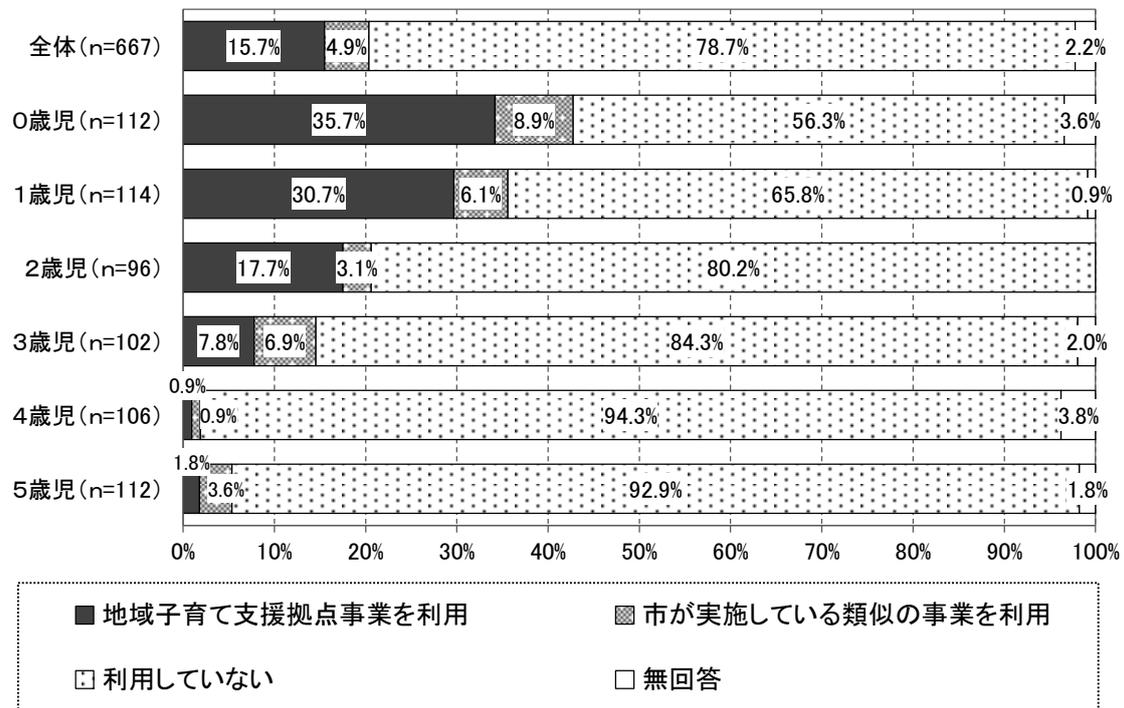
	全体 (n=)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6~9 泊	10泊以 上	無回答
親族、友人・知人にみてもらった	102	37 36.3%	18 17.6%	15 14.7%	3 2.9%	8 7.8%	8 7.8%	8 7.8%	5 4.9%
仕方なく子どもを同行させた	30	9 30.0%	5 16.7%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%	2 6.7%	10 33.3%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ショートステイを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
認可外保育施設、ベビーシッターを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

9. 地域の子育て支援サービスの利用状況について

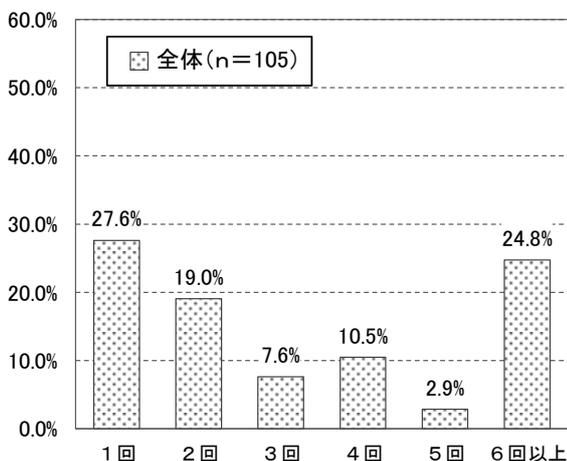
問 26 現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況

全体では、「利用していない」が78.7%と最も高く、次いで、「地域子育て支援拠点事業を利用」（15.7%）、「市が実施している類似の事業を利用」（4.9%）となっています。

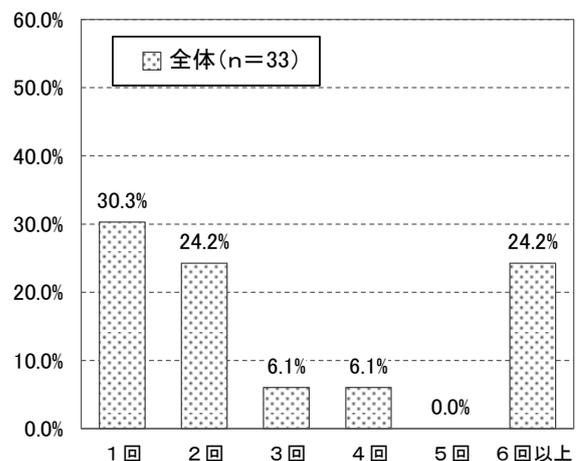
年齢で見ると、子どもの年齢が低いほど利用の割合は高くなっており、4歳児以上では利用の割合はわずかになっています。



地域子育て支援拠点事業（1か月当たりの利用回数）

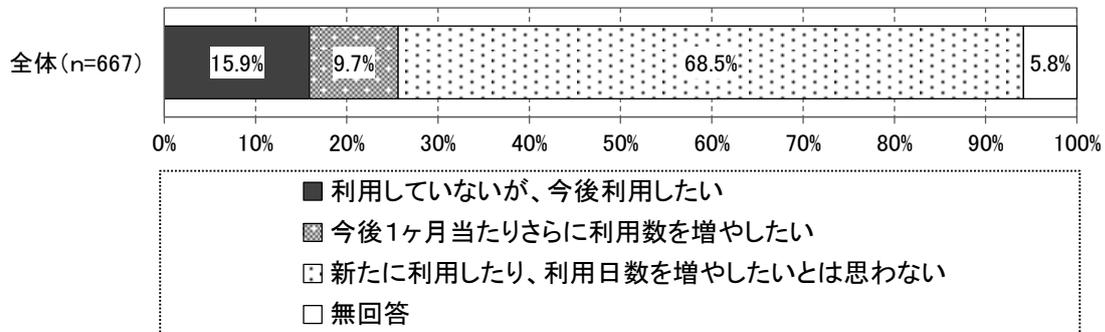


市が実施の類似の事業（1か月当たりの利用回数）

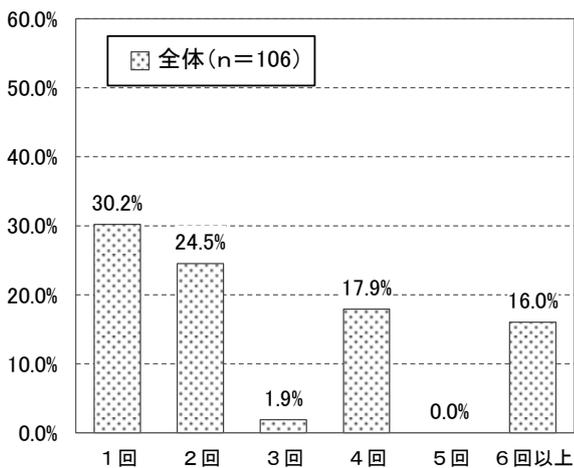


問 27 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

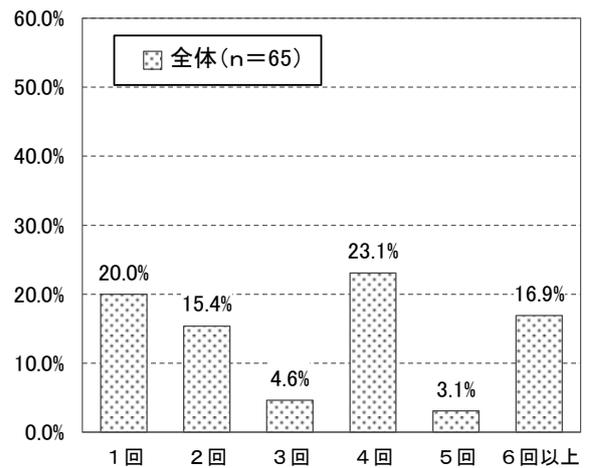
全体では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が68.5%と最も高く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」(15.9%)、「今後1か月当たりさらに利用数を増やしたい」(9.7%) となっています。



利用していないが、今後利用 (1か月当たりの利用回数)

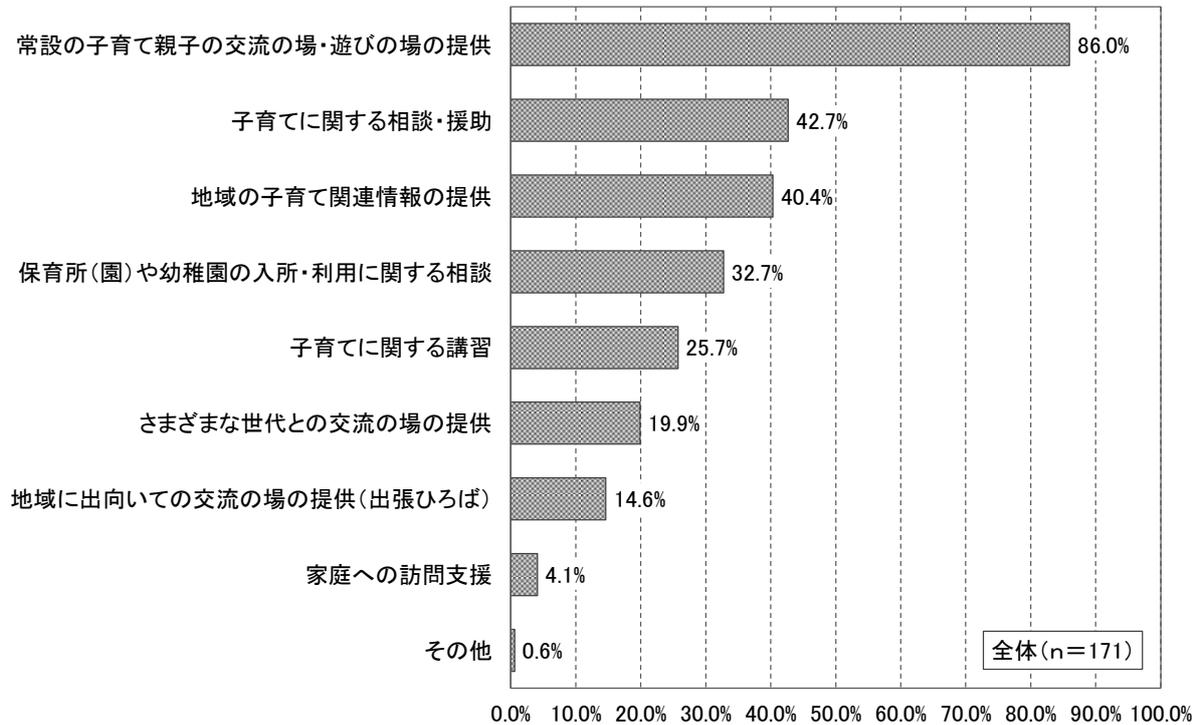


今後、利用日数を増やしたい (1か月当たりの利用回数)



◆ 問 27 で、「1.」または「2.」（今後利用したい、利用日数を増やしたい）に○をつけた方
問 27-1 地域子育て支援拠点事業で、どのようなサービスを利用したいか
【MA】

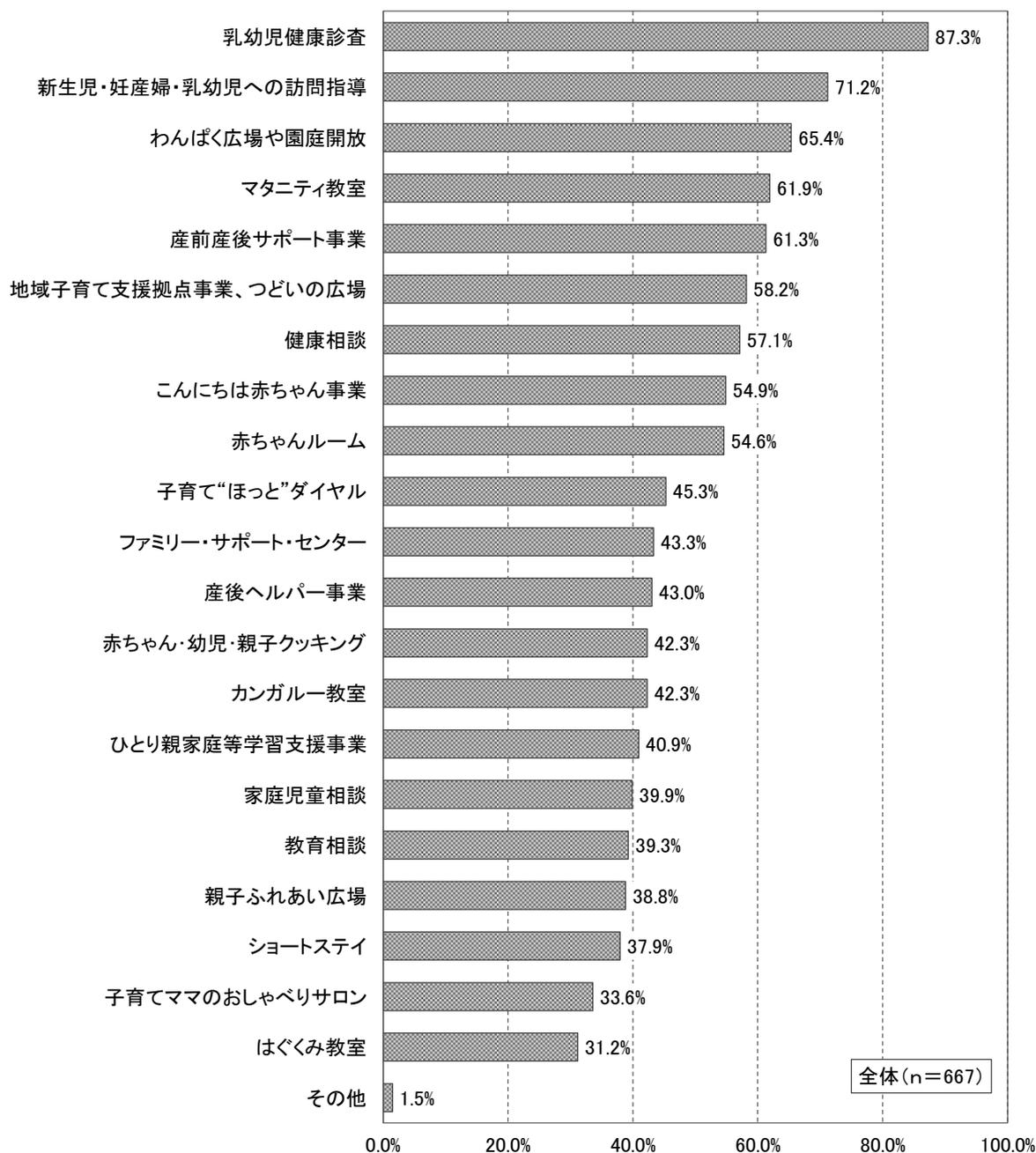
「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」が86.0%と最も高く、次いで、「子育てに関する相談・援助」（42.7%）、「地域の子育て関連情報の提供」（40.4%）の順となっています。



10. 藤井寺市の子育て支援サービスについて

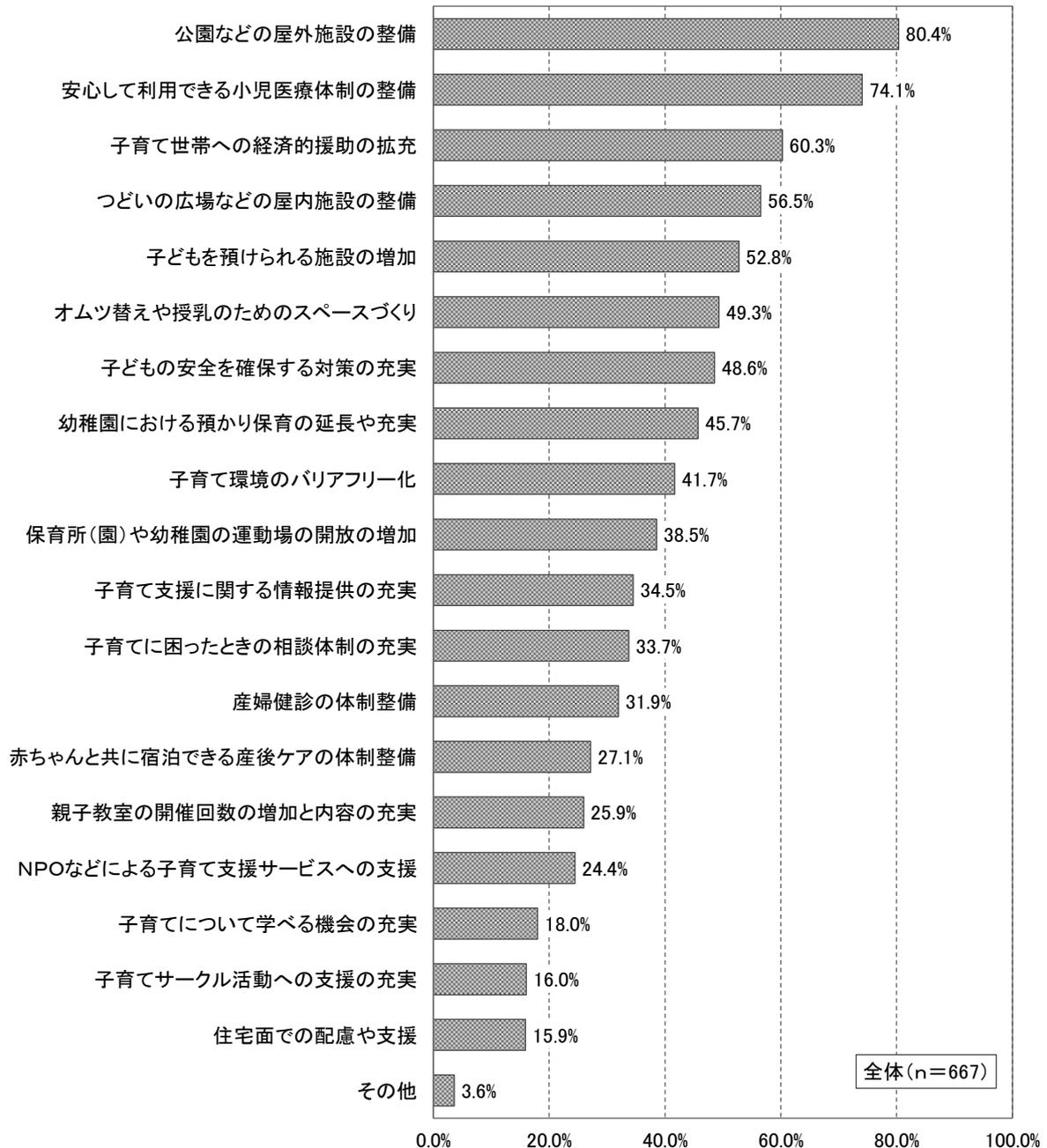
問 28 子育て支援に必要または効果的と思われる事業や取組【MA】

「乳幼児健康診査」が 87.3%と最も高く、次いで、「新生児・妊産婦・乳幼児への訪問指導」(71.2%)、「わんぱく広場や園庭開放」(65.4%)の順となっています。



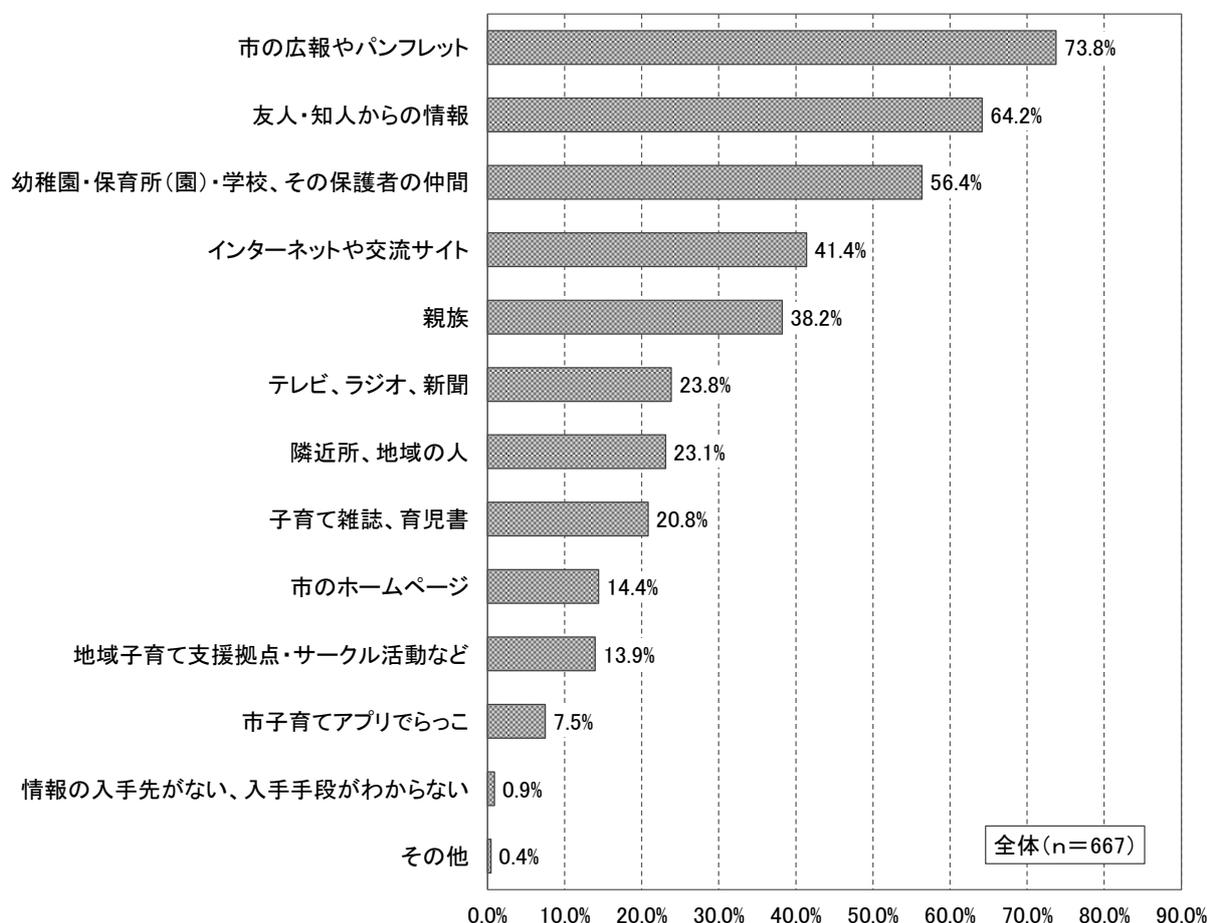
問 29 市役所などにどのような子育て支援サービスを充実してほしいか【MA】

「公園などの屋外施設の整備」が80.4%と最も高く、次いで、「安心して利用できる小児医療体制の整備」（74.1%）、「子育て世帯への経済的援助の拡充」（60.3%）の順となっています。



問 30 子育てに必要な情報をどのようなところから入手しているか【MA】

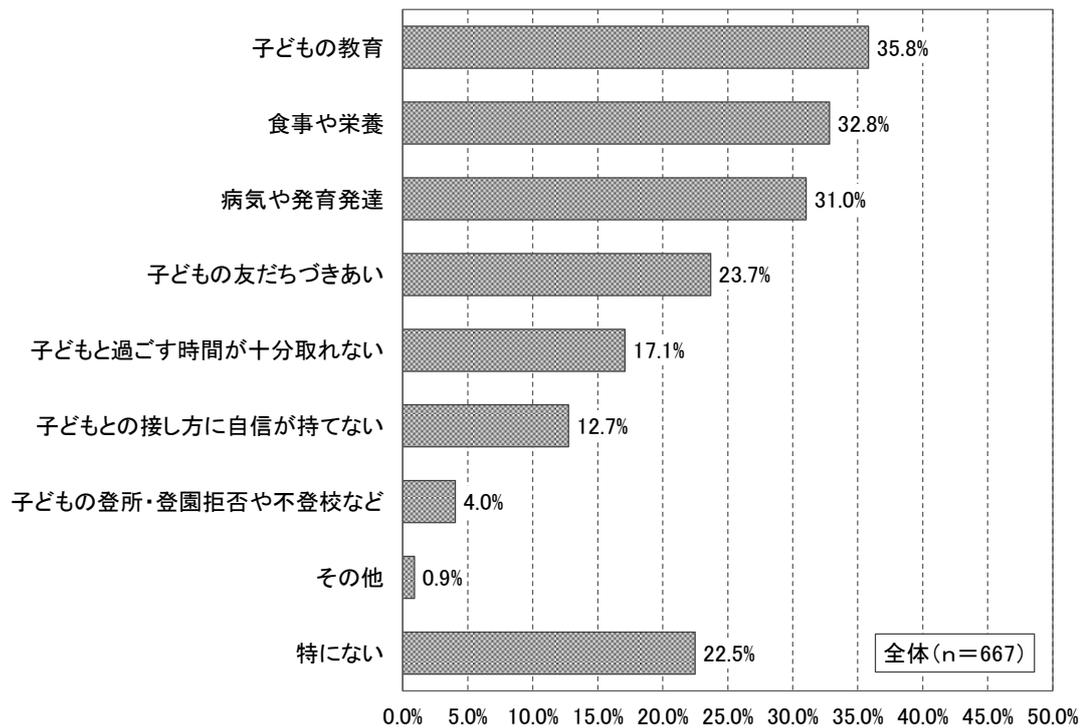
「市の広報やパンフレット」が73.8%と最も高く、次いで、「友人・知人からの情報」(64.2%)、「幼稚園・保育所(園)・学校、その保護者の仲間」(56.4%)の順となっています。



11. 子育てに対する意識について

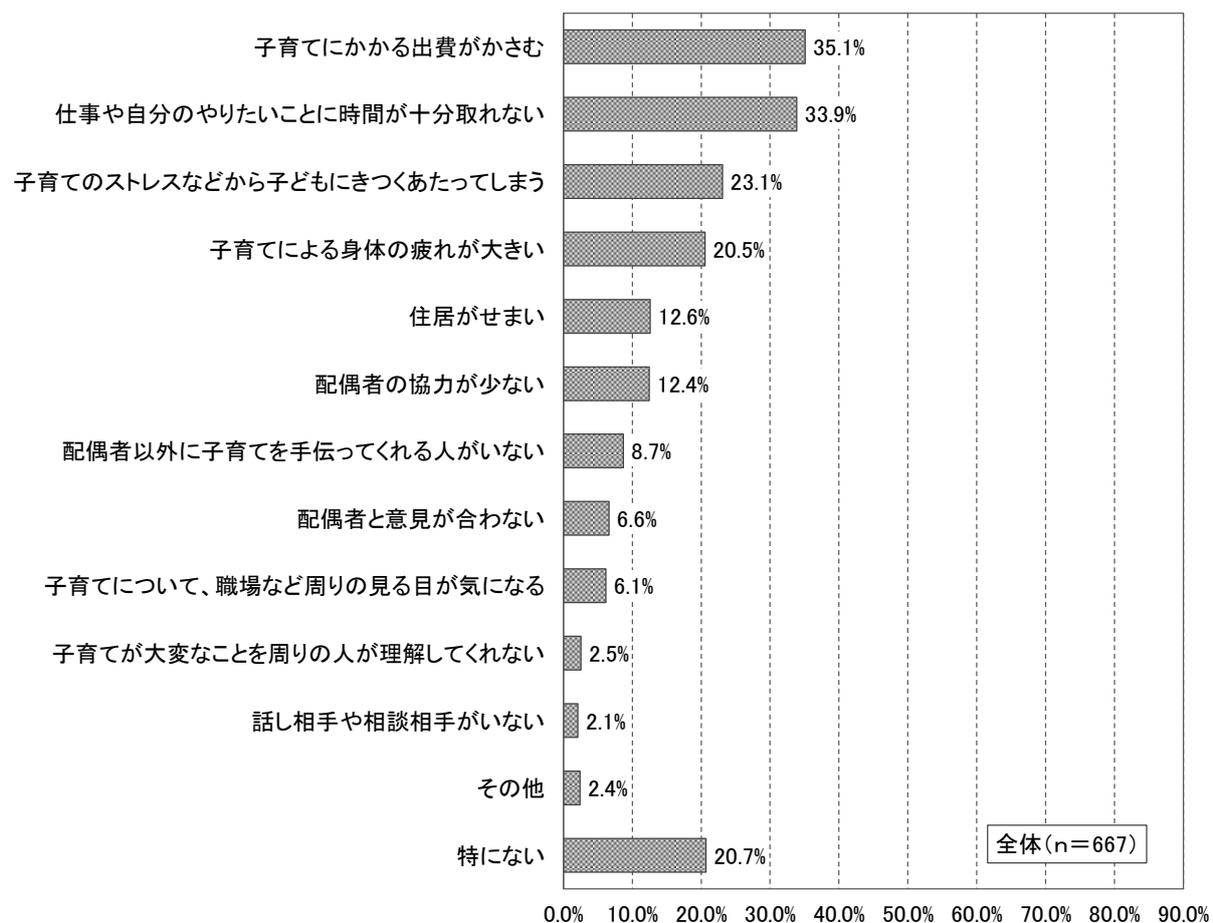
問 31 子育てについて、日常悩んでいることや気になることは何か (1) 子どもに関すること【MA】

「子どもの教育」が35.8%と最も高く、次いで、「食事や栄養」（32.8%）、「病気や発育発達」（31.0%）の順となっています。



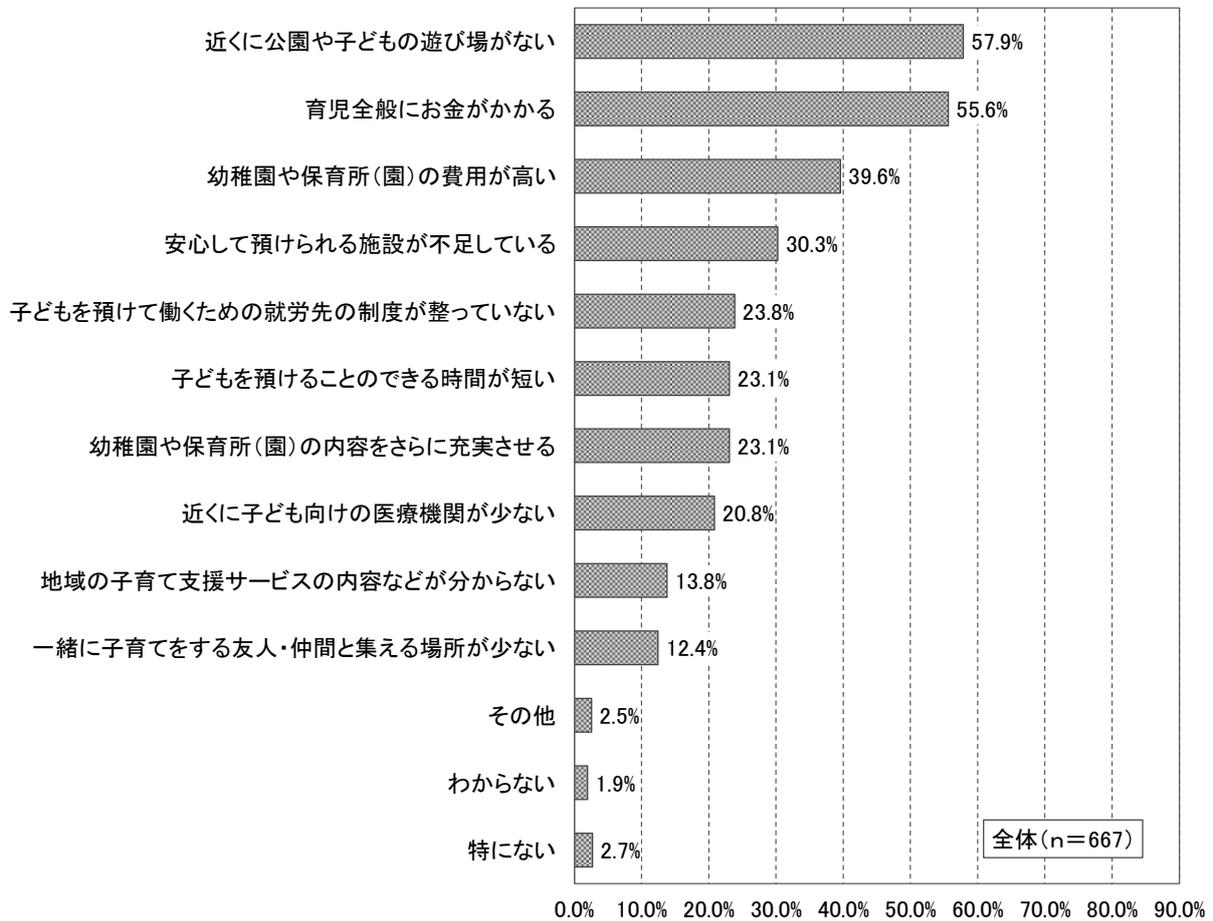
問 31 子育てについて、日常悩んでいることや気になることは何か
 (2) 回答者自身に関すること【MA】

「子育てにかかる出費がかさむ」が35.1%と最も高く、次いで、「仕事や自分のやりたいことに時間が十分取れない」(33.9%)、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまう」(23.1%)の順となっています。



問 32 子育ての問題点や課題【MA】

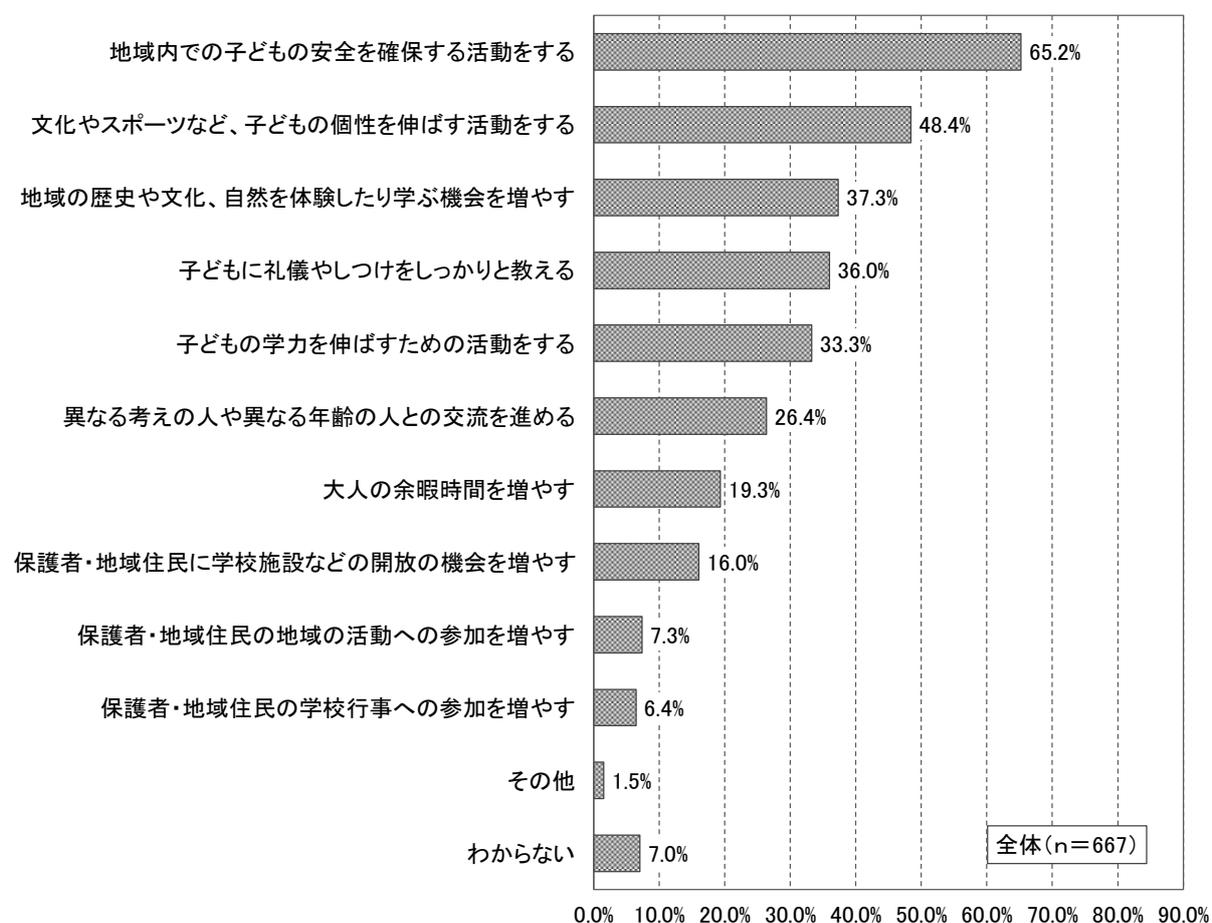
「近くに公園や子どもの遊び場がない」が57.9%と最も高く、次いで、「育児全般にお金がかかる」(55.6%)、「幼稚園や保育所(園)の費用が高い」(39.6%)の順となっています。



12. 地域での子育てについて

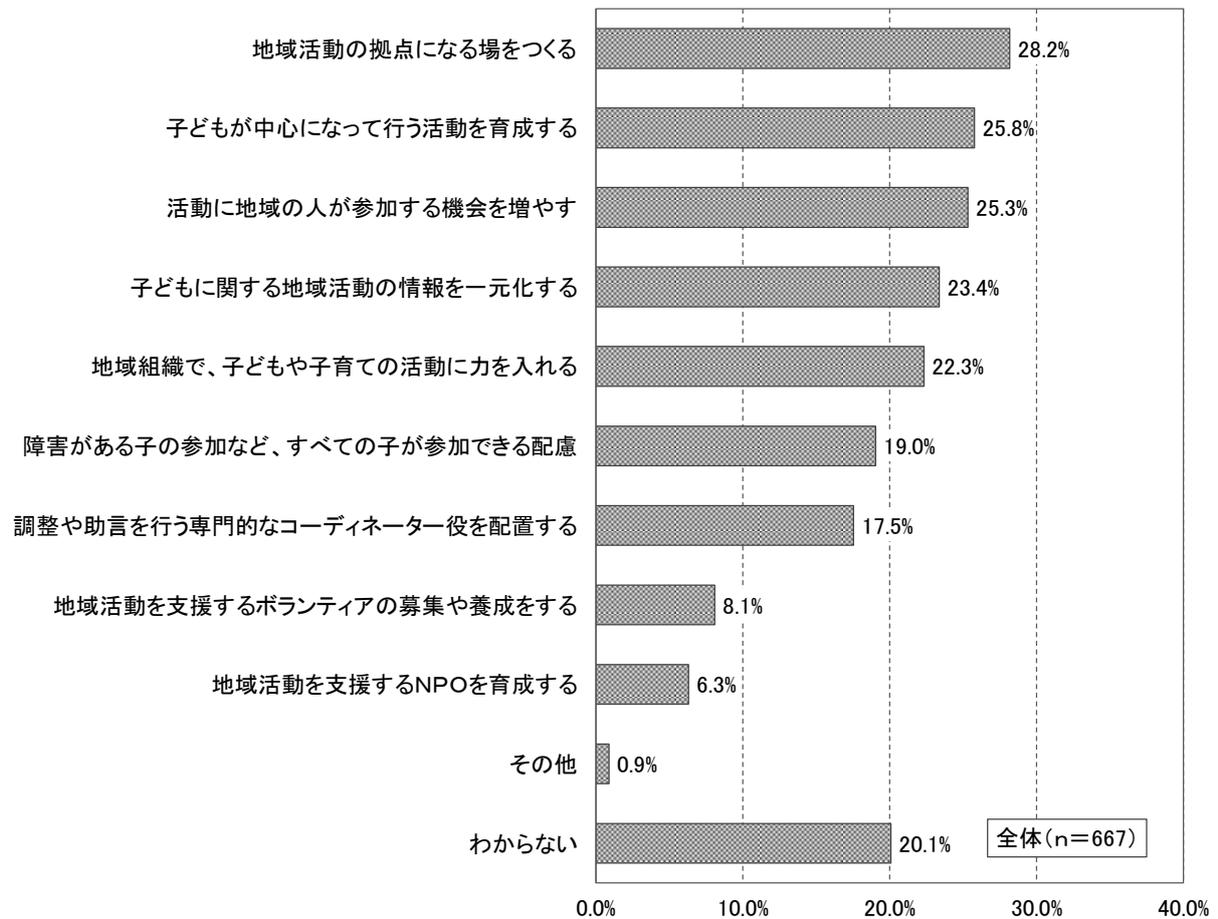
問 33 地域で子どもが健やかに育まれるためにどのようなことに力を入れるべきか【MA】

「地域内での子どもの安全を確保する活動をする」が65.2%と最も高く、次いで、「文化やスポーツなど、子どもの個性を伸ばす活動をする」(48.4%)、「地域の歴史や文化、自然を体験したり学ぶ機会を増やす」(37.3%)の順となっています。



問 34 地域の子どもたちと交流や活動をさらに活発にするためには、どのようなことが必要か【MA】

「地域活動の拠点となる場をつくる」が28.2%と最も高く、次いで、「子どもが中心になって行う活動を育成する」（25.8%）、「活動に地域の人に参加する機会を増やす」（25.3%）の順となっています。



「就学児童（小学生）」のニーズ調査について

Ⅲ 調査概要（就学児童（小学生））

1 調査目的

「第二期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画」（2020～2024 年度）を策定するに当たり、住民の皆様の子育て支援に関する事業の利用状況や今後の利用意向等を把握するため、本調査を実施しました。

2 調査対象・方法

（1）調査対象

- 調査対象：就学児童（小学生）が属する世帯

※平成31年1月1日現在の住民基本台帳をもとに、ご協力をお願いしました。

（2）配布数・有効回収数・回収率

- 配布数：1,400 世帯
- 有効回収数：689 世帯
- 回収率：49.2%

（3）調査方法

- 郵送による配布及び回収

（4）調査時期

平成31年1月17日～1月31日

（5）数値等の基本的な取り扱いについて

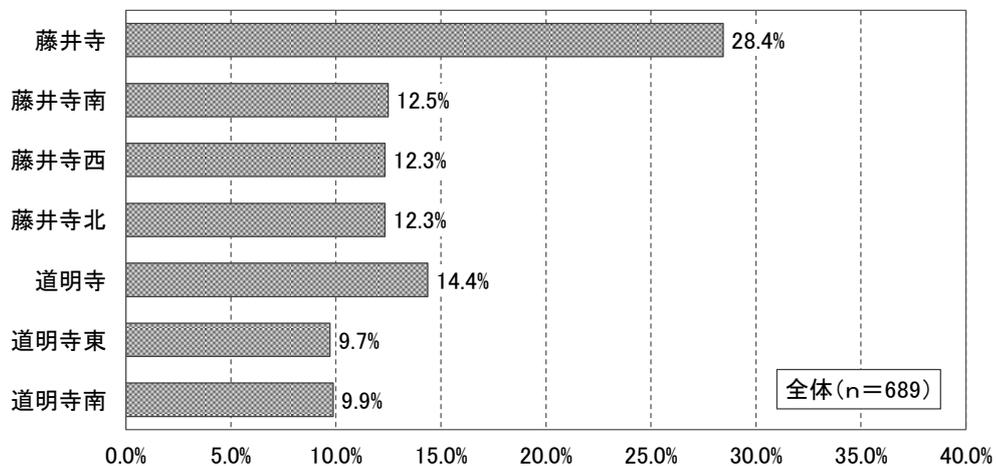
- 比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。（回答者総数または該当者数）
- 質問の終わりに【MA（Multiple Answer）】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であるため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。また、割合が0%であった箇所の数値は基本的に省略しています。
- 質問の選択肢は、基本的に「 」で表していますが、選択肢を2つ合わせて示す場合は“ ”で表してあります。
- 時間などの数量データは、「～以上～未満」で集計してグラフを作成しています。

IV 調査結果（就学児童(小学生)）

1. 家族構成や保護者の就労状況について

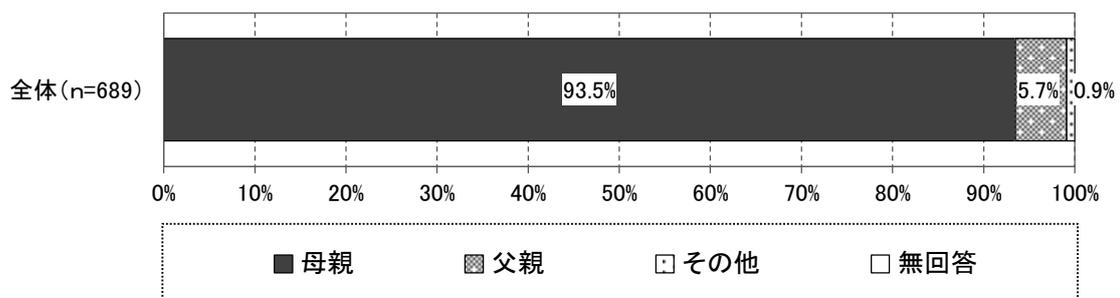
問1 居住地域の小学校区名

回答者世帯の地域について、「藤井寺小学校区」が28.4%と最も高く、次いで、「道明寺小学校区」（14.4%）、「藤井寺南小学校区」（12.5%）の順となっています。



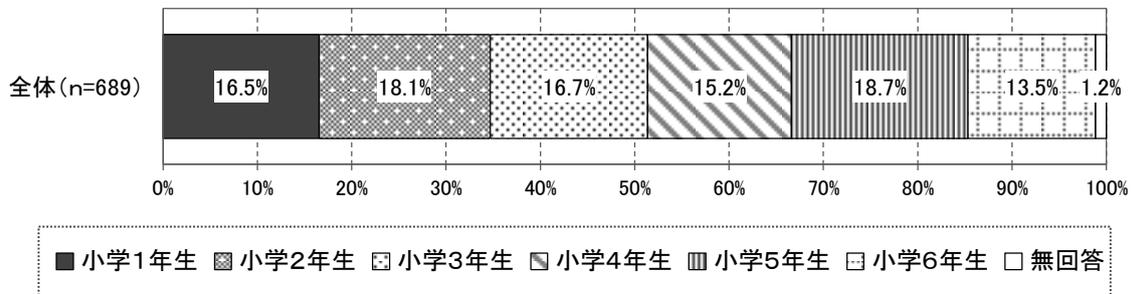
問2 子どもからみた回答者の続柄

回答者の続柄について、「母親」が93.5%、「父親」が5.7%となっています。



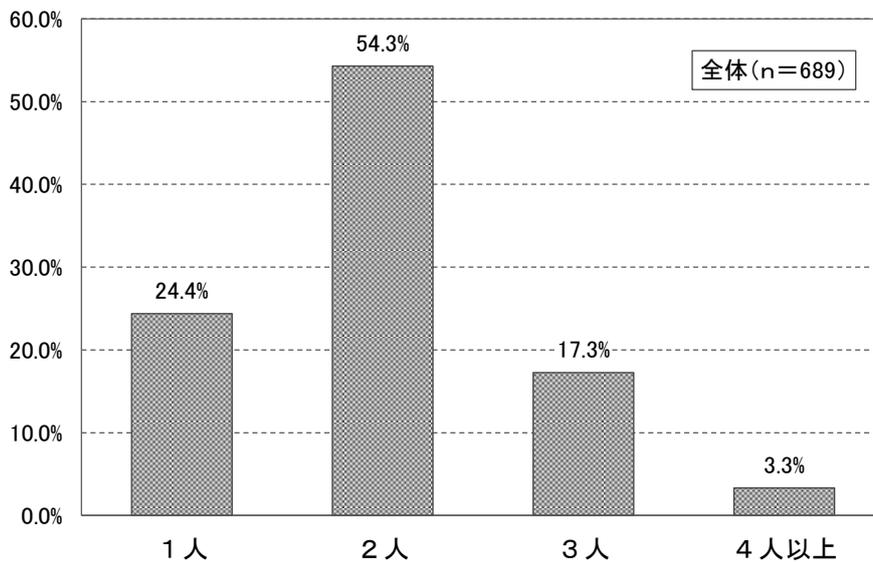
問3 子どもの学年

調査対象の子どもの学年について、「小学5年生」が18.7%と最も高く、次いで、「小学2年生」(18.1%)、「小学3年生」(16.7%)の順となっています。



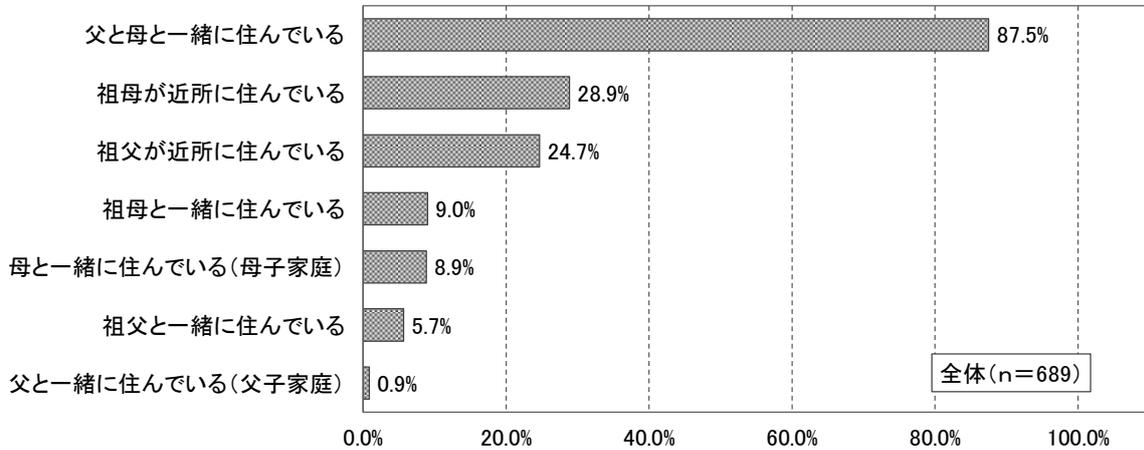
問4 世帯の子どもの人数

回答者世帯の子どもの人数について、「2人」が54.3%と最も高く、次いで、「1人」(24.4%)、「3人」(17.3%)の順となっています。



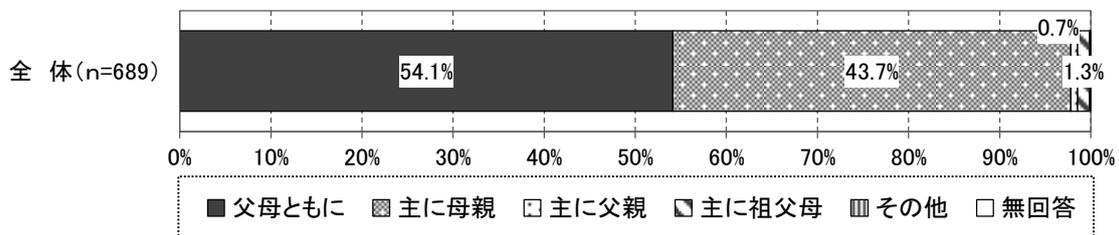
問5 子どもと一緒に住んでいる人、近所に祖父母が住んでいるか【MA】

「父と母と一緒に住んでいる」が87.5%と最も高く、次いで、「祖母が近所に住んでいる」(28.9%)、「祖父が近所に住んでいる」(24.7%)の順となっています。



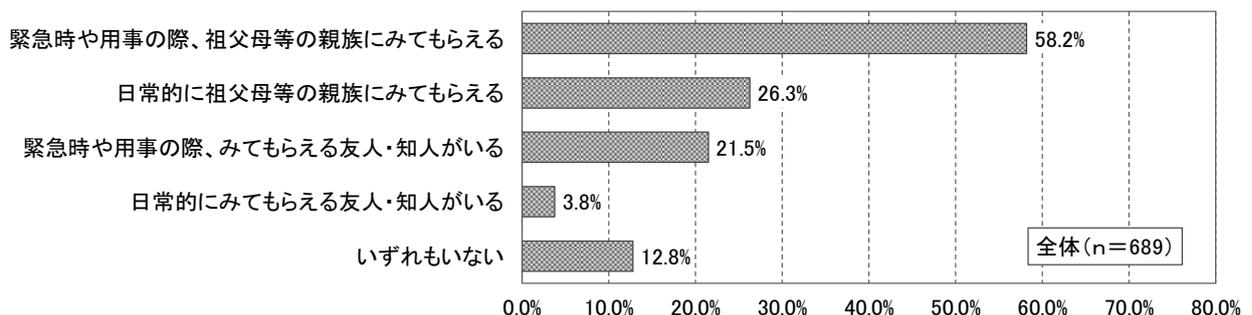
問6 子どもの子育てや教育を主に行っている方

「父母ともに」が54.1%と最も高く、次いで、「主に母親」(43.7%)、「主に祖父母」(1.3%)の順となっています。



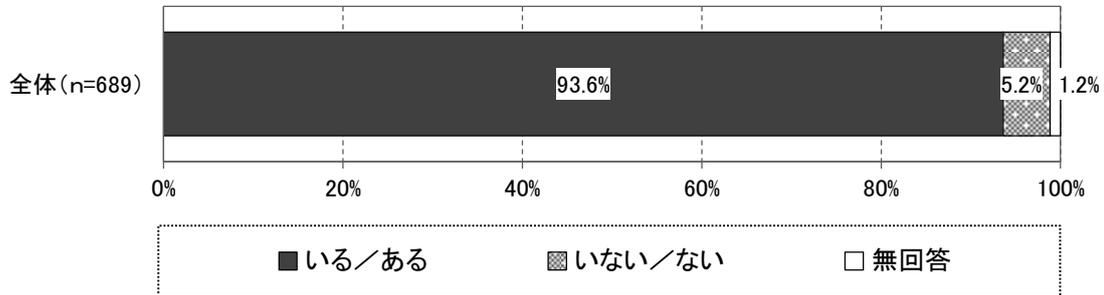
問7 日頃、子どもの面倒をみてもらえる人【MA】

「緊急時や用事の際、祖父母等の親族にみてもらえる」が58.2%と最も高く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(26.3%)、「緊急時や用事の際、みてもらえる友人・知人がいる」(21.5%)の順となっています。



問8 子育てや教育について、気軽に相談できる人や相談できる場所はあるか

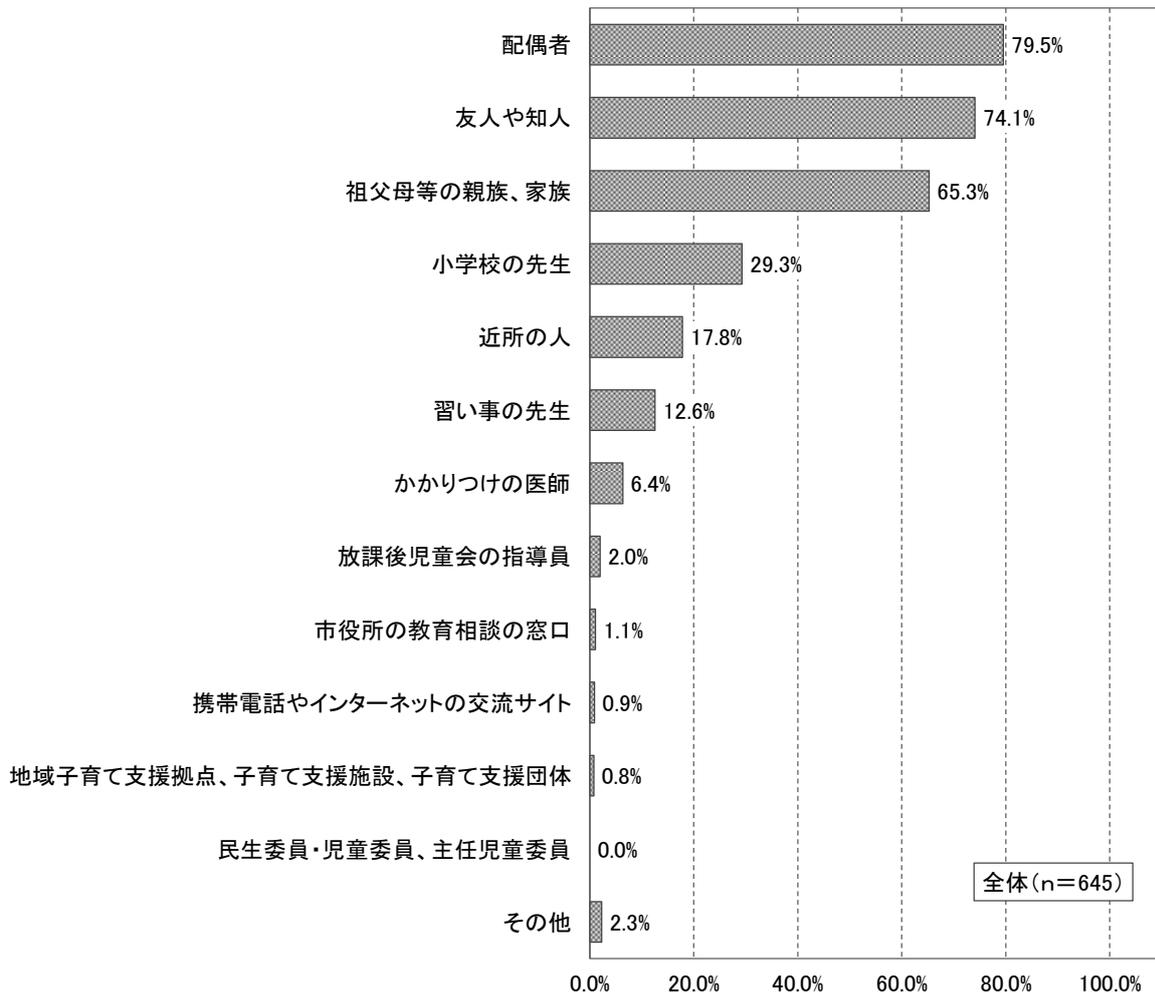
「いる／ある」が93.6%、「いない／ない」が5.2%となっています。



◆ 問8で「1. いる／ある」と回答した方

問8-1 気軽に相談できる先は、誰（どこ）か【MA】

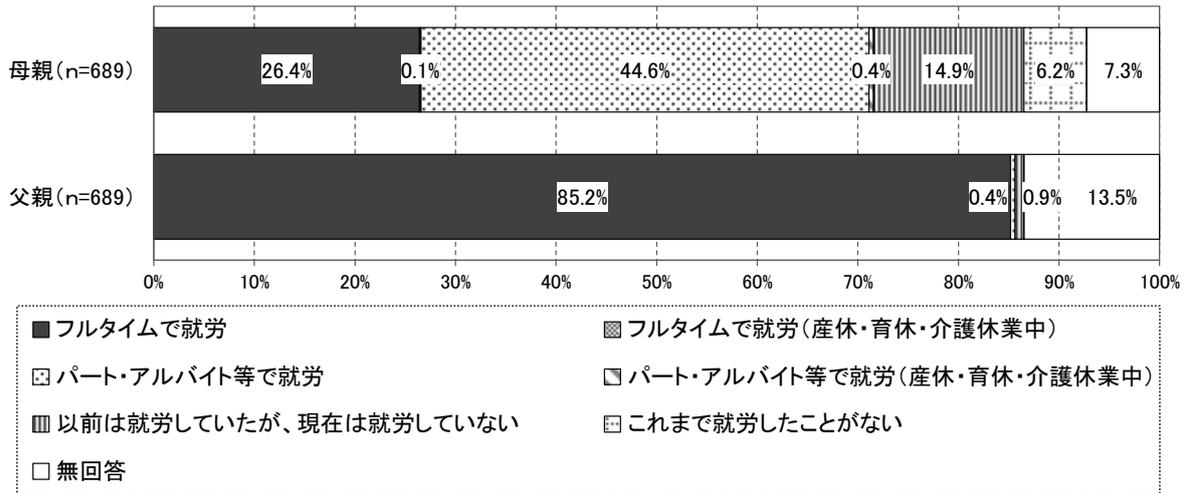
「配偶者」が79.5%と最も高く、次いで、「友人や知人」（74.1%）、「祖父母等の親族、家族」（65.3%）の順となっています。



問9及び問10 お子さんの母親・父親の現在の就労状況

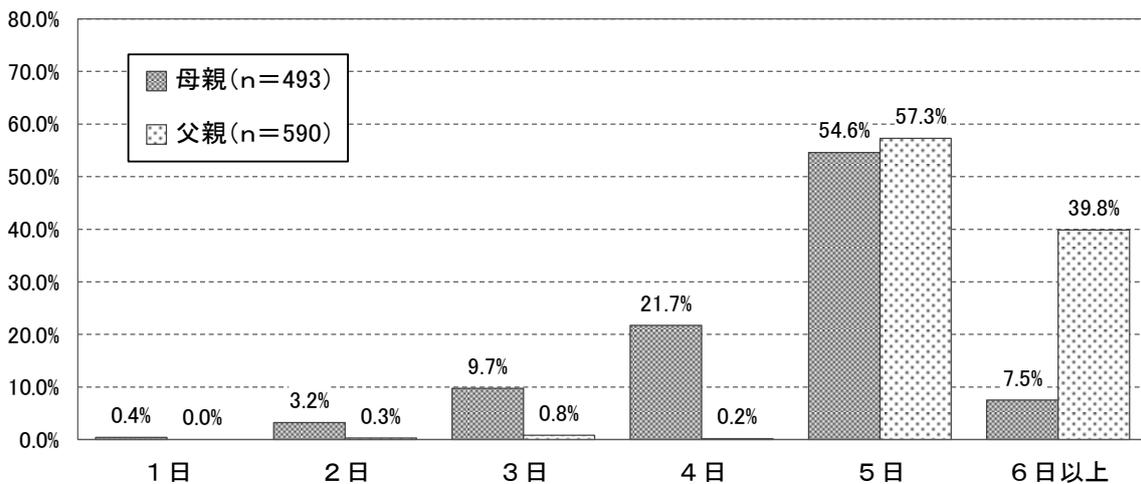
母親でみると、「パート・アルバイト等で就労」が44.6%と最も高く、次いで、「フルタイムで就労」(26.4%)、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(14.9%)の順となっています。

父親でみると、「フルタイムで就労」が85.2%と最も高く、次いで、「以前は就労していたが、現在は就労していない」(0.9%)、「パート・アルバイト等で就労」(0.4%)の順となっています。



問9-1及び問10-1 就労している方の1週当たりの就労日数

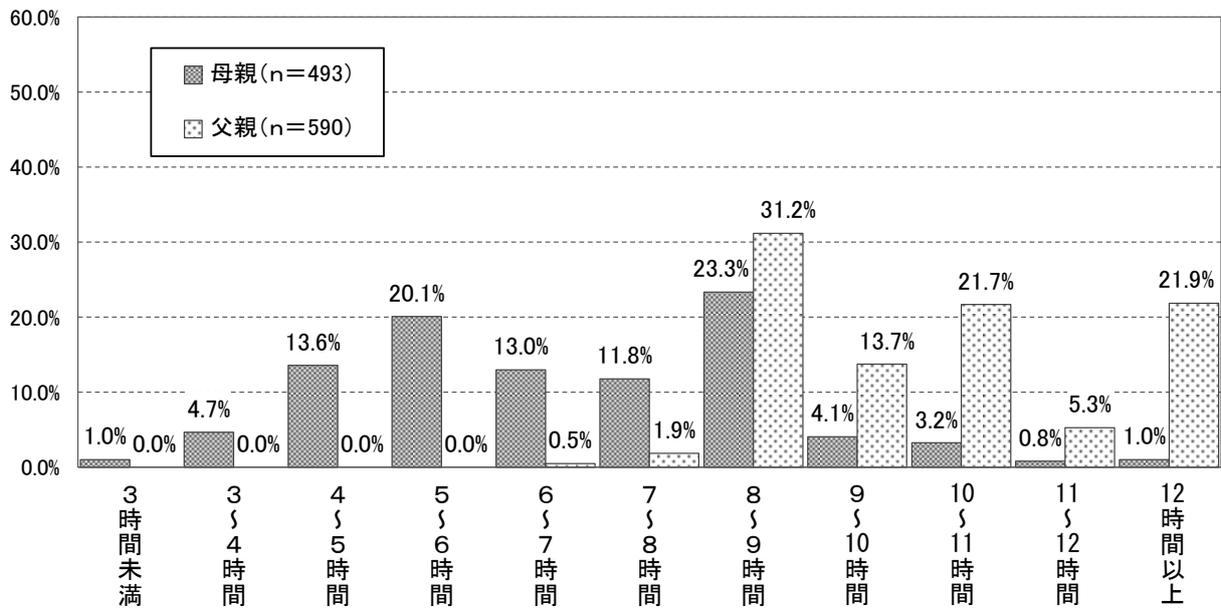
母親・父親ともに「5日」の割合が最も高くなっています。



問 9-1 及び問 10-1 就労している方の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）

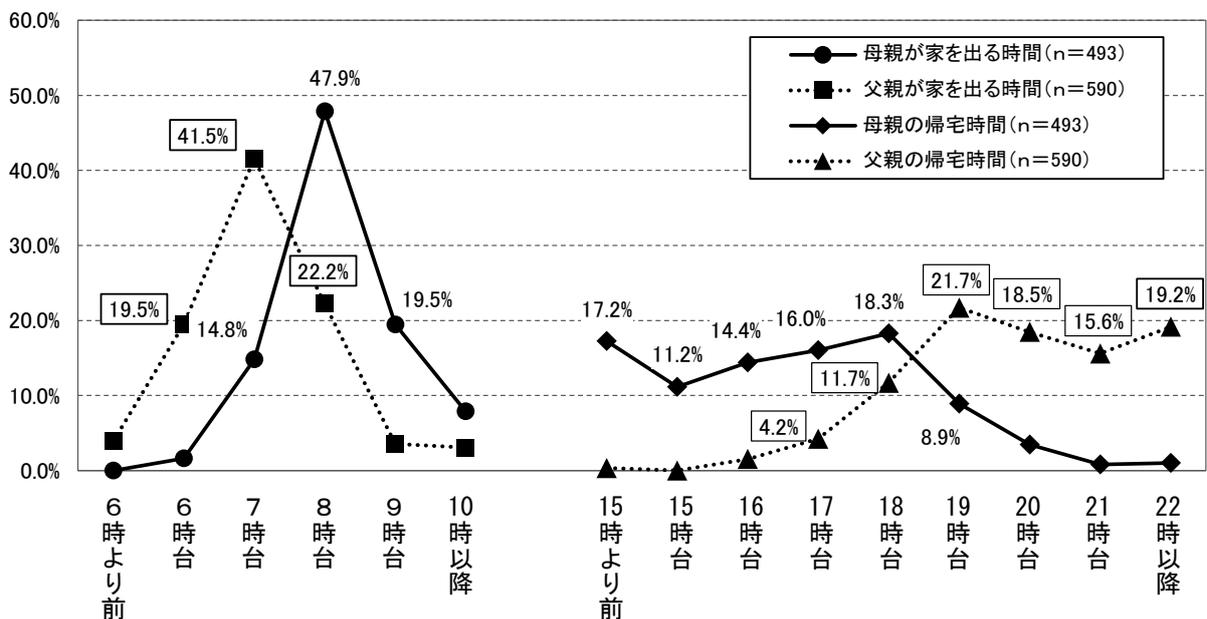
母親でみると、「8～9時間」が23.3%と最も高く、次いで、「5～6時間」（20.1%）、「4～5時間」（13.6%）の順となっています。

父親でみると、「8～9時間」が31.2%と最も高く、次いで、「12時間以上」（21.9%）、「10～11時間」（21.7%）の順となっています。



問 9-2 及び問 10-2 就労している方の家を出る時刻と帰宅時刻

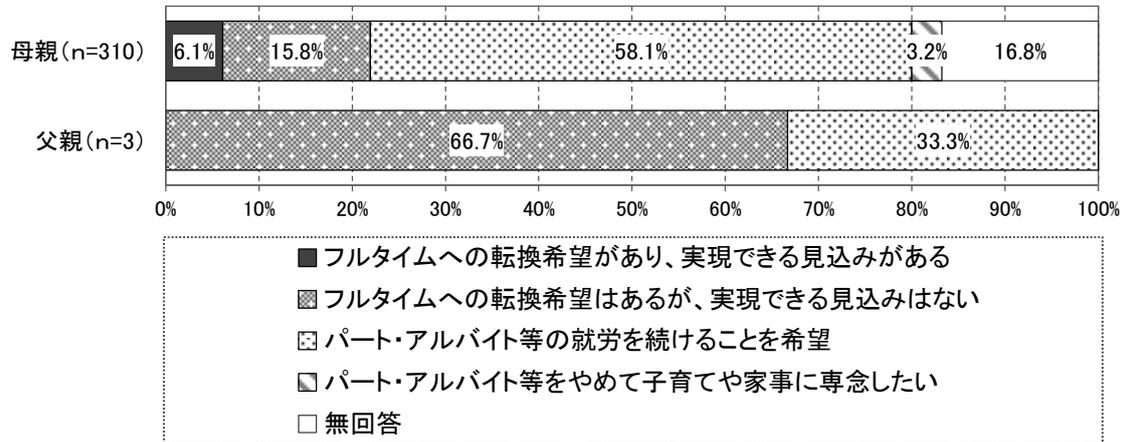
母親でみると、家を出る時刻は「8時台」、帰宅時刻は「18時台」が最も高く、父親では、家を出る時刻は「7時台」、帰宅時刻は「19時台」が最も高くなっています。



問 11 パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望

母親で見ると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が58.1%と最も高く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」(15.8%)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」(6.1%)の順となっています。

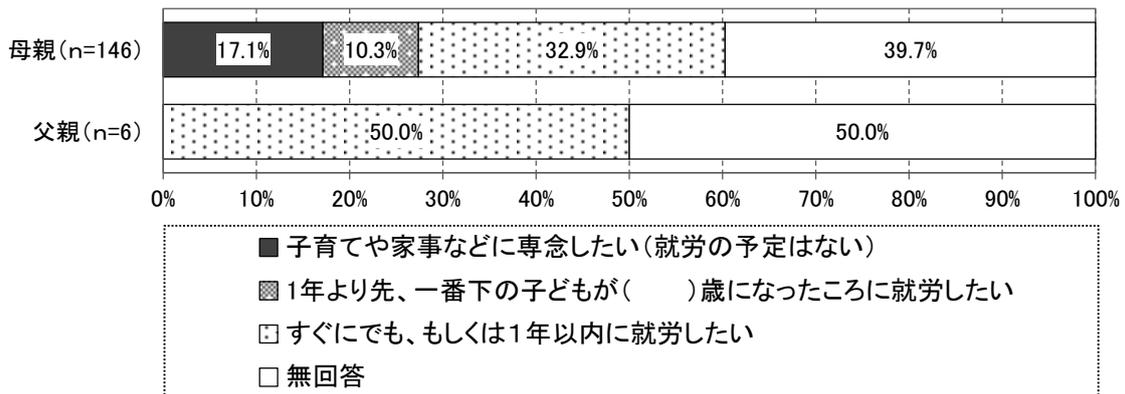
父親は該当者が少ないため、参考としておきます。



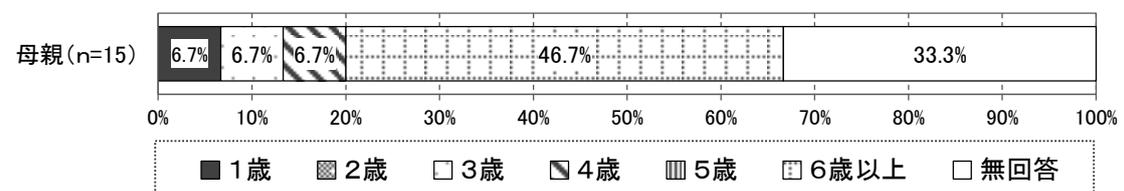
問 12 就労していない、または、就労したことがない方の就労希望

母親で見ると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が32.9%と最も高く、次いで、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」(17.1%)、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」(10.3%)となっています。

父親は該当者が少ないため、参考としておきます。



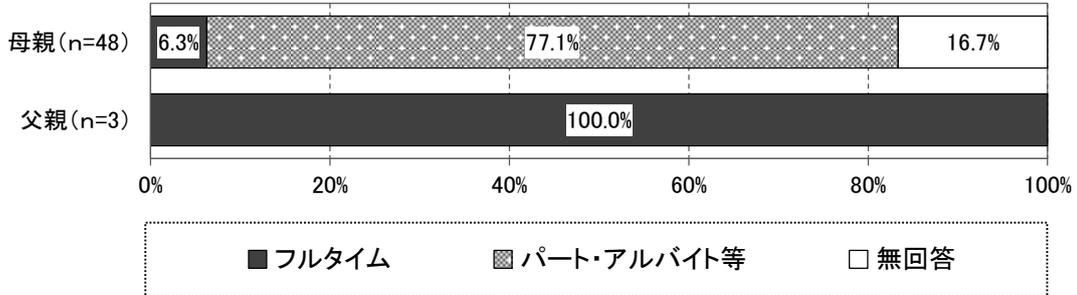
《一番下の子どもが何歳になったところに就労したいか》



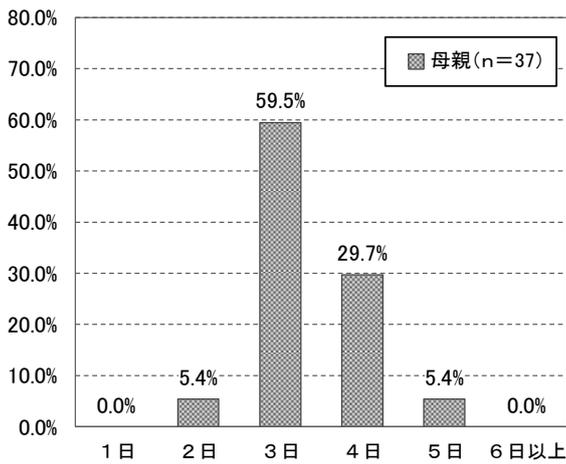
※父親は該当者がありませんでした。

問12 「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方の希望する就労形態

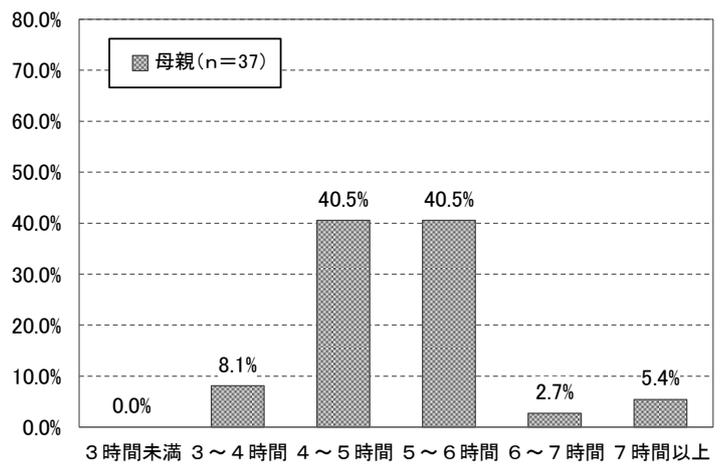
母親でみると、「フルタイム」が6.3%、「パート・アルバイト等」が77.1%となっています。父親は該当者が少ないため、参考としておきます。



《希望する就労形態（週当たり日数）》



《希望する就労形態（1日当たりの時間）》

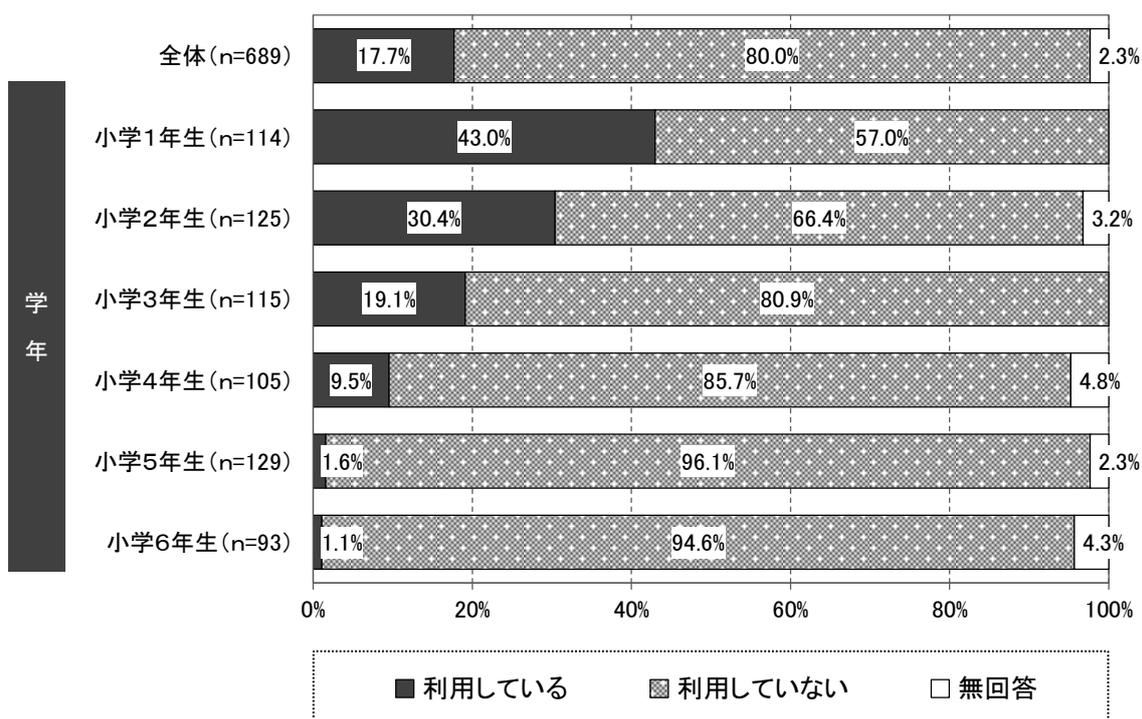


2. 放課後児童会の利用について

問 13 平日に、放課後児童会を利用しているか

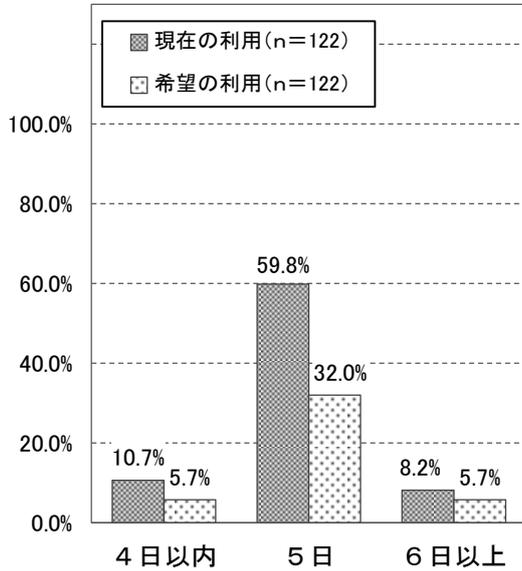
全体では、「利用している」が17.7%、「利用していない」が80.0%となっています。

学年で見ると、高学年ほど利用の割合は低くなっており、小学5年生以上ではほとんどの児童が利用していない状況となっています。

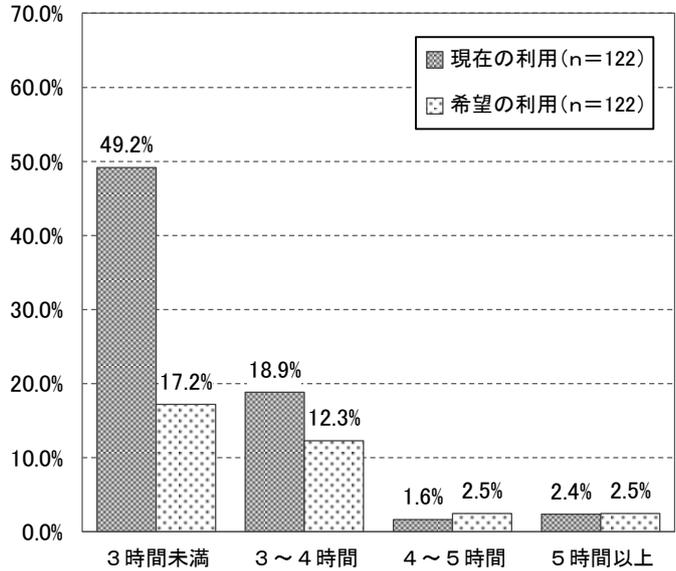


◆ 問13で「1.利用している」に○をつけた方
問14 放課後児童会の利用日数と利用時間

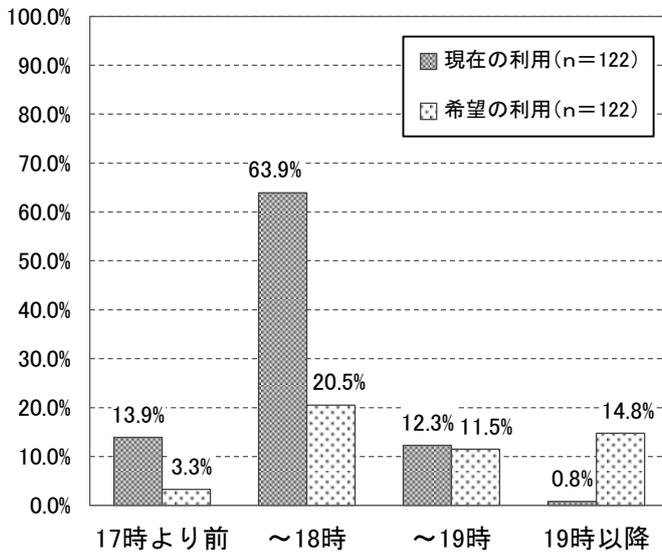
利用日数（週当たり）



利用時間（1日当たり）



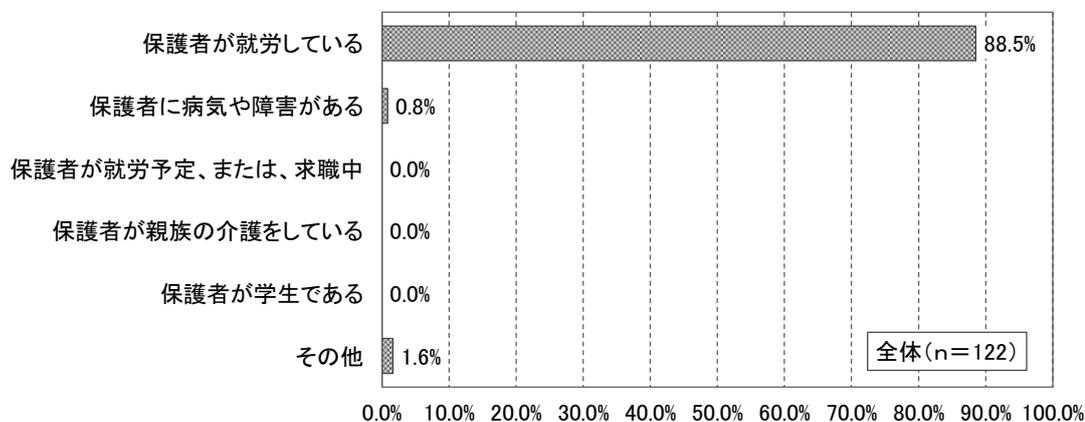
利用時間（何時まで）



◆ 問13で「1.利用している」に○をつけた方

問14-1 放課後児童会を利用している理由

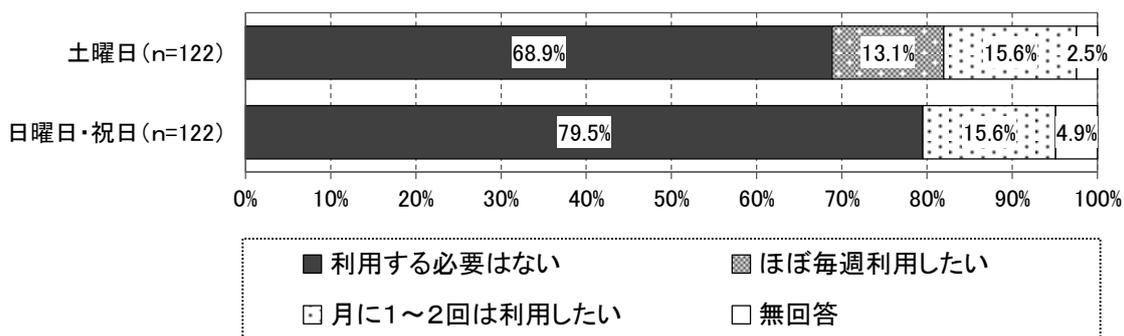
「保護者が就労している」という理由がほとんどとなっています。



◆ 問13で「1.利用している」に○をつけた方

問14-2 放課後児童会の土曜日、日曜日・祝日の利用意向

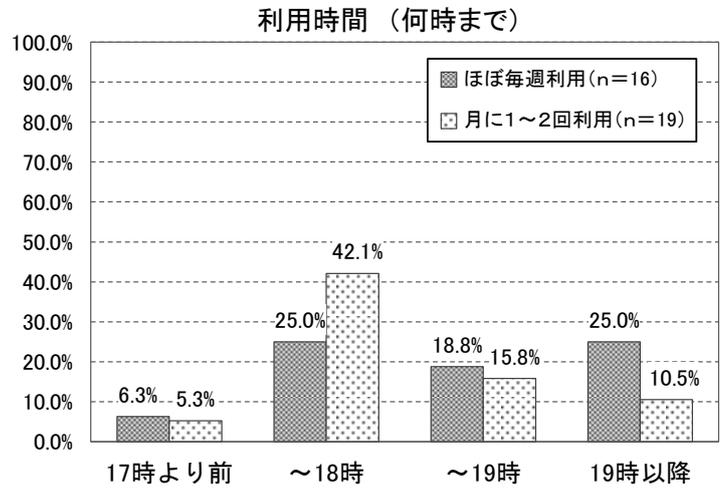
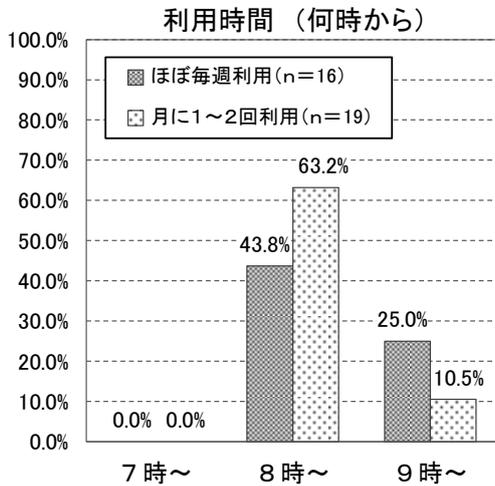
「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせた“利用したい”の割合は、土曜日で28.7%、日曜日・祝日では15.6%となっています。



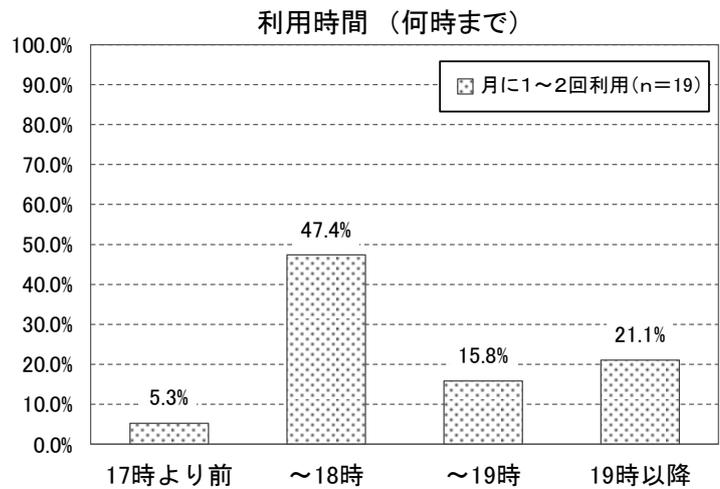
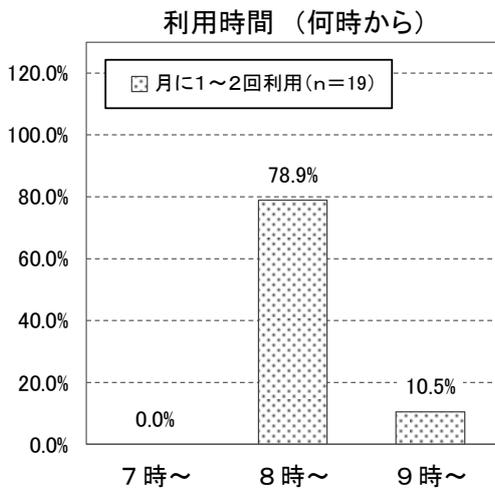
◆ 問13で「1.利用している」に○をつけた方

問14-2 放課後児童会の土曜日、日曜日・祝日の利用時間

《土曜日の利用時間》



《日曜日・祝日の利用時間》

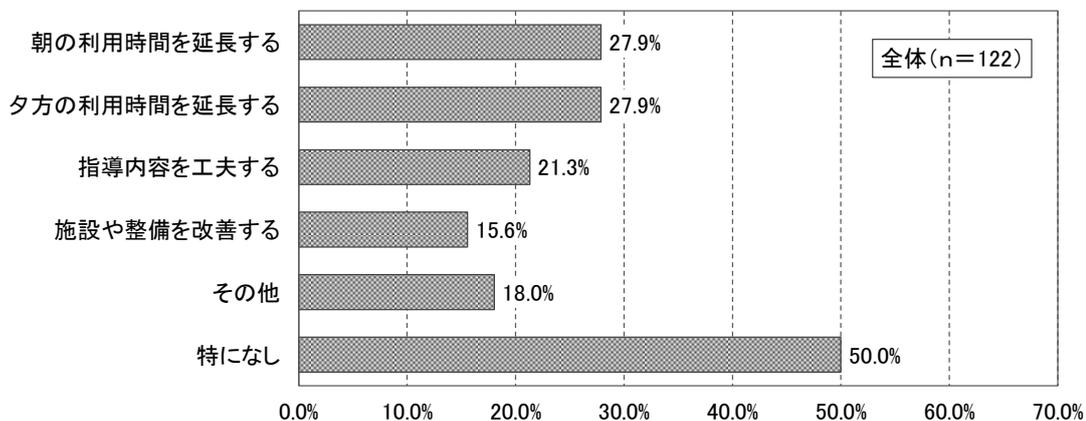


※「ほぼ毎週利用したい」の回答はありませんでした。

◆ 問13で「1.利用している」に○をつけた方

問14-3 放課後児童会にどのようなことを希望するか

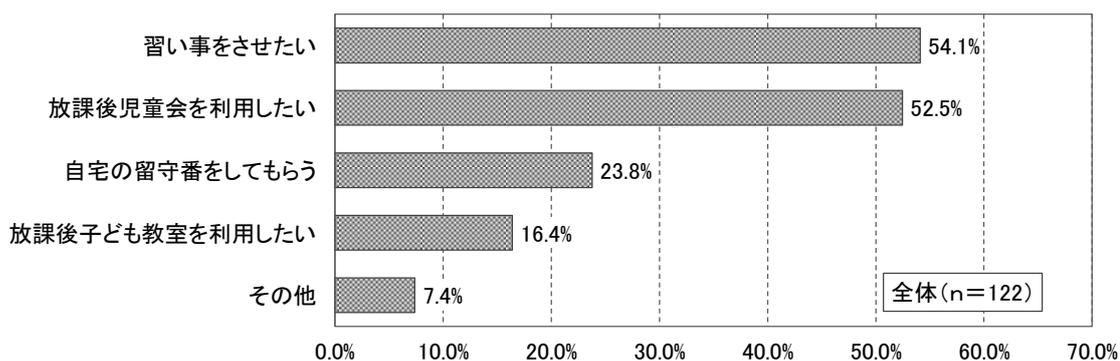
「朝の利用時間を延長する」と「夕方の利用時間を延長する」が27.9%と同率で最も高く、次いで、「指導内容を工夫する」(21.3%)の順となっています。



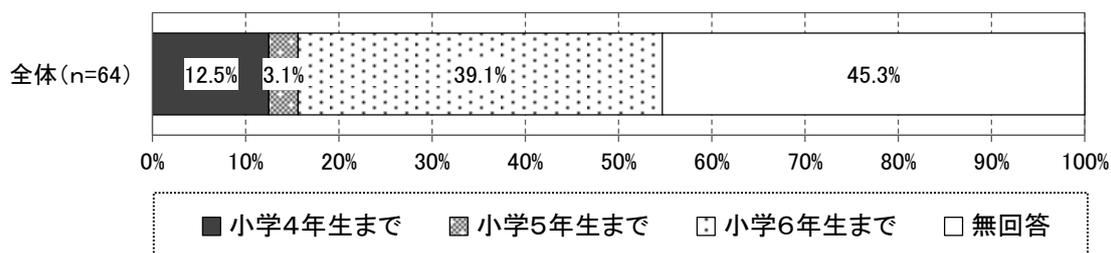
◆ 問13で「1.利用している」に○をつけた方

問14-4 小学4年生以降の放課後の過ごし方

「習い事をさせたい」が54.1%と最も高く、次いで、「放課後児童会を利用したい」(52.5%)、「自宅の留守番をしてもらおう」(23.8%)の順となっています。



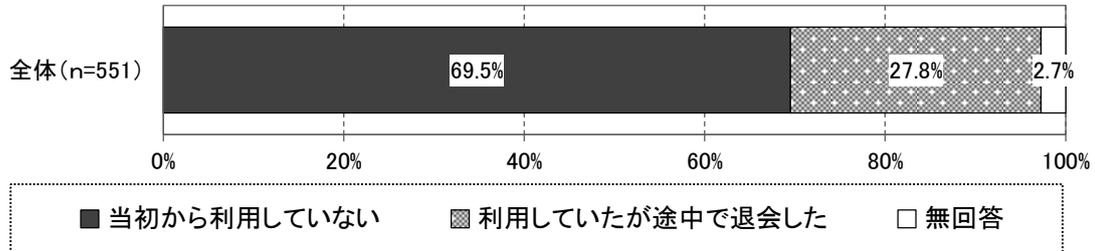
《何年生まで利用したいか》



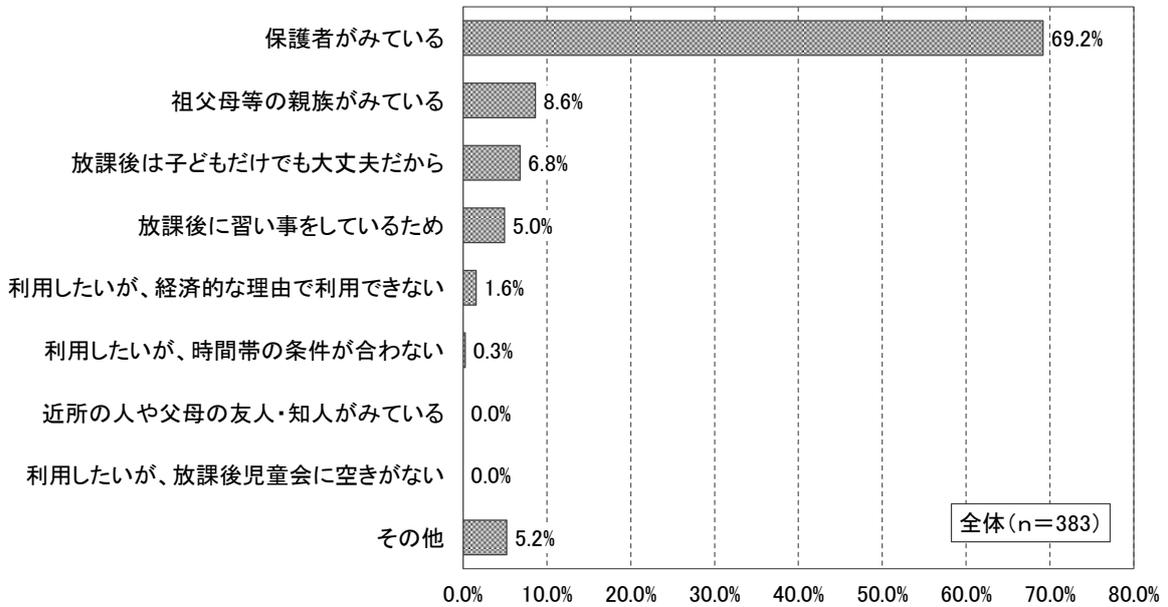
◆ 問13で「2. 利用していない」に○をつけた方

問15 放課後児童会を利用していない理由

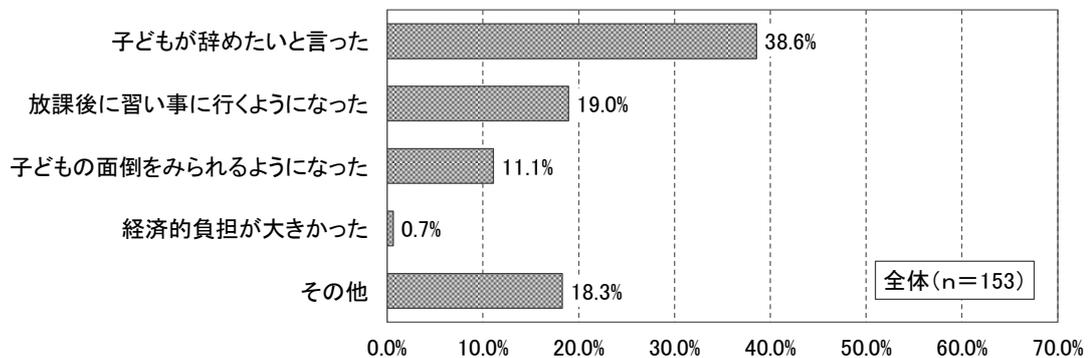
「当初から利用していない」が69.5%、「利用していたが途中で退会した」が27.8%となっています。



《当初から利用していない理由》



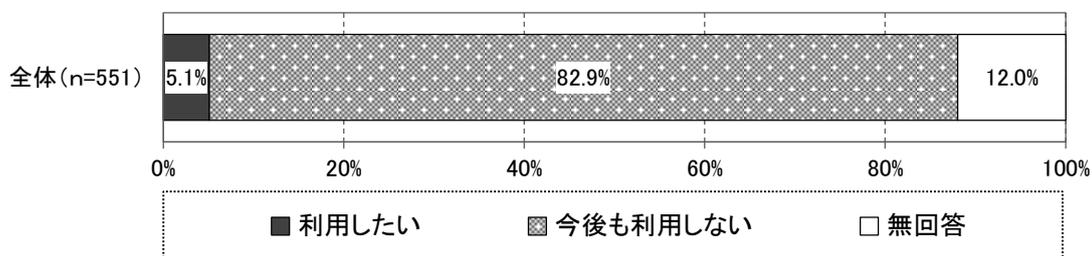
《利用していたが途中で退会した理由》



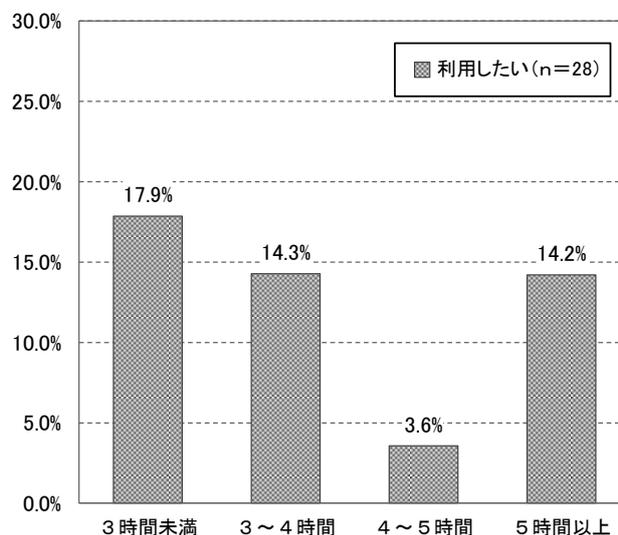
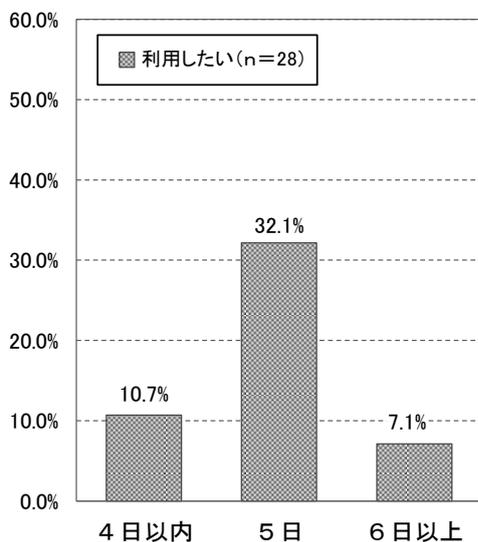
◆ 問13で「2. 利用していない」に○をつけた方

問15-1 放課後児童会の今後の利用意向

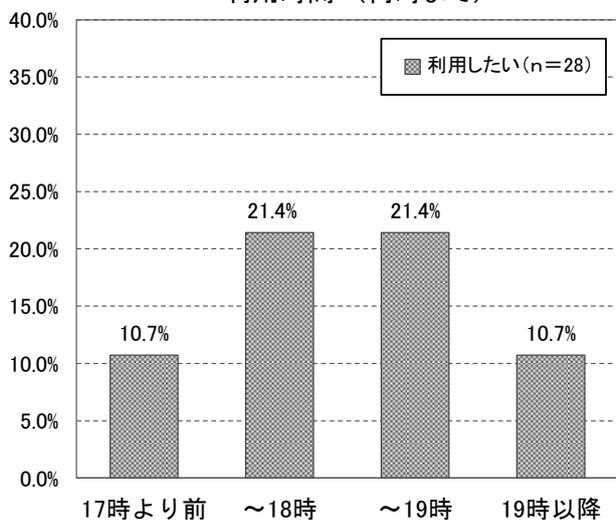
「利用したい」が5.1%、「今後も利用しない」が82.9%となっています。



《利用したい方の1週当たりの日数、1日当たりの時間》



利用時間（何時まで）

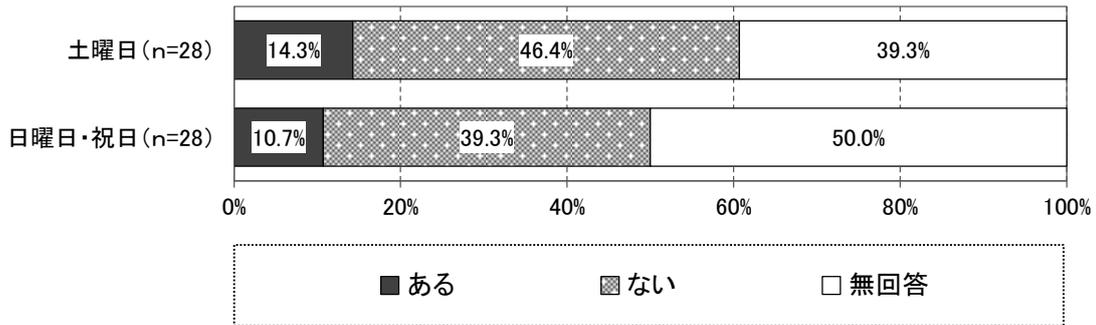


◆ 問13で「2. 利用していない」に○をつけた方

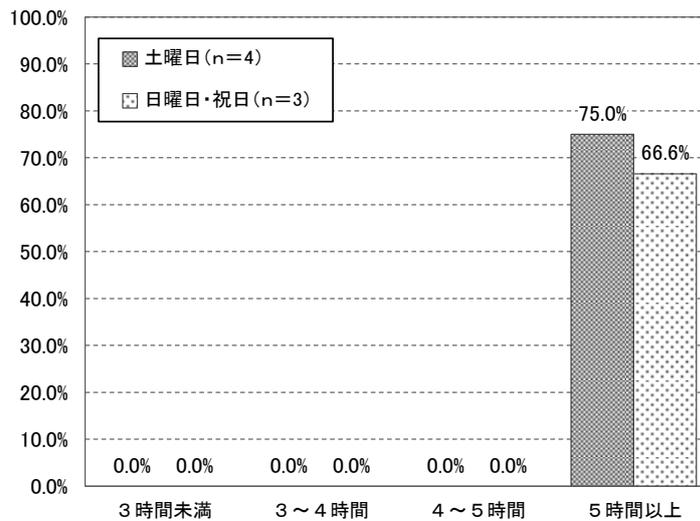
問15-1 放課後児童会の今後の利用意向のうち、「1. 利用したい」を選んだ方の土曜日、日曜日・祝日の利用意向

土曜日では、「ある」が14.3%、「ない」が46.4%となっています。

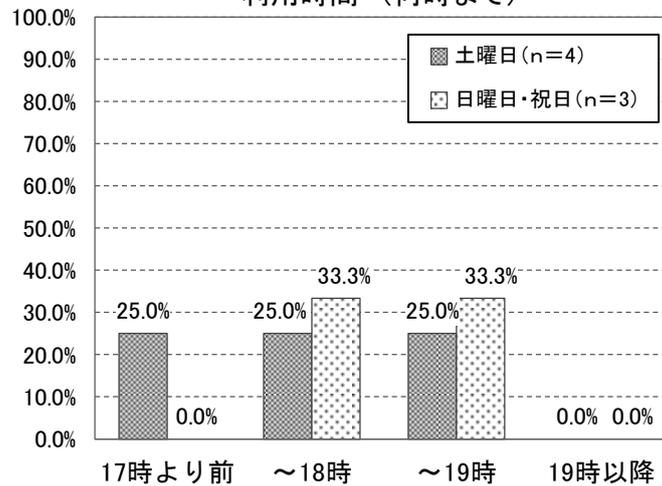
日曜日・祝日では、「ある」が10.7%、「ない」が39.3%となっています。



《利用希望が「ある」方の1日当たりの時間》



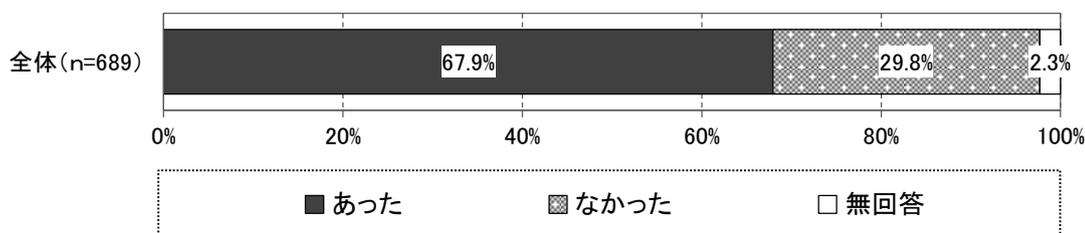
利用時間（何時まで）



3. 子どもの病気の際の対応や不規則な一時預かりについて

問 16 この1年間に、子どもが病気やけがで小学校を休んだことがあるか

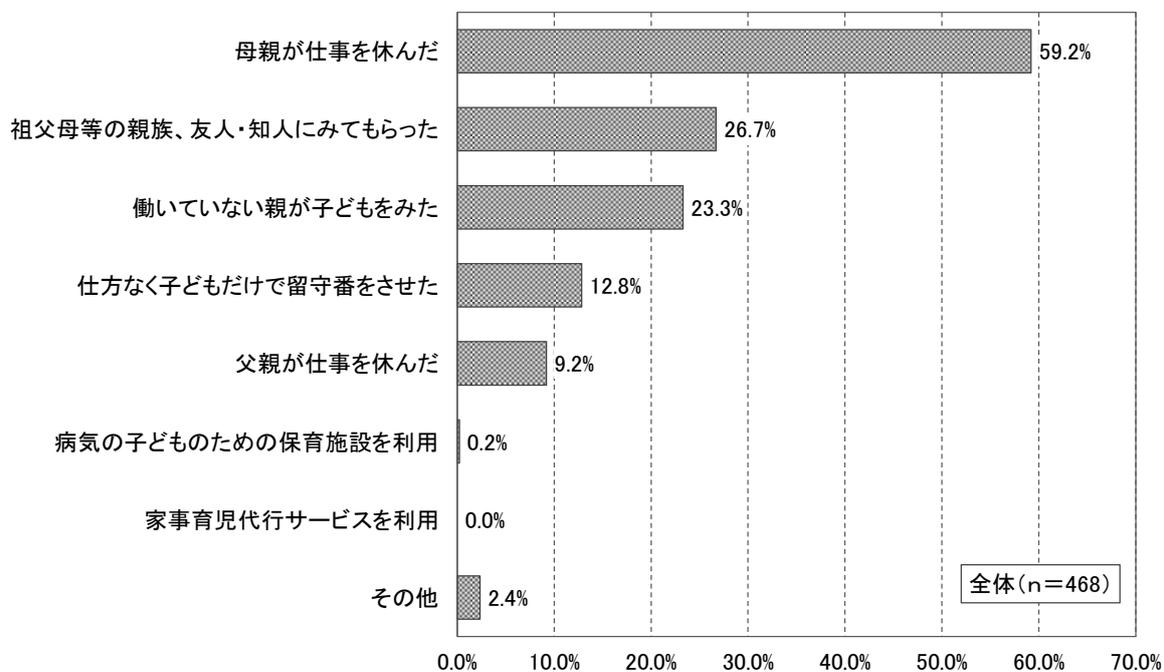
「あった」が67.9%、「なかった」が29.8%となっています。



◆問 16 で「1. あった」と回答した方

問 16-1 子どもが病気やけがで小学校を休んだ場合、この1年間に行った対処方法【MA】

「母親が仕事を休んだ」が59.2%と最も高く、次いで、「祖父母等の親族、友人・知人にみてもらった」(26.7%)、「働いていない親が子どもをみた」(23.3%)の順となっています。



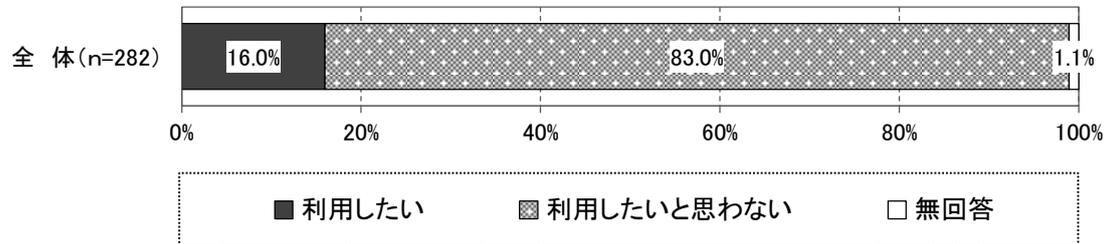
問 16-1 子どもが病気やけがで幼稚園や保育所（園）が利用できなかった場合、この1年間に対処した日数

	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
母親が仕事を休んだ	277	94 33.9%	67 24.2%	38 13.7%	6 2.2%	26 9.4%	9 3.2%	12 4.3%	25 9.0%
祖父母等の親族、友人・知人にみてもらった	125	37 29.6%	24 19.2%	22 17.6%	4 3.2%	8 6.4%	10 8.0%	0 0.0%	20 16.0%
働いていない親が子どもをみた	109	19 17.4%	14 12.8%	17 15.6%	6 5.5%	16 14.7%	12 11.0%	11 10.1%	14 12.8%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	60	25 41.7%	14 23.3%	3 5.0%	2 3.3%	3 5.0%	3 5.0%	3 5.0%	7 11.7%
父親が仕事を休んだ	43	23 53.5%	6 14.0%	5 11.6%	1 2.3%	2 4.7%	0 0.0%	1 2.3%	5 11.6%
病気の子どものための保育施設を利用	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
家事育児代行サービスを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	11	6 54.5%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%

◆ 問 16-1 で「1.」または「2.」（父親または母親が仕事を休んだ）に○をつけた方

問 16-2 その際、「できれば病気の子どもをみてくれる保育施設などを利用したい」と思ったか

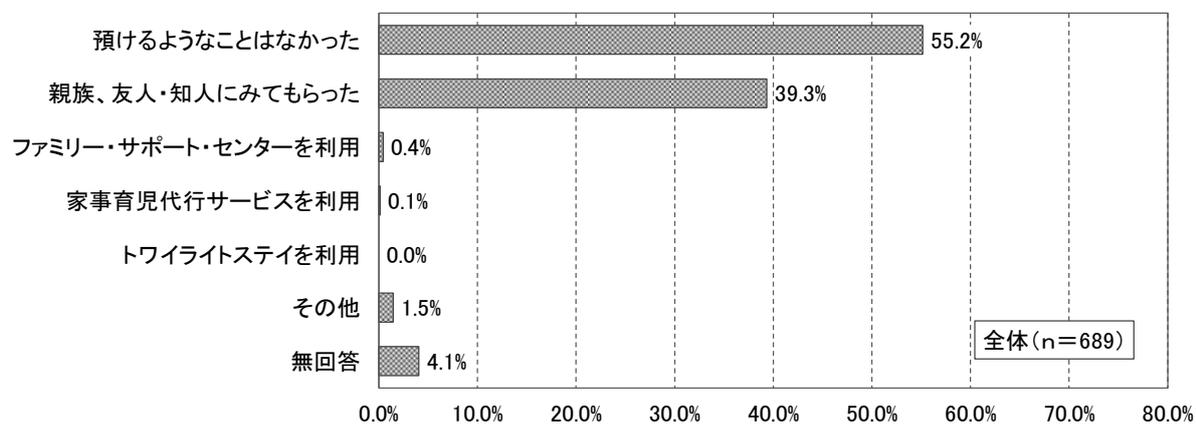
「利用したい」が16.0%、「利用したいと思わない」が83.0%となっています。



	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
病気の子のための保育施設を利用したい	45	8 17.8%	5 11.1%	9 20.0%	1 2.2%	3 6.7%	3 6.7%	2 4.4%	14 31.1%

問 17 私用、親の通院、不定期の就労等を理由として、子どもを預かるサービスを不定期的に利用したか【MA】

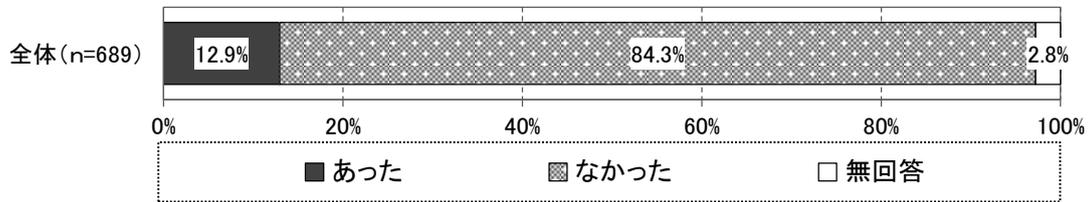
「預けるようなことはなかった」が55.2%と最も高く、次いで、「親族、友人・知人にみてもらった」(39.3%)、「ファミリー・サポート・センターを利用」(0.4%)の順となっています。



	全体 (n=)	1日	2日	3日	4日	5日	6~9 日	10日以 上	無回答
親族、友人・知人に みてもらった	271 100.0%	44 16.2%	31 11.4%	25 9.2%	8 3.0%	24 8.9%	13 4.8%	71 26.2%	55 20.3%
ファミリー・サポート・ センターを利用	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%
家事育児代行サー ビスを利用	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
トワイライトステイを 利用	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	10 100.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	3 30.0%	4 40.0%

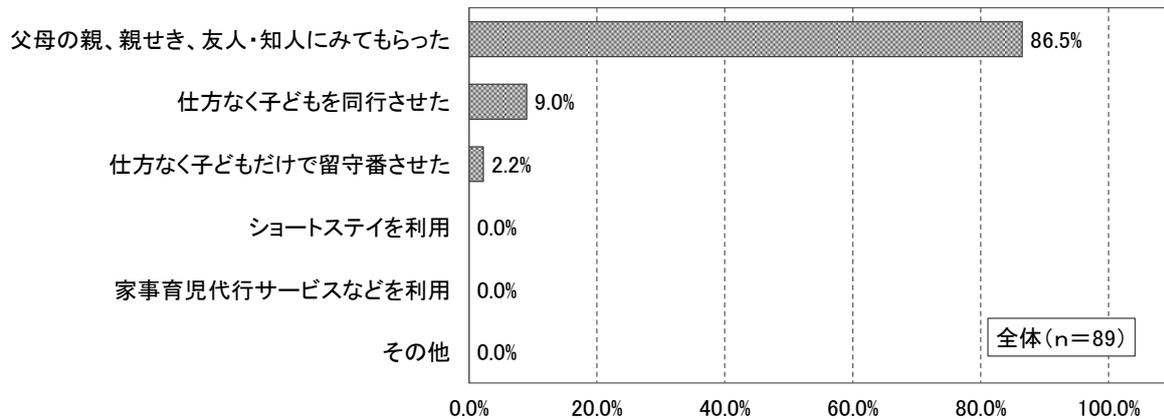
問 18 この1年間に、冠婚葬祭、保護者・家族の病気など保護者の用事により、お子さんを泊まりがけでみてもらったことがあるか

「あった」が12.9%、「なかった」が84.3%となっています。



問 18 この1年間の対処方法とその泊数（内訳）【MA】

「父母の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が86.5%と最も高く、次いで、「仕方なく子どもを同行させた」(9.0%)、「仕方なく子どもだけで留守番させた」(2.2%)の順となっています。

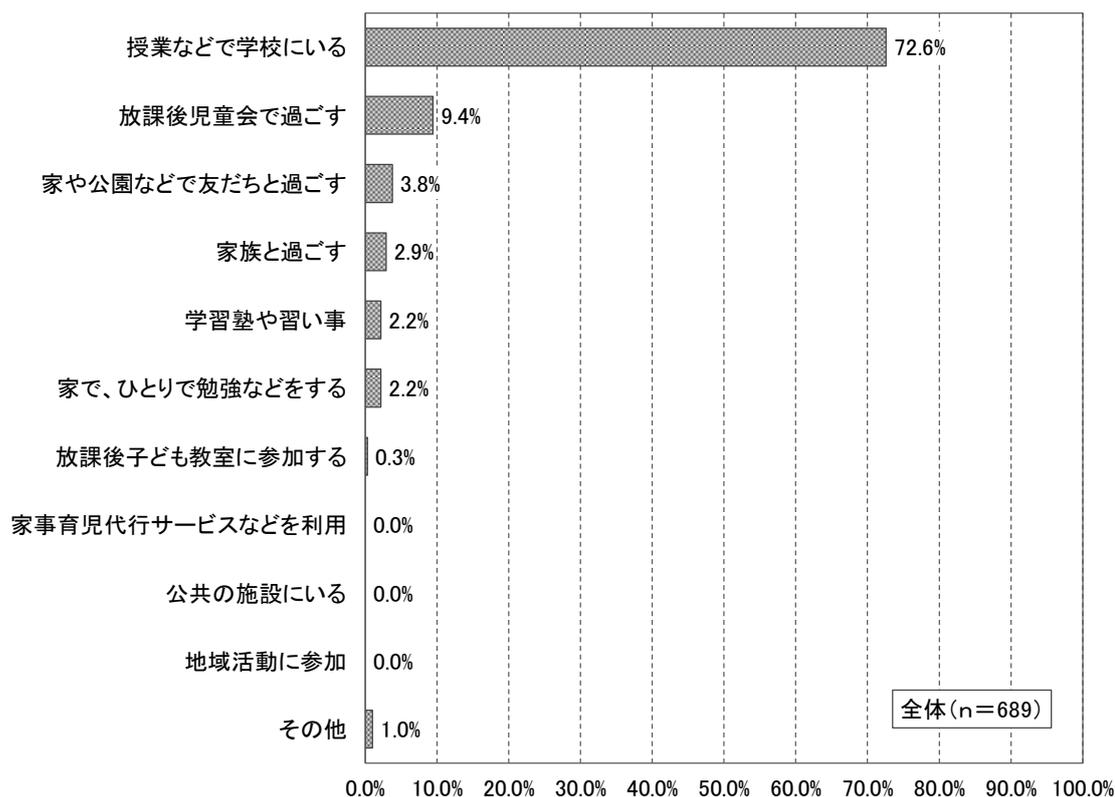


	全体 (n=)	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6~9 泊	10泊以 上	無回答
父母の親、親せき、友人・知人にみてもらった	77	25 32.5%	14 18.2%	10 13.0%	1 1.3%	7 9.1%	5 6.5%	13 16.9%	2 2.6%
仕方なく子どもを同行させた	8	4 50.0%	2 25.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%
仕方なく子どもだけで留守番させた	2	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ショートステイを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
家事育児代行サービスなどを利用	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

4. 子どもの普段の過ごし方について

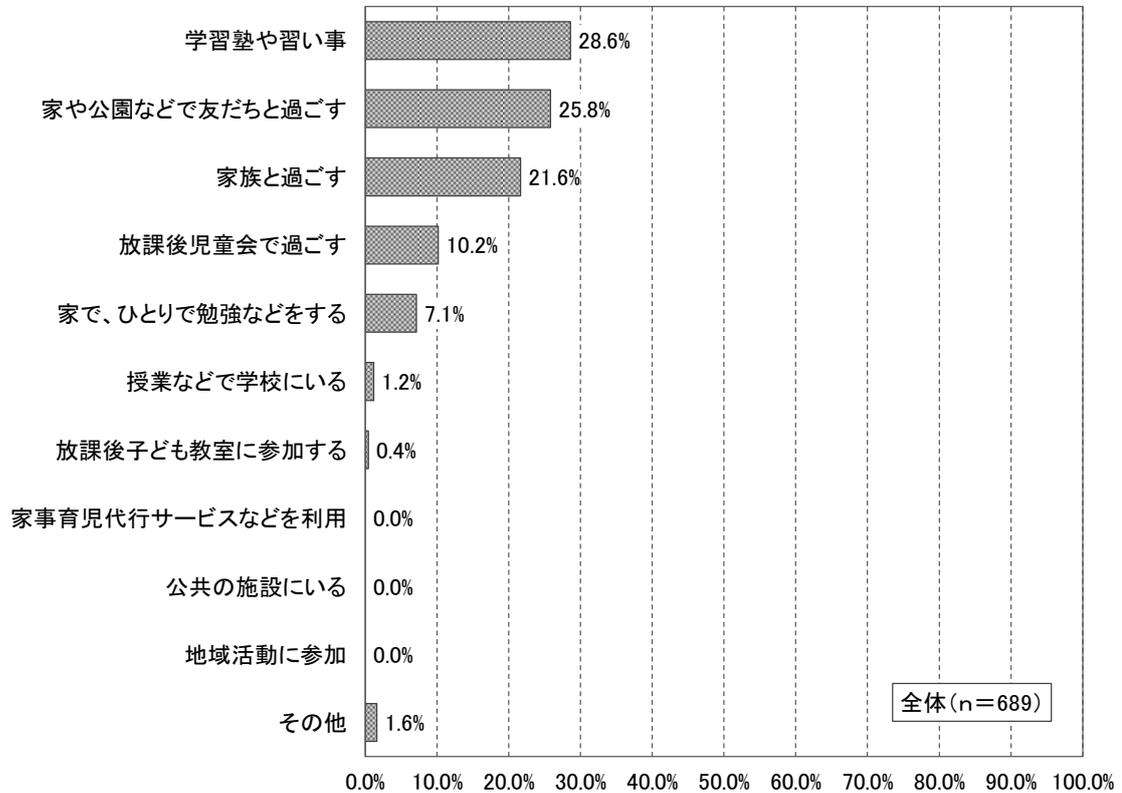
問 19 子どもはどのような場所で過ごしているか（ア. 平日 14～16 時）

「授業などで学校にいる」が72.6%と最も高く、次いで、「放課後児童会で過ごす」（9.4%）、「家や公園などで友だちと過ごす」（3.8%）の順となっています。



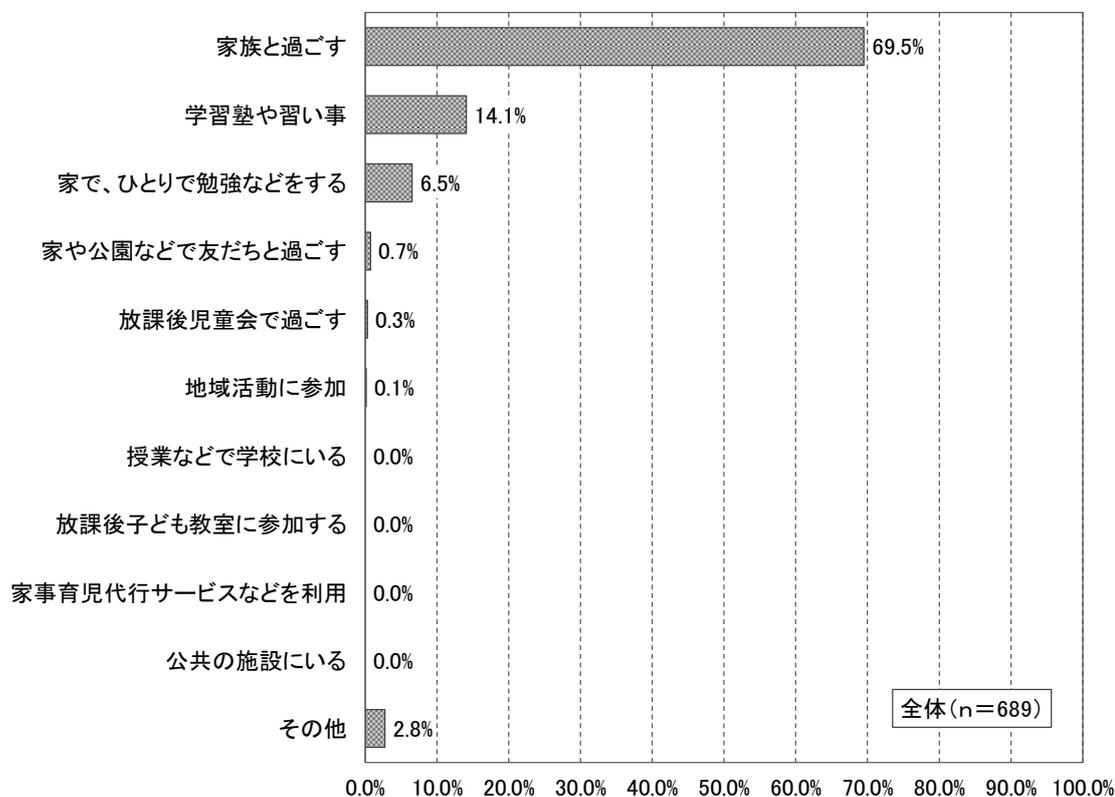
問 19 子どもはどのような場所で過ごしているか（イ. 平日 16～18 時）

「学習塾や習い事」が 28.6%と最も高く、次いで、「家や公園などで友だちと過ごす」(25.8%)、「家族と過ごす」(21.6%) の順となっています。



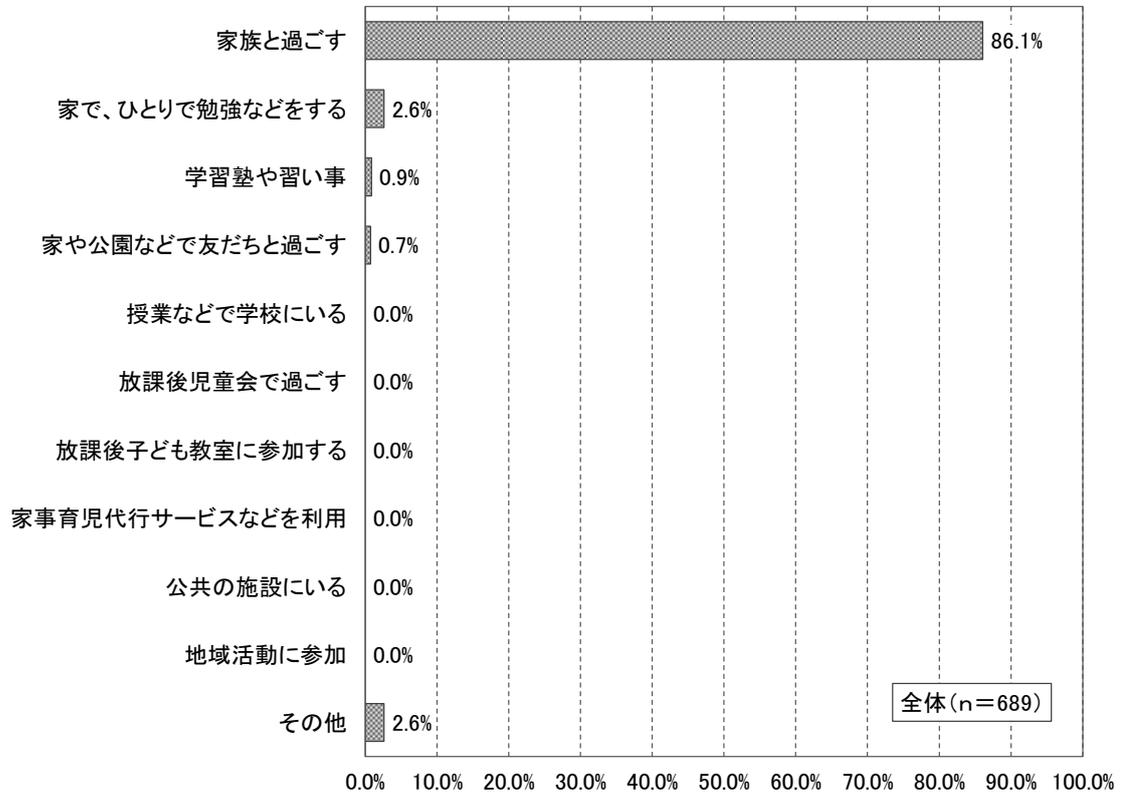
問 19 子どもはどのような場所で過ごしているか（ウ. 平日 18～20 時）

「家族と過ごす」が 69.5%と最も高く、次いで、「学習塾や習い事」（14.1%）、「家で、ひとりで勉強などをする」（6.5%）の順となっています。



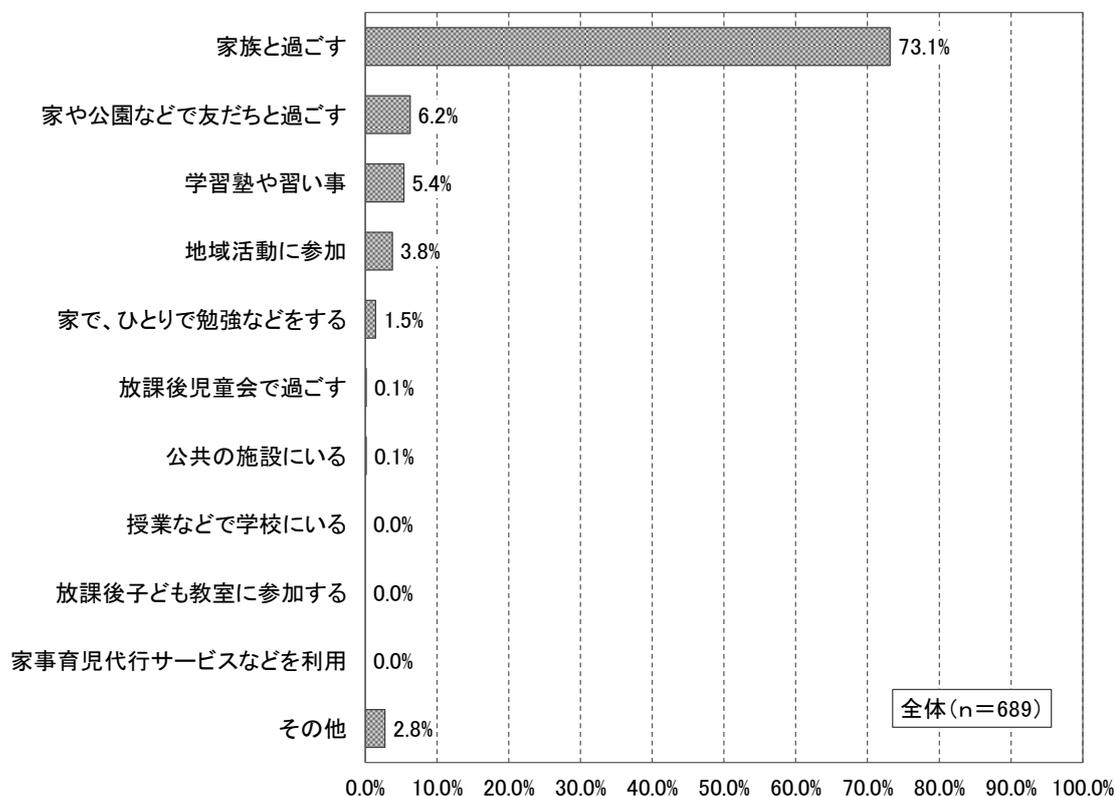
問 19 子どもはどのような場所で過ごしているか（エ. 平日 20 時以降）

「家族と過ごす」が 86.1%と最も高く、次いで、「家で、ひとりで勉強などをする」（2.6%）、
「学習塾や習い事」（0.9%）の順となっています。



問 19 子どもはどのような場所で過ごしているか（オ. 休日）

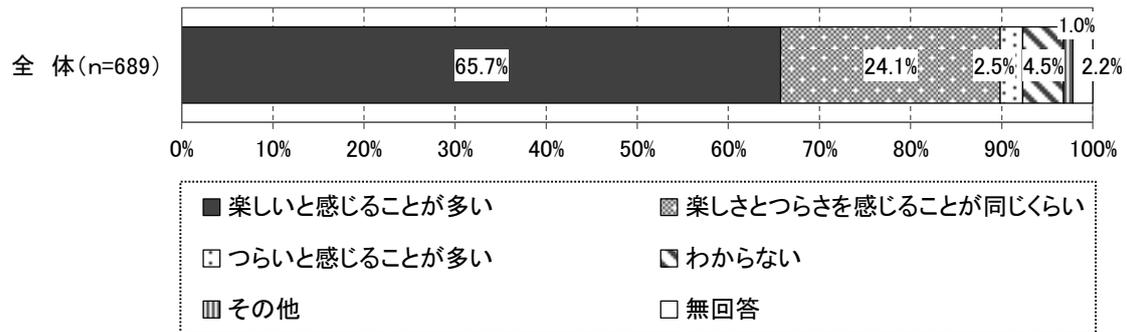
「家族と過ごす」が73.1%と最も高く、次いで、「家や公園などで友だちと過ごす」（6.2%）、「学習塾や習い事」（5.4%）の順となっています。



5. 子育てに対する意識について

問 20 子育てをどのように感じているか

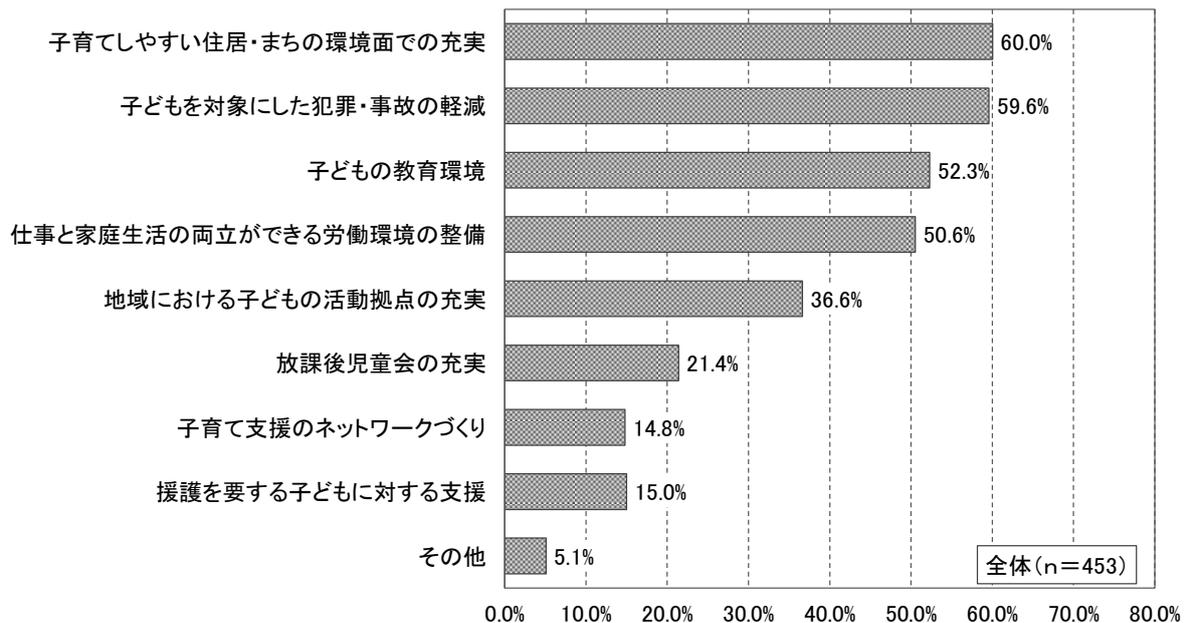
「楽しいと感じることが多い」が65.7%と最も高く、次いで、「楽しさとつらさを感じるものが同じくらい」（24.1%）、「わからない」（4.5%）の順となっています。



◆ 問 20 で「1. 楽しいと感じることが多い」に○をつけた方

問 20-1 子育てをする中で有効と感じる支援や施策【MA】

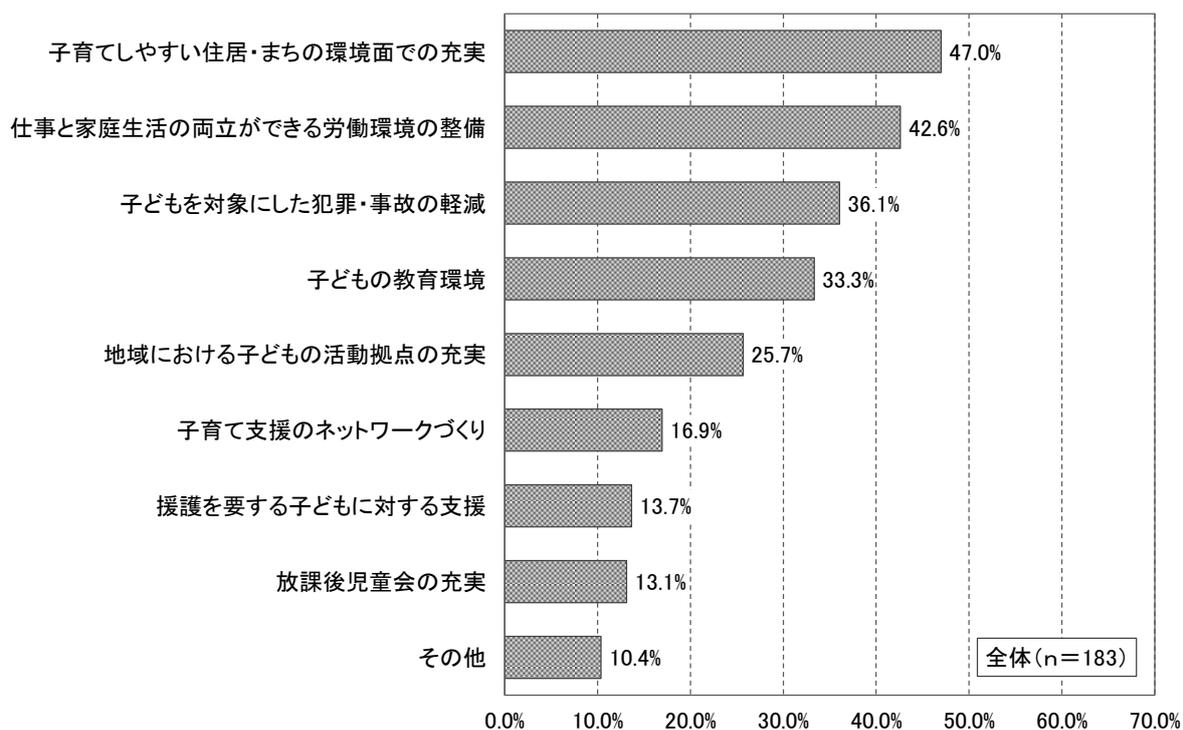
「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が60.0%と最も高く、次いで、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」（59.6%）、「子どもの教育環境」（52.3%）の順となっています。



◆ 問20で「2.」または「3.」（つらく感じる）に○をつけた方

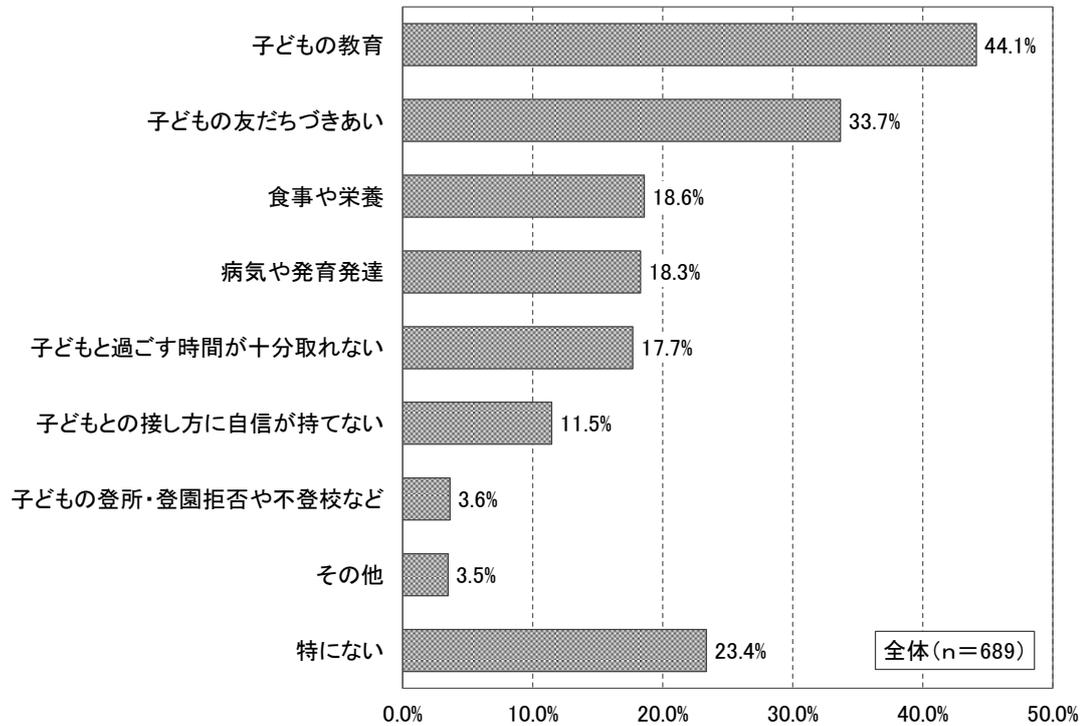
問20-2 子育てのつらさを解消するために必要な支援や対策【MA】

「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が47.0%と最も高く、次いで、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」(42.6%)、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(36.1%)の順となっています。



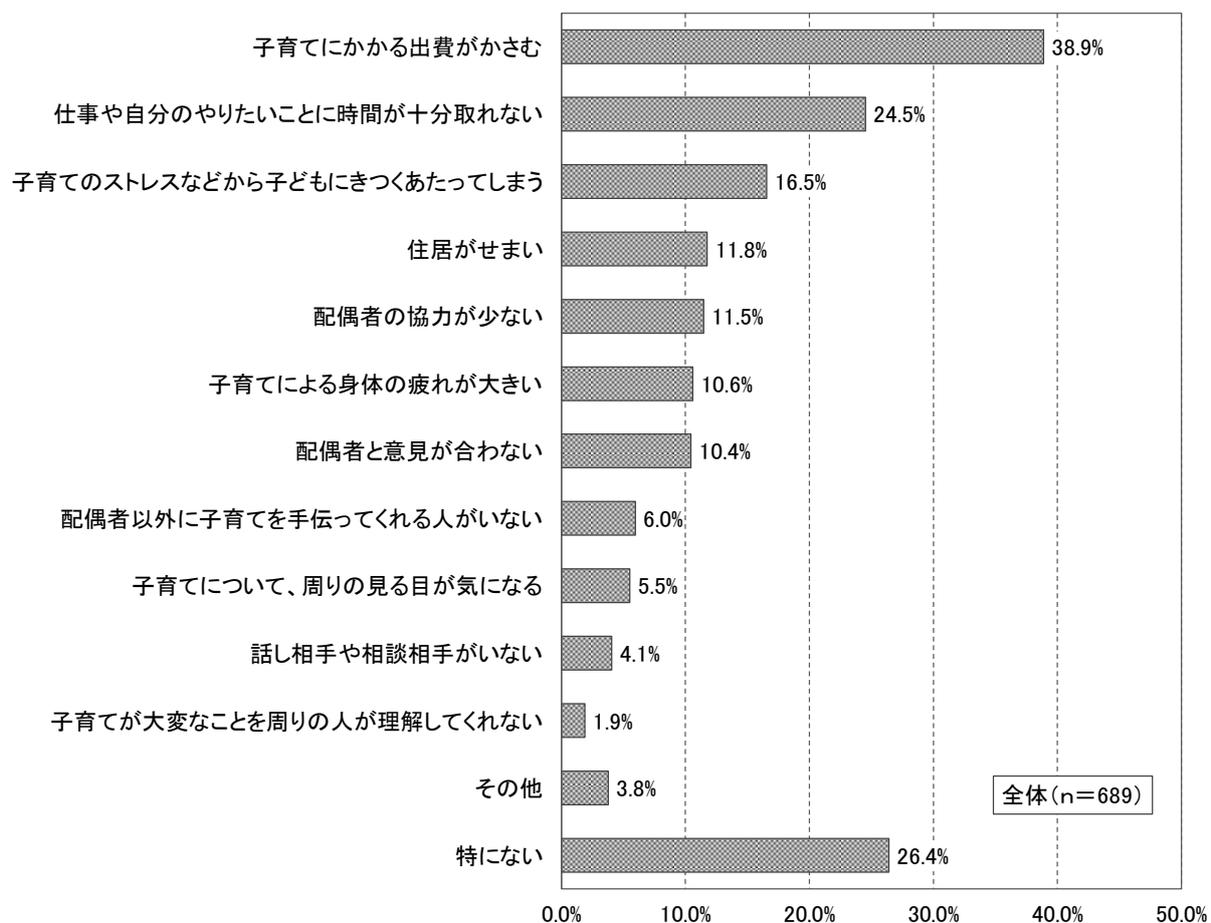
問 21 子育てについて、日頃悩んでいることや気になることは何か
 (1) 子どもに関すること【MA】

「子どもの教育」が 44.1%と最も高く、次いで、「子どもの友だちづきあい」(33.7%)、「食事や栄養」(18.6%)の順となっています。



問 21 子育てについて、日頃悩んでいることや気になることは何か
 (2) 回答者自身に関すること【MA】

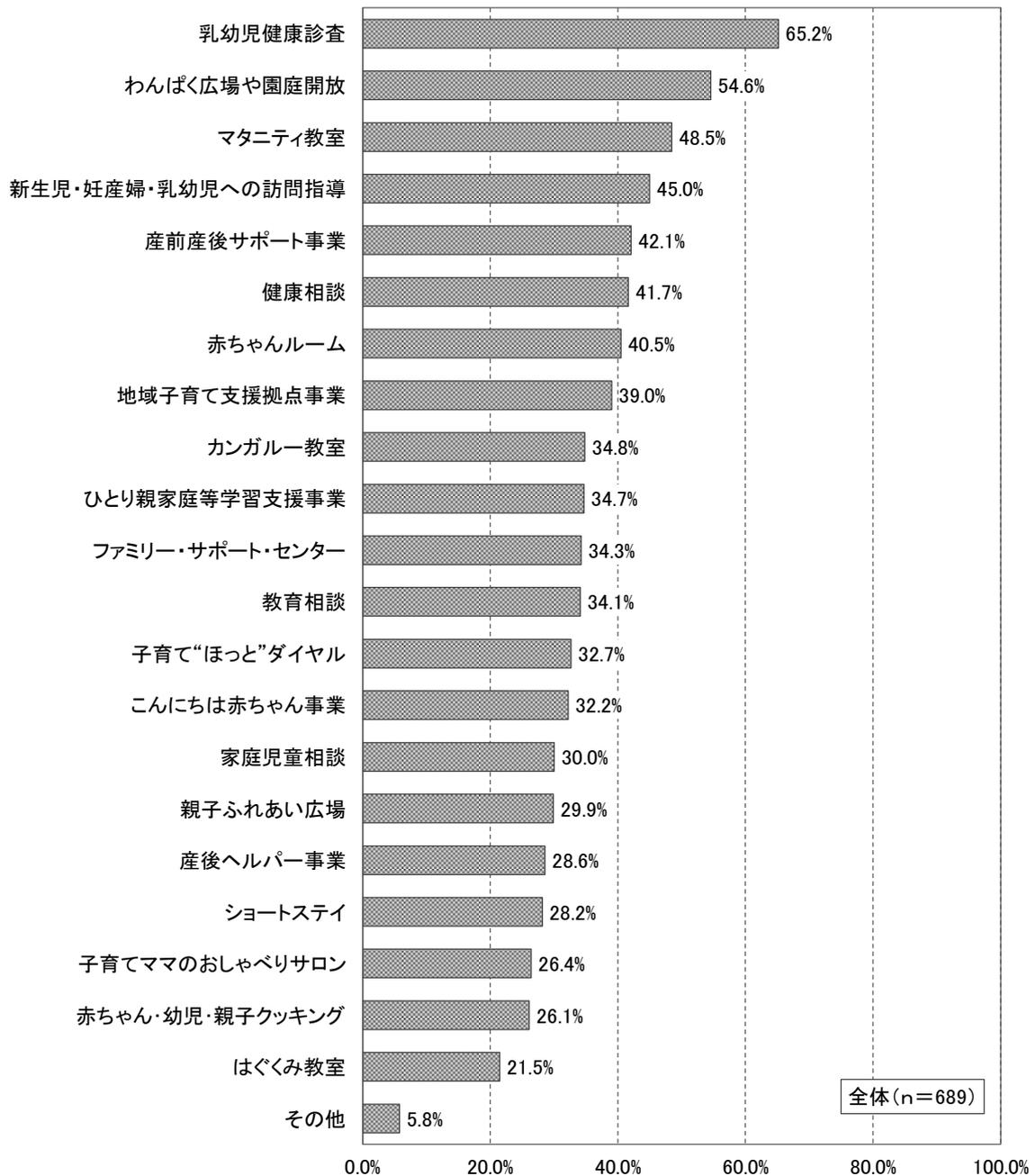
「子育てにかかる出費がかさむ」が38.9%と最も高く、次いで、「仕事や自分のやりたいことに時間が十分取れない」(24.5%)、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまう」(16.5%)の順となっています。



6. 藤井寺市の子育て支援サービスについて

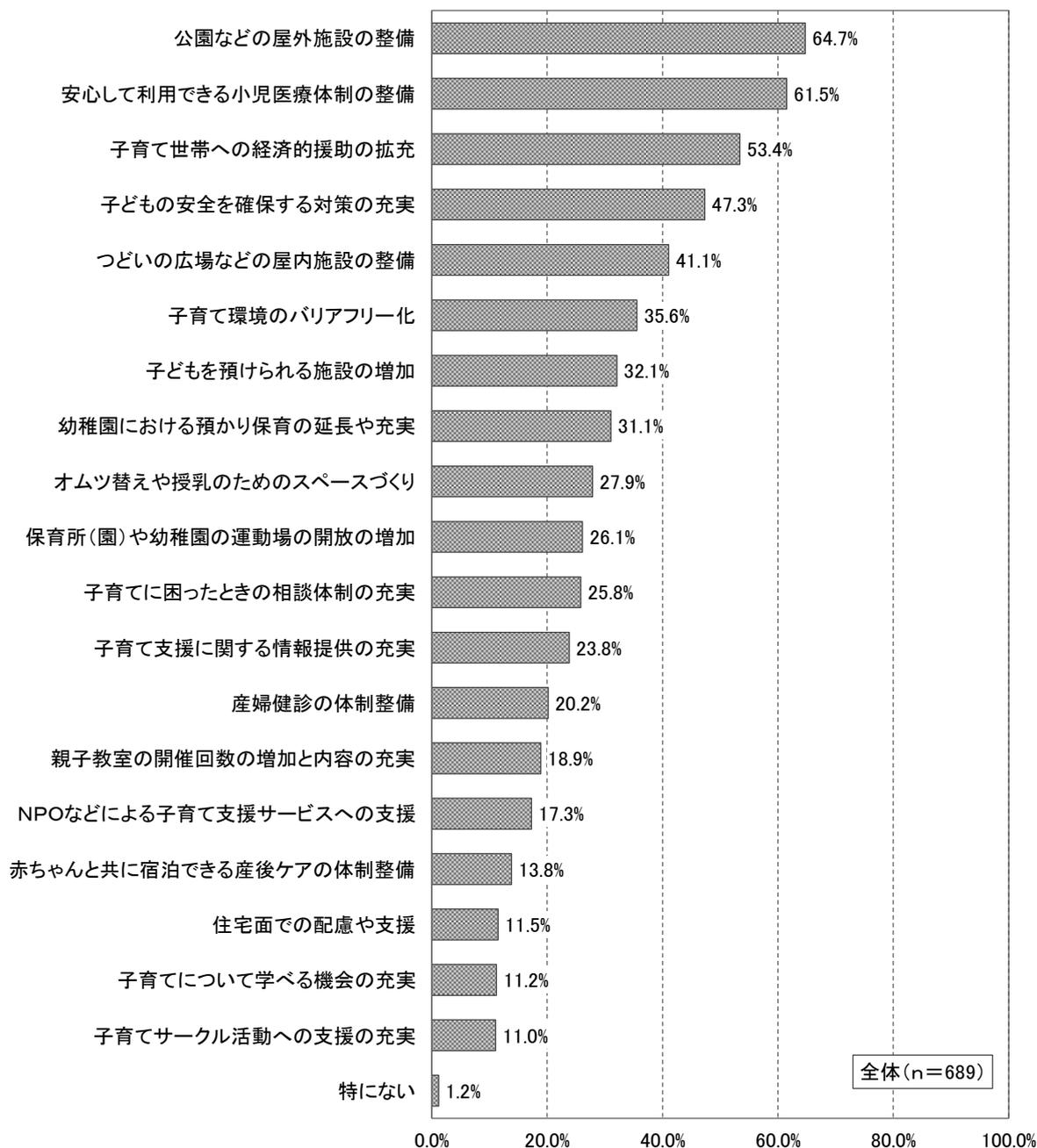
問 22 子育て支援に必要または効果的と思われる事業や取組【MA】

「乳幼児健康診査」が65.2%と最も高く、次いで、「わんぱく広場や園庭開放」（54.6%）、「マタニティ教室」（48.5%）の順となっています。



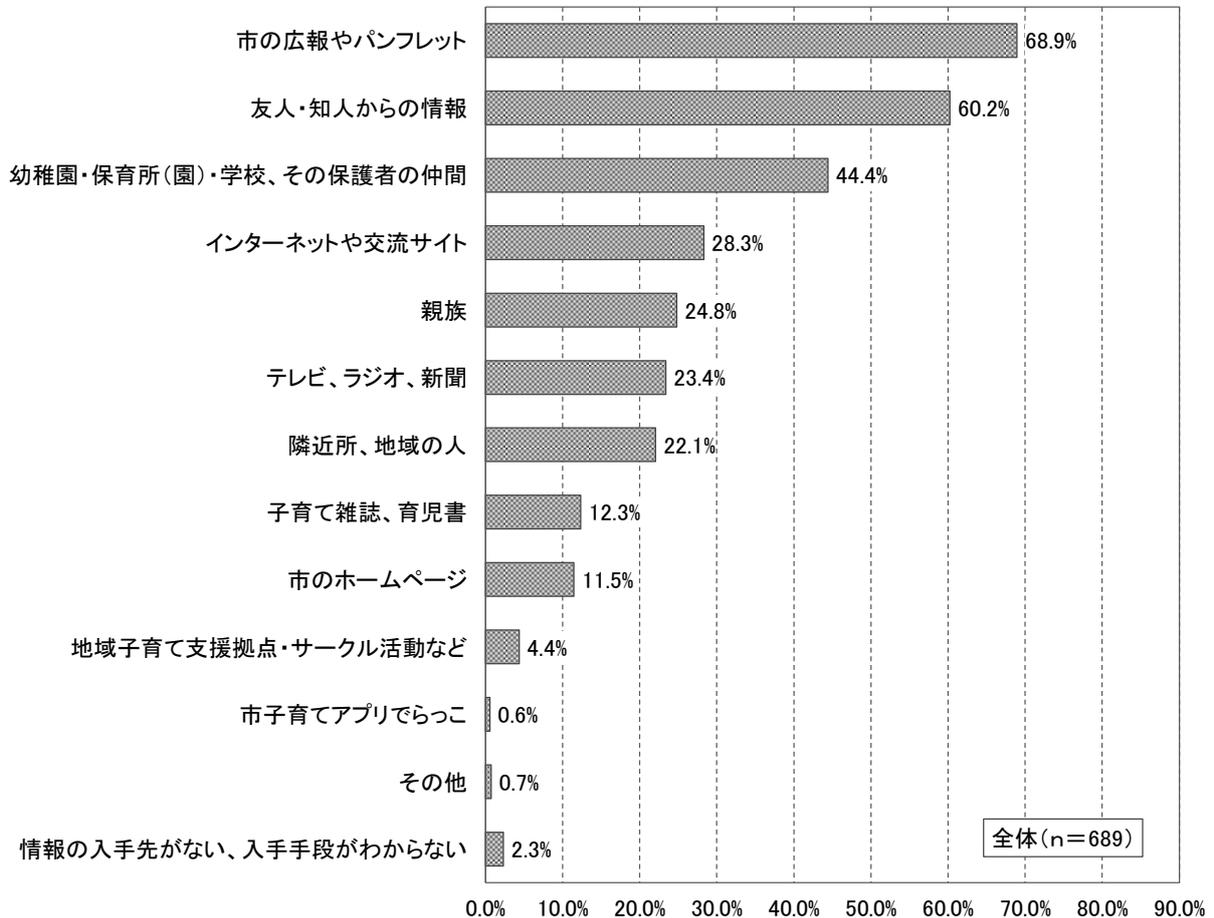
問 23 市役所などにどのような子育て支援サービスを充実してほしいか【MA】

「公園などの屋外施設の整備」が64.7%と最も高く、次いで、「安心して利用できる小児医療体制の整備」(61.5%)、「子育て世帯への経済的援助の拡充」(53.4%)の順となっています。



問 24 子育てに必要な情報をどのようなところから入手しているか【MA】

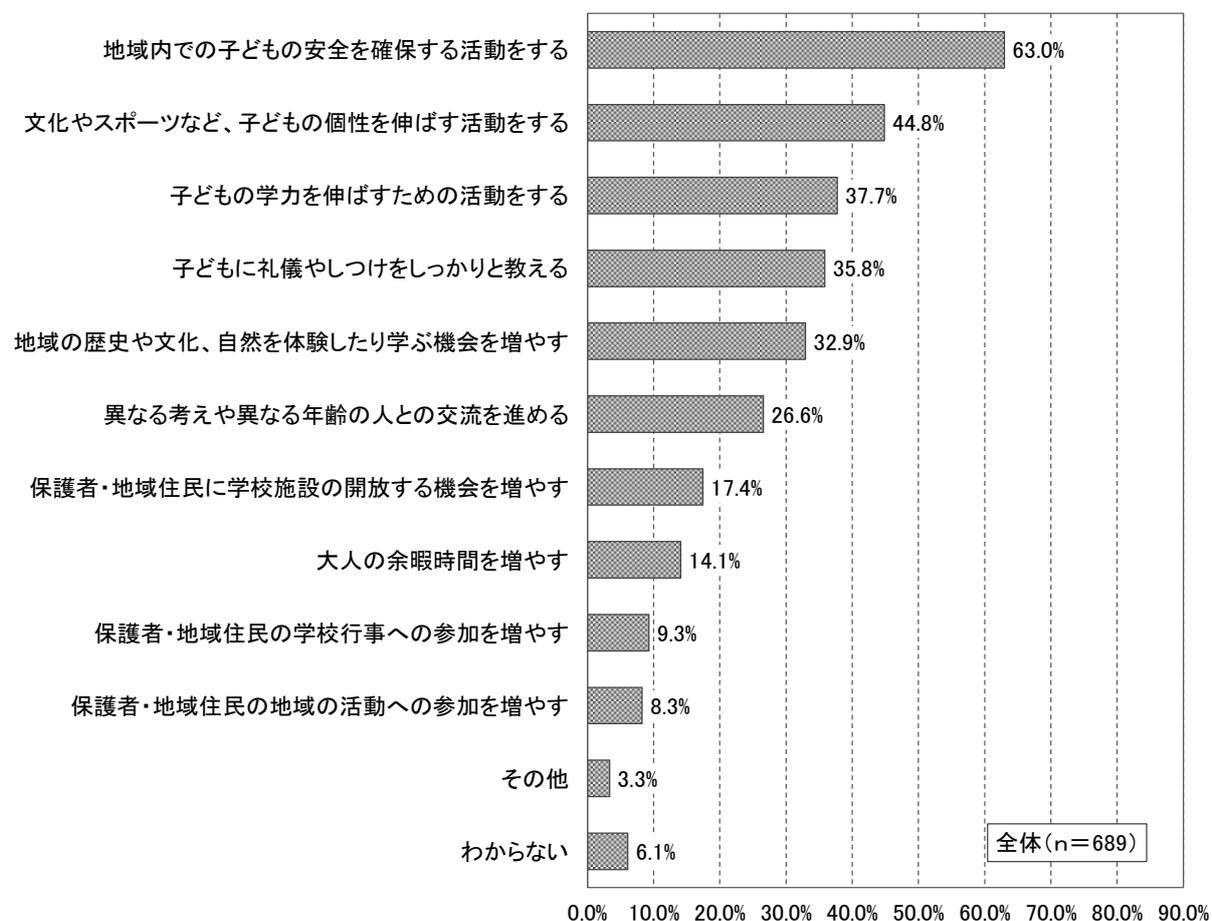
「市の広報やパンフレット」が68.9%と最も高く、次いで、「友人・知人からの情報」(60.2%)、「幼稚園・保育所(園)・学校、その保護者の仲間」(44.4%)の順となっています。



7. 地域での子育てについて

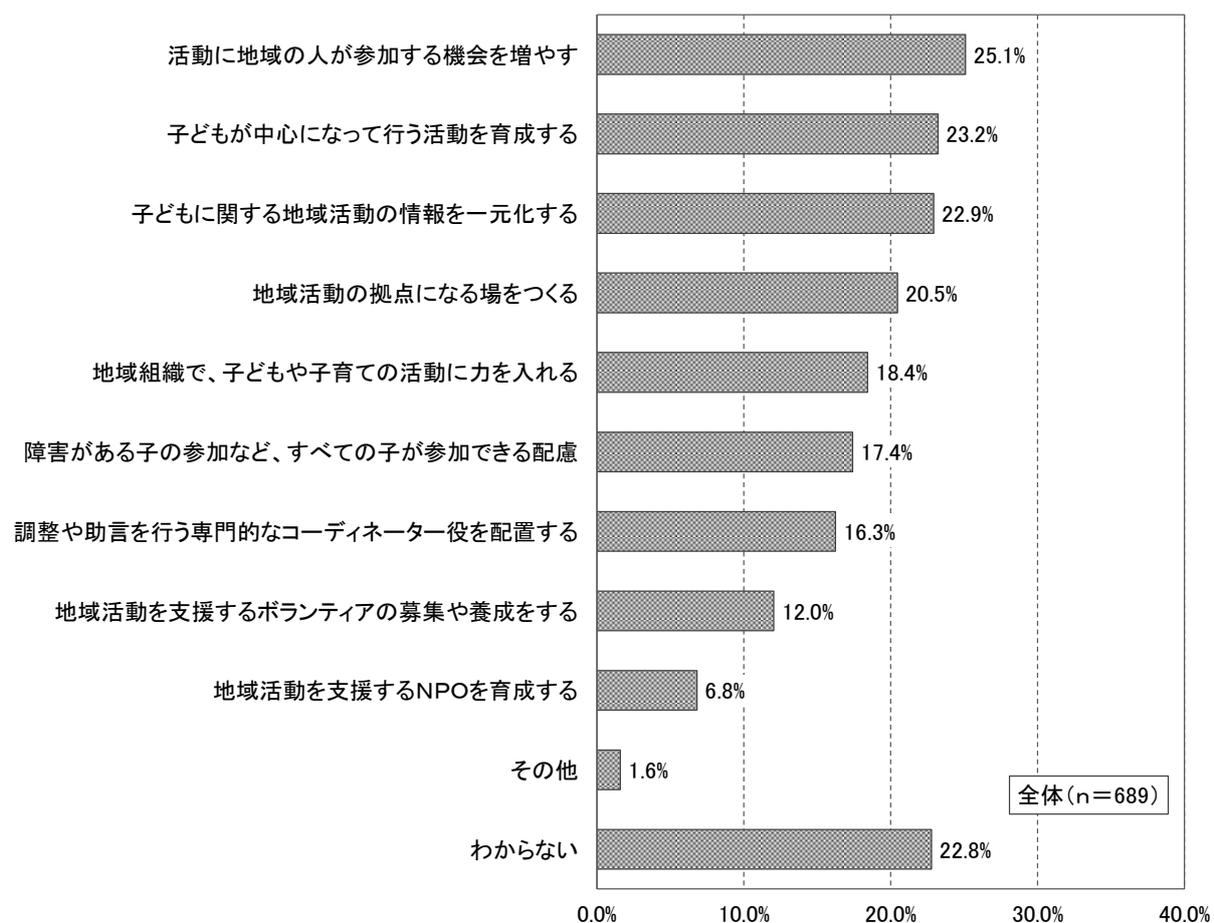
問 25 地域で子どもが健やかに育まれるためにどのようなことに力を入れるべきか【MA】

「地域内での子どもの安全を確保する活動をする」が63.0%と最も高く、次いで、「文化やスポーツなど、子どもの個性を伸ばす活動をする」(44.8%)、「子どもの学力を伸ばすための活動をする」(37.7%)の順となっています。



問 26 地域の子どもたちと交流や活動をさらに活発にするためには、どのようなことが必要か【MA】

「活動に地域の人に参加する機会を増やす」が25.1%と最も高く、次いで、「子どもが中心になって行う活動を育成する」(23.2%)、「子どもに関する地域活動の情報を一元化する」(22.9%)の順となっています。



「第二期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのニーズ調査

《報告書》

平成31年3月

発行 藤井寺市

〒583-8583 大阪府藤井寺市岡1丁目1番1号

電話 (072) 939-1357 (直通)

FAX (072) 939-1128

問合先 子ども・健康部 子ども政策課